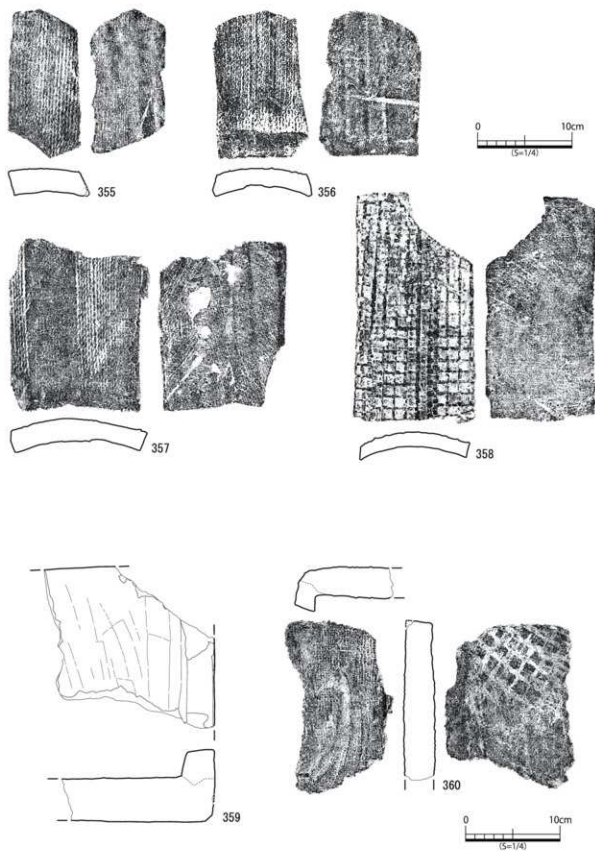
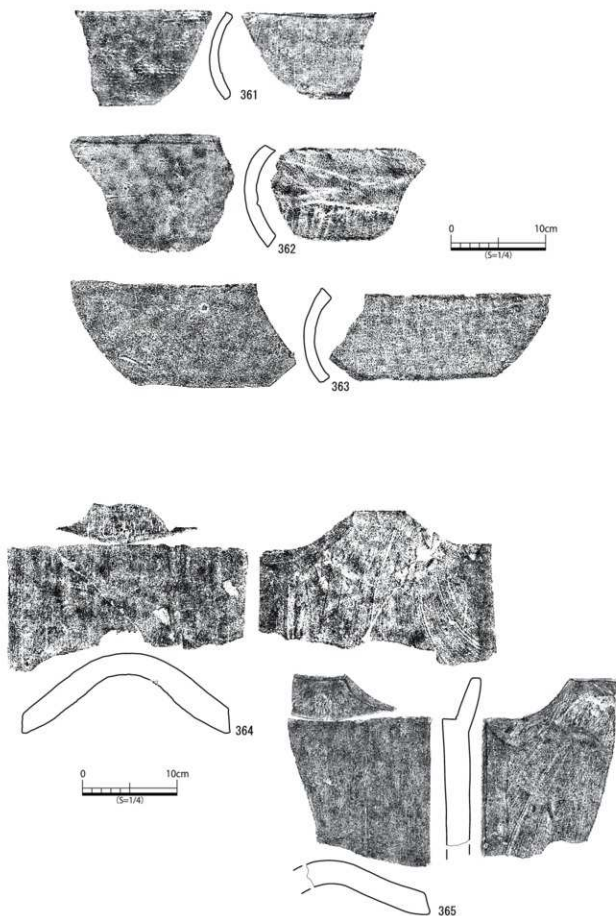
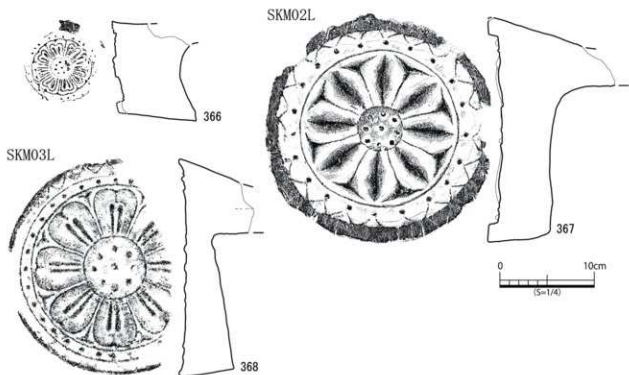




第112図 熨斗瓦・隅木蓋瓦 (S=1/4)



第 113 図 面戸瓦・雁振瓦 (S=1/4)



第114図 鳥食瓦 (S=1/4)

形状や大きさである。しかし、文様がⅢ期に位置づけられるSKM10等の文様に酷似していることから、これを模倣したと考えられる。文様は複弁8葉蓮華文である。中房に1+8の連子を置く。外区に珠文が巡り、範傷が多く見られる。文様がSKM10に酷似していることや、焼成が堅緻で胎土が精良であり、この時期の軒先瓦の焼成や胎土が類似することから、Ⅲ期頃に位置づけられると推測している。また、この形状のものは本来、中世以降に多く見られるものであり、今後の発掘調査等で詳細な年代や技法等を明らかにする必要がある。

7) 隅切瓦 (第115図・369～372)

隅切瓦は宇瓦のSKH01A、SKH01C、SKH03と女瓦で確認している。

369はSKH01Cである。370はSKH01Aである。右側側面を隅切りしており、通常の側面成型よりも粗い削り方である。通常のタイミングで行う側面ケズリよりも時間が経過してから隅切りを行ったと考えられる。凸面はナデ整形、凹面もナデ整形を行い側面側に調整1度入れる。372はSKH03であり、左側側面を隅切りしている。凹凸面ともにナデ整形を行っており、通常のSKH03と同じ整形状況である。全体的灰被りをしている。

371は女瓦である。凸面に縄縦Cの叩き貝で整形されている。凹面は布目痕と布かがり痕、粘土板合わ

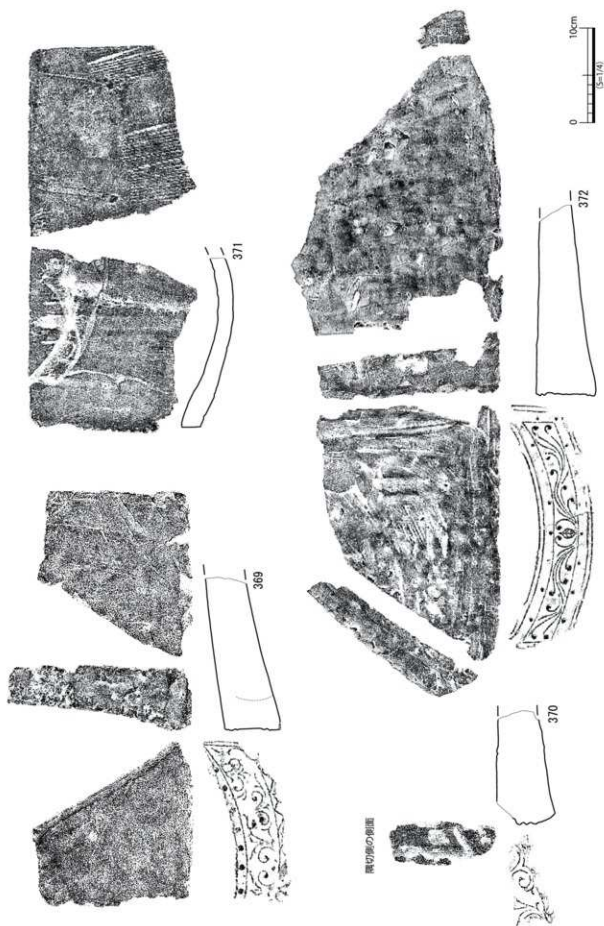
せ目痕が見られる。粘土板桶巻作りである。

他の隅切瓦を含めて切り位置を検討すると狭端面に近く、小さい範囲しか切り込んでいないものや370等のように広端面から大きく切り込むものなど、切り位置のヴァリエーションは多く、屋根の構造に合わせて隅切瓦の生産を行ったと考えられる。基本的には焼成前に綺麗にケズリ成型をしているが、86のように消費地で瓦を打ちかえたものがあり、多少なり現地で屋根に合わせて瓦と屋根の接合状況を調整したと考えられる。

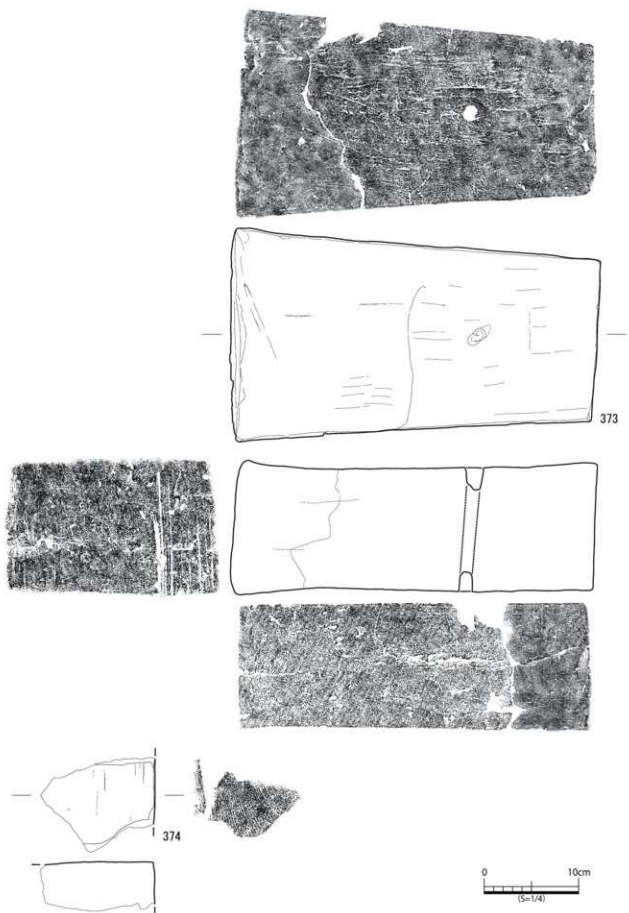
第7節 埴 (第116～119図・373～390)

出土した埴は主に方形埴と台形埴に分類される。いずれの面もナデやケズリによる整形が見られる。一部薄いものがあり、布目が残るものがある(写真図版24)。全点ではないが中央に孔が見られ、前後の埴同士或いは地面との固定用のものと考えられる。作り方は粘土板を3～4枚程度重ねて或いは塊上のものを型に詰めて成型する。詰める工程で拳か棒状のもので突き固めながら成型していく。そのため、突き固めた面に次の粘土を押し込むため上面の粘土はネガポジの関係になり、製作時の上面下面が分かる(写真図版23)。色調はおおよそ灰色～暗褐色で一部赤褐色のものもある。焼成は良好なものが多い。

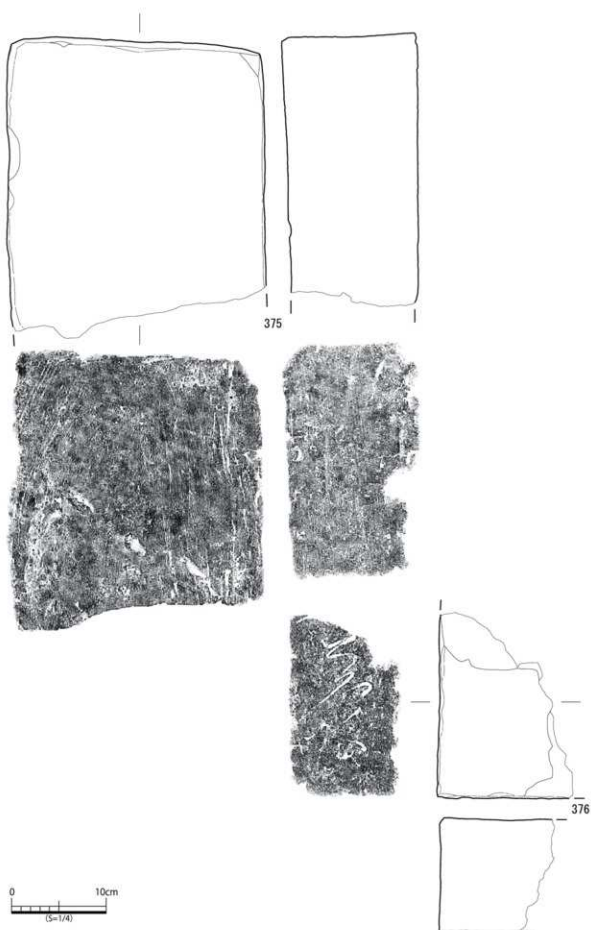
完形品の法量を見ると長方形埴は2種類、台形埴



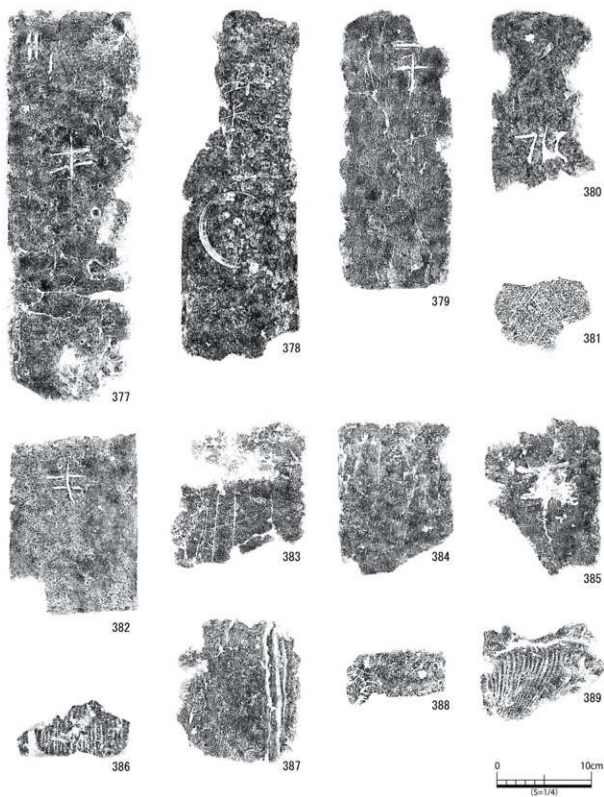
第115図 陶切瓦 (S=1/4)



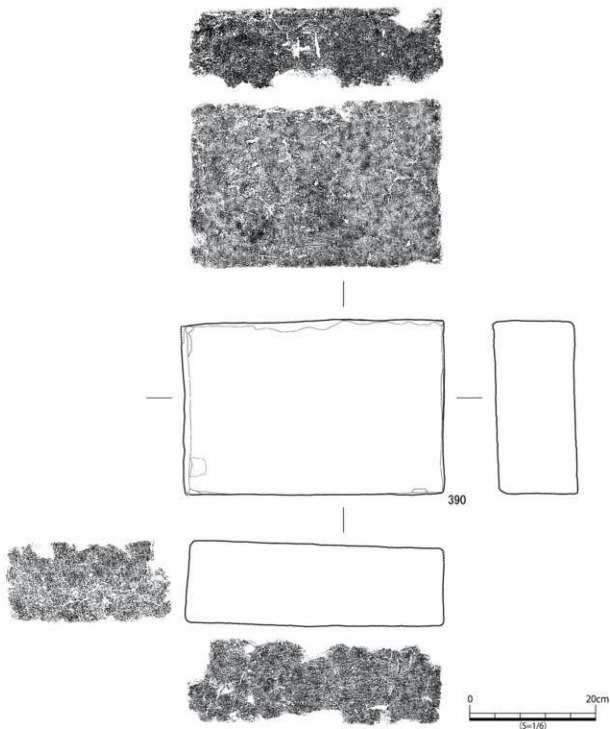
第116図 埴① (S=1/4)



第117図 埴② (S=1/4)



第118図 埴③ (S=1/4)



第119図 磚④ (S=1/6)

は2種類に分類できると考えられる。

長方形磚は長辺40cm前半代×短辺27cm前後×厚さ14cm前後に分類される長方形①、次に長方形①に比べ一回り小型な長辺37cm前後×幅25cm前後×厚み12cm前後の長方形②に分類できる。明確な分類差は長方形磚程見受けられなかったが、長辺37～38cm台×短狭辺18～19cm台×短広辺24～25cm×厚さ12～14cm台の台形①と長辺37cm前後×短狭辺17cm台×短広辺23cm台×厚さ13～14cmの台形②に分類

できる。技法はいずれの型式も前述した技法で製作されている。重量は完形品が少ないこともあるが、同型式でも重量の差異が見られる。

磚は全点数の重量を計測することができ、総重量2251kgである。年度別は83年度で76.9kg、84年度で223.5kg、85年度で780kg、86年度で113.6kg、年度不明のもので1056.8kgである。完形のものは長方形磚で最大26kg、平均的なもので23.0～24.5kg、台形磚で最大22.5kg、平均的なもので19～20kg台

である。出土した量としては長方形、台形がおおよそ半数ずつである。乱暴な計算であるが、長方形埴の平均重量を24kgとしたときに約93個体分、台形埴の平均重量を19.5kgにしたとき約115個体分の埴が出土したと推測される。

埴埴の特徴で長方形埴にはへら記号が多く、「キ」「山」「一」等の多彩な文字が確認できる(第118図)。文字は台形埴には見られず、長方形埴のみであることから生産集団がそれぞれ違うと考えられる。番付との指摘もある(国分寺町1996)。

出土位置は昭和60～61年の僧房調査時に多く出土しており、原位置から移動しているものが多い。しかし、遺構に関係がある出土状況として、長方形埴は僧房跡で地覆及び中央間の暗渠護岸用、北面築地でも暗渠護岸用に使用された。台形埴は僧房跡で唐居敷座として使用された可能性がある(写真遺構編43.2)。長方形埴と後述する切石は僧房跡の地覆及び唐居敷座として使用されたと考えられるが、後世の転用の可能性も指摘されている(国分寺町1996)。

年代は僧房の工事仕切りに使用されたことから創建期に相当すると考えられる。他の遺構で出土してものは詳細な年代を抑えることは難しいが、出土しているものは製作技法や焼成等が類似することからいずれも創建期に生産されたと推測される。

第8節 文字瓦(第120図・391～398)

文字は記号とも考えられ「一」「×」等、「」大■」、「」十歳」等が出土している。

「≠」は393で器種は女瓦である。「一」と同様で凸面整形や焼成等にヴァリエーションがある。この文字に類似したものが埴にも見られるが関連性は不明である(382等)。

「一」は394で器種は女瓦である。記名されたものの種類は、女瓦が大半であり、梨斗瓦や男瓦に少量見られる。凸面は格子叩き(斜格子A)である。凸面の叩きは種類不明であるが、数種類の格子叩きや縄叩き、ナデ整形のものが確認できる。焼成や胎土もヴァリエーションがある。文字の表記もへら書きのものや指書きのものがある。記名字位置は凸面が多い。文字の意味は不明だが、叩き具の種類や胎土や色調のヴァリエーションが多いことから長期間に渡り何らかの意味を持ち、記名されたと推測される。

「×」は396で器種は女瓦である。396は黒書であ

るが、他の個体はへら書き、指書き等で表記するものが大半である。「一」と同様で凸面整形や焼成等にヴァリエーションがある。

「」十歳」は397で器種は女瓦である。凸面は縄叩き後にナデ整形を施す。年号を示すものと推測されるが、年号に十歳と示す年号がないことから今後検証する必要がある。

「」大■」は398で器種は男瓦である。

「伏瓦」は391で凹面に記入している(SKHO5A)。

「伏」は異体字である。

前冊で提示したが、「国分金光明(寺?)」■とへら書きされた文字瓦が出土している(写真図版25-6)。前回の報告と異なる点は「寺」と思われる文字と解説不明の文字が見られる。へら書き後に半截していることから桶巻作りである。出土位置から築地塀と考えられる。「国分」と「金光明」を併記する例は天平17年に太宰府伝播で見られる(岩波1991)

前述したように埴も文字が記入され、「山■?」(378)、「一十」(379)、「水?」(380)が挙げられる。

文字の記名率は女瓦に多く、その他の器種は少量である。しかし、長方形埴は文字のバリエーションがあり、種類が豊富である。文字は「一」「×」が圧倒的に多く、次いで「≠」である。他の文字は1点のみである。

第9節 その他の瓦埴類及び石製品

その他の瓦埴類(第121図・399～400)

用途不明なもので399・400が挙げられる。399は中央がボール状に湾曲している。色調は灰白色で焼成は良好で瓦質である。400も付け根部分が湾曲している。焼成や胎土は399と同様である。

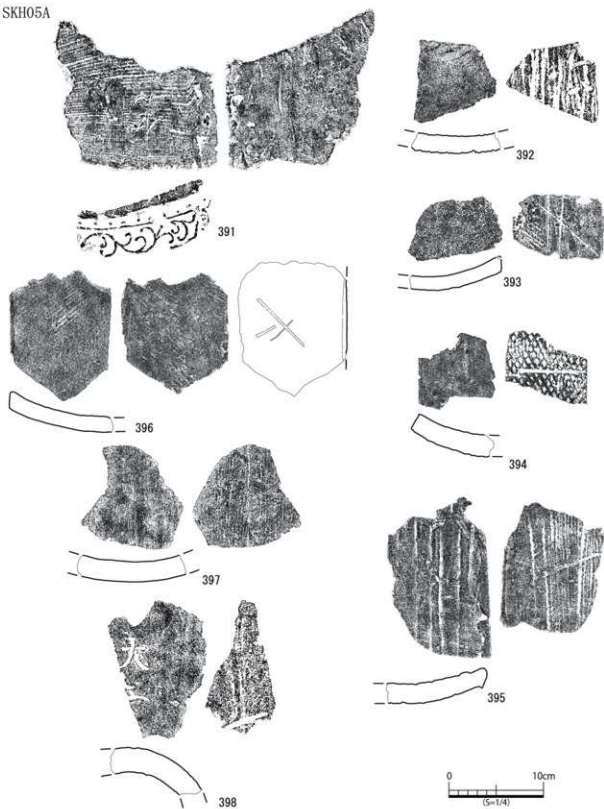
棟飾瓦(第121図・401)

401は変形を呈する菊花文で、離れ材としてキラ粉を使用する。裏面には棟に差し込む方形の突起がある。ナデ調整によって仕上げる。

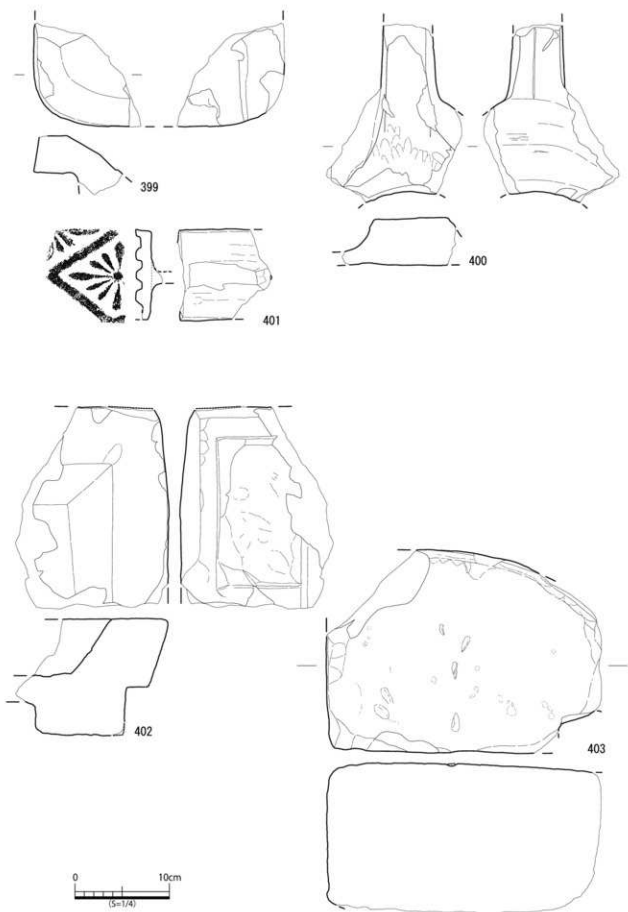
石製品(第121図・402・403)

402は唐居敷座の一部と考えられる石製品である。材質は凝灰岩で角閃石や白色砂粒、黒色砂粒を多量に含む。台座が逆台形状に切込み、柱等を据えたと考えられる。403は凝灰岩の切り石である。写真図版27のように埴類と同様に地覆として使用したものである。

SKH05A



第 120 図 文字瓦 (S=1/4)



第 121 図 その他の瓦埴類・石製品 (S=1/4)

第4章 総括

第1節 胎土・色調・焼成状況から見る瓦の分類

各器種・型式で胎土や焼成の特徴について前述したとおりであるが、改めて軒先瓦を基準に傾向を記述する。まず、胎土であるが、瓦類全体の特徴として多寡はあるが、白色粒が入っており、混和剤と考えられる。この胎土をベースに黒色粒や赤色粒等の粒子が混入し、軒先瓦では型式ごとに混入物が入ることが判明した。ただ、SKH01A等のように白色粒のみの個体と赤色粒を含むものがあり、明確に線引きできない型式もある。その状況を表したものが第122図（上段）である。

まず、胎土別に分析した際、白色粒のみであるものはSKM01・04・05・06である。SKM01は技法によって砂粒の細粗はあるが、基本的に白色粒のみである。一方、赤色粒を出土量の大半で見られるものはSKM03L・07・08・16・17、SKH05・06・09・10・12・18である。白色粒のみのものと赤色粒を含むものが半数前後のものが、SKM03A・09・15、SKH01全般・03である。黒色粒を多く含むものとしてSKM02A・SKM02Lが挙げられる。混和剤を含めた粒子の大きさは型式によって1～2mm前後を主体とするものと、3～5mmを主体とするものに分けられる。1～2mm前後のものはSKM01～06、SKH01～06である。もちろん個体による差異や遺物観察表では5～8mm台と大型の粒子を含んでいるものもあるが、基本的に1～2mmの粒子を多く含む傾向にある。3～5mmを主体とするものはSKM07・08・09、SKH02・05である。

色調や焼成状況を見ると大きく2種類に分けられ、暗灰色～灰色系で焼成が硬質なものや灰色～ぶい黄

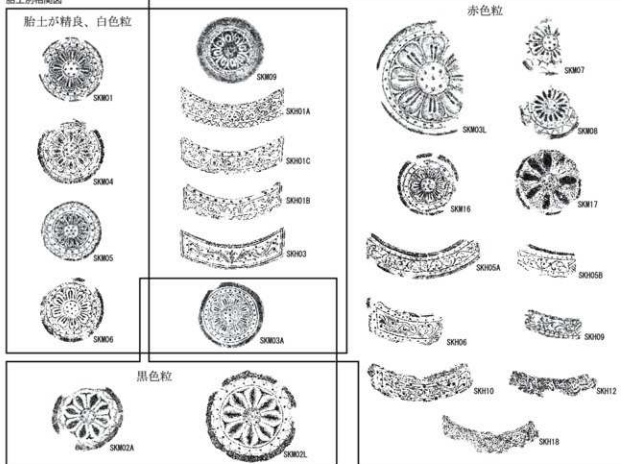
橙色系で焼成が軟質であるものに分けられる。その状況を表したものが第122図（下段）である。前者に位置づけられるものはSKM01～06・10A、SKH01全種、SKH03・04・06である。後者はSKM07～09・15・17、SKH05・09・10・12・18である。また、窯での焼成時に着床した灰被りが顕著に見られるものがSKM05とSKH03・06である。灰被りはSKH01A等で1～3点程度見られるが、SKM05、SKH03・06が顕著に見られる1群である。

含有物と焼成の結果を踏まえ、第6表や第122図のA～Dの4つのグループに分類できると考えられる。まずAグループの特徴は焼成は良～硬質のものが多く、色調は灰色～暗灰色系である。胎土は白色粒のみを含んでいるものが多い。もちろんSKH01A等のように赤色粒を含んでいる型式もあるが、焼成や色調を含めて総合的に判断した際にAグループに属すると考えられる。BグループはAグループと胎土、焼成は類似するが、灰被りを受けており、Aグループと比較し、生産地や時期等が異なると考えられる。Cグループも同様にAグループと焼成は類似するが、胎土に黒色粒を含んでいるグループである。SKM03Aは技法を含めて検討すると現状ではAグループに属すると考えられるが、今後の調査研究によってはCグループに属される可能性もある。A・B・Dグループは創建期（Ⅰ・Ⅱ期）の時期に生産されたと考えられる。Cグループは胎土に赤色粒を含み、灰色～ぶい黄橙色系で焼成が軟質なグループである。平安期（Ⅳ期）に属すると考えられる。Ⅲ期に位置付けられる瓦類（SKM15やSKH10等）はA～Dグループのいずれかに偏るとい傾向はつかめず、いずれかに属するというものである。この傾向を男瓦や女瓦に当てはめると、凡そ一致すると考えられ、技法や作り等を含め検討した結果、創

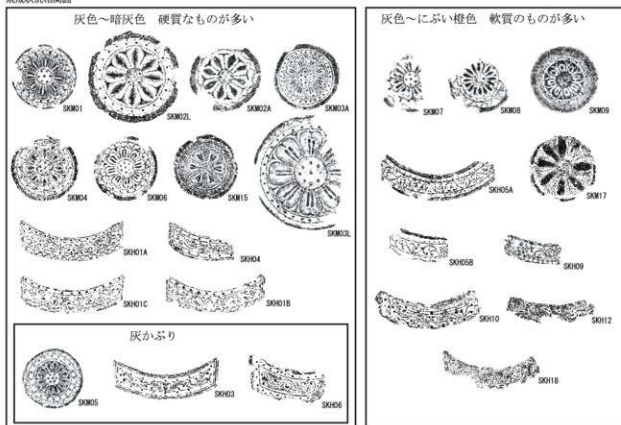
第6表 胎土・焼成等分類一覧表

分類	色調	焼成	胎土（含有物）	その他	型式
グループA	灰～暗灰色系	硬質が多い	精良で白色粒（一部に赤色粒が混ざる）		SKM01～06・15 SKH01・04
グループB	灰～暗灰色系	硬質が多い	精良で白色粒（一部に赤色粒が混ざる）	灰被り	SKM05 SKH03・06
グループC	灰色～ぶい黄橙色系	軟質が多い	赤色粒（一部白色粒多い個体もある）		SKM07～09・17 SKH05・09 10・12・18
グループD	灰～暗灰色系	硬質が多い	黒色粒が多い		SKM02

胎土別相関図



焼成状況相関図



第122図 胎土別・焼成状況相関図

建期に位置づけられるものは暗灰色～灰色系で焼成が硬質なものが多く、平安期の時期が下がるものは灰色～にぶい黄橙色系で焼成が軟質であるものが多い。鎧瓦・宇瓦も含め焼成時の室内の位置によって色調や焼成状況が変化することは念頭に置かなければならないので、今後の発掘調査状況によってグルーピング等を再考する必要がある。また、男瓦と女瓦は赤色粒の混入が型式ごとに明確に分類することが困難で、赤色粒を確認できる個体も鎧瓦・宇瓦の割合から考えると少量であると考えられる。

第2節 創建期における瓦の技法について

軒先瓦や男瓦・女瓦をはじめ、分類ごとに多様な瓦の製作技法を確認した。ここでは創建期の瓦類を中心に製作技法から見る瓦の変遷について簡潔に記したい。

まず、鎧瓦の製作技法はSKM01で接合式と横置型一本作りを確認しており、范傷の進行から接合式から一本作りに変化することはすでに明らかになっている(妹尾 2017)。SKM04の変化は妹尾氏も指摘(妹尾 2017)しているとおりのだが、今回の分析で柳型がある状態(范割れなし)→柳型を抜いた状態で范割れがないもの→中房から范割れしているもの(接合式)→范割れ一本作りになる(尼寺へ)と変換することが明らかになった。よって、創建期でも初期の頃は接合式に始まり、その後横置型一本作りに変換することが判明した。

宇瓦ではSKH01Aに粘土板桶巻作りと粘土板一枚作りが確認できる。両者を比較すると桶巻作りのものは文様がシャープで立体感があるものに対し、一枚作りは下外区に鋸歯文に彫直しが見られる。また、文様全体のシャープさが失われ、若干丸さがある。よって、SKH01Aは粘土板桶巻作りから粘土板一枚作りに変化する。SKH01Cでも粘土板桶巻作りと粘土板一枚作りを確認している。SKM01Cの桶巻作りは模骨痕をもつもの、分割線を入れた状態のものである。SKH01Cは左脇区に近い、支葉に范傷の有無があり、桶巻作りにはなく、一枚作りには見られることから、粘土板桶巻作りから粘土板一枚作りに変換することが判明した。桶巻作りと一本作りの出土割合は数値化はしていないが、今回の調査範囲(僧房跡等のII期に相当)一枚作りが圧倒的に多く、桶巻作りが少ない状況

である。

桶巻作りから一枚作り・一本作りに変化した様相は創建期の主要な造瓦組織(国衛系工房)に影響したと推測される。国衛工房の瓦は府中・山内瓦窯跡で生産されたもので国衛工房が関わっており、国分寺の主要な瓦生産組織としての位置づけは現状と変わらない。一方で、平城京系の瓦は鎧瓦と宇瓦の製作技法はそれぞれ、接合式と段頭・曲線頭であり、一枚作り・一本作りの技法は入らない。

よって、一枚作りと一本作りは、国分寺や讃岐国内の造瓦体制において全てに影響したものとは現状考えておらず、国衛工房内に一定期間・一部の造瓦組織に当てはまると推測される。現に、特に横置型一本作りにおいては国分僧寺・尼寺の造営時は主要な造瓦生産の一端を担っていることは既に明らかになっている。しかし、僧寺・尼寺の造瓦組織は武蔵国や上野のように多様な造瓦組織の関与は認められず、国衛工房による造瓦組織の可能性があり、その中心が府中・山内瓦窯跡であると考えられる。そのためか、周辺の古代寺院には、特に一本作りに関してはほぼ分布せず(開法寺・宝幢寺を除く)国分僧寺と尼寺のみに分布し、後世には伝えられないことが現状の研究成果からいえる。そのため、一本作りの技術を有する工人は一定期間に製作したのちに国衛工房を離れ、讃岐国を離れた可能性がある。そのため、一本作りの技術は讃岐国に広まらなかった可能性が推測される。

SKH01A・Cともに数量は判明していないが桶巻作りの点数は少量であり、SKH01を生産した当初から早い段階で一枚作りに変化した可能性がある。一方でSKH01Bには桶巻作りは確認できない。出土量はSKH01A・Cに比べ少なく、既往の研究成果を含めた文様の変化でもSKH01A・CよりもSKH01Bは後出であることが明らかになっている(波邊 2017)。以上の状況から、SKH01BはSKH01A・Cが一本作りになったタイミングで生産が開始されたと推測される。また、SKH01Bは讃岐国分尼寺で主要な生産量になることから、僧寺では他のSKH01より少量であったと考えられる。

女瓦の製作技法は桶巻作りと一枚作りの両方が確認されている。一枚作りが採用されたタイミングとしては、宇瓦に一枚作りが採用されたと同時期と考えられる。一方で、男瓦の一本作りは全体の出土量から換算すると極わずかである。一枚作りが入る一方で、男瓦の主要な生産は依然として桶巻作りが主要と考えられ

る。

第3節 国分寺瓦の生産地について

国分寺に瓦を供給した窯跡はこれまでの研究で府中・山内瓦窯跡が挙げられる。府中・山内瓦窯跡は高松市と坂出市の市境を跨って設置された瓦窯である。大正11年に国指定史跡に指定されているが、本調査を実施した経歴はなく踏査や採取資料等による分析が中心である。これまでの研究で窯跡は13～14基存在したと推測される(渡部2013b)。これまでに窯構造が判明できた窯跡は有段式登窯2基と有牀式平窯2基であるが、焼成室の位置等がだまかに解明できるのみで全体の様相は不明確である。府中・山内瓦窯跡からはSKM03AとSKM07、KB06(讃岐国分尼寺)、SKH01Cが出土しており、讃岐国分僧寺と讃岐国分尼寺出土瓦の主要な生産地として挙げられていた。現在までに、府中・山内瓦窯跡以外で瓦類の生産地は明らかになっていない。

第4章第1節で胎土と焼成ごとの分析を行ったが、創建期に位置づけられたものの中でもSKM01等の灰色系のもものとSKM05等の灰被りをしているものの2種類に分けられる上に、平安期に位置づけられるSKM07等は軟質で灰褐色系で赤色粒を多く含んでおり、創建期から平安期にかけて4グループに分けられる。また、男瓦や女瓦の中でも焼成や胎土、技法が異なることから府中・山内瓦窯跡以外で生産された可能性はあり、これまでの発掘調査で明らかになった成果で製作技法や焼成状況等から他の生産地の可能性について考えてみたい。その中で、三豊市所在の金鳥池窯跡と綾川町所在の丸山窯跡で出土する瓦類に同類の叩き具や製作技法があるためこれらの窯跡について検討したい。

三豊市所在の金鳥池窯跡は確認調査により2基の有牀式平窯が確認され、出土する軒先瓦や研究成果から8世紀末～9世紀頃の窯跡と考えられる(塩治・垣見2013)。同範の軒先瓦はないが、叩き具や色調等が類似した女瓦が出土している。叩き具は正格子Fが挙げられ、色調は灰色～浅黄橙色で焼成も良好であることから正格子Fの特徴と同一である。その他に、断定はできないが国分寺のものに類似した縄叩きの女瓦等が確認されている。窯跡の年代等を含めて検討すると、Ⅲ期～Ⅳ期に国分寺に供給した窯跡の1つと想定される。

綾川町に所在する丸山窯跡は古墳時代から続く十瓶山窯跡群内の⑤支群に位置づけられる窯跡である(森下2016)。丸山窯跡は京都府烏羽離宮宮田中殿金剛心院、平安宮南面大垣等に供給したと考えられる窯跡である。生産時期は12世紀前半～12世紀後半と考えられる。ここで出土する男瓦には粘土紐桶巻作りのものが確認でき、僧寺の同一技法の男瓦と焼成や胎土が類似することから丸山窯跡で生産された可能性がある。

また、特定の窯跡は確認できなかったが、縄糸系叩き具の男瓦は十瓶山窯跡群の丸山窯跡や綾川町ますえ畑窯跡等で生産されており、胎土や焼成は国分寺と類似していることから、これらの生産地が候補として挙げられる。生産時期は11世紀から12世紀と考えられる。

本節で生産地に関する検討を行ったが、金鳥池窯跡や丸山窯跡で出土するものは国分寺内における出土量の割合は高くなく、創建期に位置付けられる瓦類は出土していない。現状において、創建期の主要な生産地は府中・山内瓦窯跡を考えなければならない。今後の発掘調査で新たな同範瓦が出土する窯跡は十分に考えられる。また、男瓦や女瓦の分析で丸山窯跡等の他の窯跡で生産された可能性は十分にあり、今後の発掘調査や既往の資料の詳細な分析を行い、供給体制の様相を明らかにしたい。

第4節 讃岐国分僧寺の瓦編年について(案)

1) 編年(案)の前提について

出土した瓦について文様や技法、胎土、調整等の特徴から編年を考察したい。しかし、ここで前提となるのが、讃岐国分僧寺は僧房跡や鐘楼跡等は発掘調査を実施しているが、塔跡や金堂跡・講堂跡等の中心部の建物の調査は実施したことはない。他国の国分寺では塔跡か金堂跡が最初に造営されていることを考慮すると、讃岐国分寺の創建当初の編年や葺かれた瓦類の状況等を考察することは極めて難しい。そのため、今回の編年案は僧房の創建時期を中心とした編年案で金堂跡等を含めた創建当初の様相や時期等については技法や文様等から推測するものであり、今後の発掘調査等で当初の瓦の様相や創建年代を再考する必要がある。今回の変遷案で使用する瓦類は僧房跡、鐘楼跡、築地塙等に使用された個体に基づく。

まず、時期設定は主に4期に分け設定する。Ⅰ・Ⅱ期は創建期に位置づけ、Ⅰ期は他所の国分寺の造営順序を考慮し、国分寺内で先行して造営される塔跡や金堂跡等の中核仏堂の造営時として設定する。Ⅱ期は中心部の造営から一定期間経過すると考えられることから僧房跡や鐘樓跡の周辺施設の造営時として設定する。しかし、今後の調査状況によってⅠ期とⅡ期の設定を改変しなければならない可能性はある。Ⅲ期は創建後の小規模な補修期として設定する。Ⅳ期は大きく平安時代内と設定し、細分は今回行っていないが、大規模な修理と小規模な修理が混在した時期として設定する。国分寺の創建年代はこれまでSKH01の東大寺式宇瓦を定点として年代設定（神護景雲年間が創建）が行われていた（渡部2013）。しかし、各部位は様々な東大寺式の要素を取り入れているが、文様全体を比較した際に特定の平城宮式に当てはめる年代を考察することは困難であると考えられる。一方で、後述するように、SKH03やSKH06が天平宝字7年以降に生産された可能性があると考えられる定点資料と考えられる。また、大きく4期に分類しているが、瓦の変遷状況や今後の消費地、生産地の調査状況によって細分できる可能性は十分にある。

2) これまでの讃岐国分寺の年代観について
これまでの研究で讃岐国分寺の年代観については多くの研究者によって述べられ、各研究者で年代観が異なる。ここでは簡略的ではあるが、各研究者の創建年代を中心に瓦の年代観について触れたい。

まず、渡部氏はSKH01Aの特徴が東大寺式の系統下にあると考え、文様意匠の特徴から天平勝宝年間（749～757）頃の東大寺式宇瓦（6732E～G・J等）まで遡らず、神護景雲年間（767～770）頃の西大寺系東大寺式宇瓦（6732N・M・X等）の影響を受けたと考えており、創建年代を770年頃と想定している。宇瓦はSKH01A→01C→01Bの型的変化を想定している。鎧瓦はSKM01・03A→SKM02A・04→SKM06という変遷を考えており、SKM06の年代を延暦初年（780年代前半）頃に位置づけた（渡部2013）。

松本氏の変遷は、鎧瓦はSKM01・03A・06（横置き型一本作り）→SKM01・04（接合式）→SKM02A・04と変遷することを打ち出した。宇瓦も文様の变化からSKH01A→01B→01Cと変遷すると考えた。創建年代はSKH01の祖型を天平文様に求め、横

置き型一本作りの製作技法による鎧瓦や平城京式鬼瓦等から天平12年以前の造瓦技術が讃岐国分寺導入されたと考えた。最新の見解としてはSKH01が東大寺法華堂の八乾漆像の天平模様に由来し、法華堂の創建事情や讃岐国分寺・国分尼寺の造営に際して、中央から伝播した造瓦技術の変遷を受けた結果、天平9年（737）の造仏の詔を受けて造営が始まったと推測している。（松本2009・2015）。

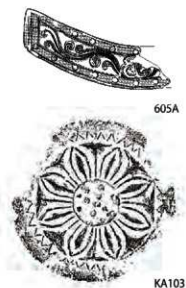
妹尾氏は製作技法や宇瓦の顎の形状、范傷の進行等の観点から分析した。その結果、SKM01Aの技法は范傷の進行から接合式から横置き型一本作りに変化したことを解明した。また、創建当初の瓦はSKM05・SKH06の組み合わせと考え、文様や製作技法等から平城宮瓦編年をもとに天平勝宝末年頃、750年代の中頃と位置づけられると考えている（妹尾2017）。

前述したとおり、渡部氏はSKH01系統の年代観を平城京6732Zb・6733A等と文様が類似していることから神護景雲年間頃に当てはめている。SKH01は東大寺式をモチーフにしている考えられるが、文様が中心飾りが近似していること以外に類似点が乏しい。また、渡部氏はSKH01A・01Bは上記の平城京系瓦と同じ変化を辿ると述べているが、何等かの技術的交流も含め、その実態については想定されていない。瓦文様は東大寺式をモチーフにしているが、大きくリメイクされており、限定的な年代を与える困難と考えられる。

松本氏の変遷は採用した文様や技法の上限年代を採用しており、国分寺建立の詔以前に造営が開始したと想定されているが、地方における横置き型一本づくりの導入は国分寺造営頃に導入される地域が多く、必ずしも平城京と同時期に技法の年代を置く必要はないと考えられる。

3) 瓦の変遷について

瓦の変遷を述べる前に文様の系譜状況を整理したい。まず、鎧瓦であるが、SKM01が宝輪寺（九亀市）の鎧瓦を模倣して作成されており、国分寺独自の瓦文様を創造する。一方、宇瓦はSKH01は東大寺式の模倣、後述するようにSKH03・06は唐招提寺の三軸瓦を模倣したものと考えられる。創建期の宇瓦はこれらの平城京系の瓦で構成される。また、鎧瓦SKM05を含め、平城京系の瓦類は程度は様々なが、リメイクされているのが讃岐国分寺で出土する平城京系瓦の特徴である。よって、鎧瓦はSKM05を除くと在地系瓦を毛



第123図 唐招提寺・弘安寺出土瓦 (S=1/4)
(岡田ほか 2017、高松歴資 1996 より)

チーフにしているが、宇瓦は平城京系瓦をモチーフに創建期瓦を生産していることが分かる。

さて、前述した各型式の技法や胎土の状況について分析した第1・2節の記述と瓦の文様系譜を考慮すると第123図のような変遷になると考えている。各期の詳細は以下のようである。

① Ⅰ期

まず、Ⅰ期に位置づけられる軒先瓦、すなわち塔跡や金堂跡等に葺かれたものは鎧瓦 SKM01・04、宇瓦 SKH01A・Cと考えられこれらが組み合うと考えられる。SKM01は宝幢寺の瓦文様の系譜下にあると考えられ、宝幢寺の瓦は奈良時代前期～中期ごろに生産した瓦と考えられる。そのため、SKM01は創建期(Ⅰ期)に位置づけられると考えられ、これと組みあう SKH01A・CもⅠ期に位置づけられると考えられる。これらの瓦類は、妹尾氏が分析したように鎧瓦が接合式から横置き型一本作りに(妹尾 2017)、今回の分析で宇瓦は桶巻作りから一枚作りへと変化していく。この変化は僧房跡や築地塼等の造営に見られるもので、Ⅰ期の段階は接合式であった可能性がある。これまでの調査で SKM01は接合式の個体にも若干ではあるが範傷が見られることから、塔跡等で葺かれた場合、範傷がないものが葺かれた可能性が推測される。SKM04は前述したように榎型の有無や範傷の有無で3段階に分かれることが分かっており、古段階の榎型があるものがⅠ期に遡ると考えられる。

現状ではⅠ期に位置づけられる建物は発掘調査を行っていないため、全容は不明と言わざるを得ないが、古式の文様系譜に位置づけられる型式で鎧瓦 SKM26、宇瓦 SKH25、46 が挙げられる。これらの型式は文様が古手であることや点数が極少量であることから、塔跡等に葺かれた可能性が推測されるが、今後の調査によって位置づけを再考しなければならない。

また、Ⅱ期に現状位置づけているが、鎧瓦 SKM05、宇瓦 SKH03・06もⅠ期に位置づけられる可能性もある。妹尾氏は SKM05の文様構成と SKH06が段頸であることから、塔跡や金堂跡に葺かれた創建瓦と位置付けている(妹尾 2017)。また、今回の分析で焼成状況から SKM05と SKH03・06は灰被りをしており、グループBに位置づけられたことが明らかになった。SKM05が平城京 6284・6138 型式を模倣したもので SKH03・06も讃岐国周辺に文様系譜を追えるものはなく、SKM05と共に平城京からもたらされた瓦範と考えると、セット関係にあると考えられることを考慮すると系譜や生産時期が限定的な状況であると考えられる。今回は SKH03・06が後述するように天平宝字7年以降に生産された可能性があり、平城Ⅱ期に位置づけているが、SKM05の参考になっている平城宮式の年代や平城京での段頸の消失が平城Ⅱ期と古い時期を示す資料であることから、調査によって位置づけを再考する必要がある。

SKM03Aは現状Ⅱ期に位置づけているがこれまでの調査で全ての個体に中房等には範傷がみられることから、推測ではあるが範傷がない個体が、講堂跡等に葺かれた可能性も推測される。

Ⅰ期の様相は繰り返になるが、発掘調査を行っていないため、全様は不明であると状況であるが、瓦文様等から SKM01・04、SKH01A・Cが現状推測される創建期瓦と考えられる。また、一本作りが導入された時期は SKM01が接合式から一本作りに変わった後に SKM03A等の一本作りが盛行になると考えられる。SKM03AはⅡ期に相当する今回の調査範囲(僧房跡等)では、中房等に範傷が見られるものしか出土しなかったことから、金堂跡や講堂跡では範傷がない個体がある可能性がある。そのため、Ⅰ期の終わりからⅡ期の初めにかけて導入された可能性がある。一枚作りも同様の時期に導入されたと考えられる。

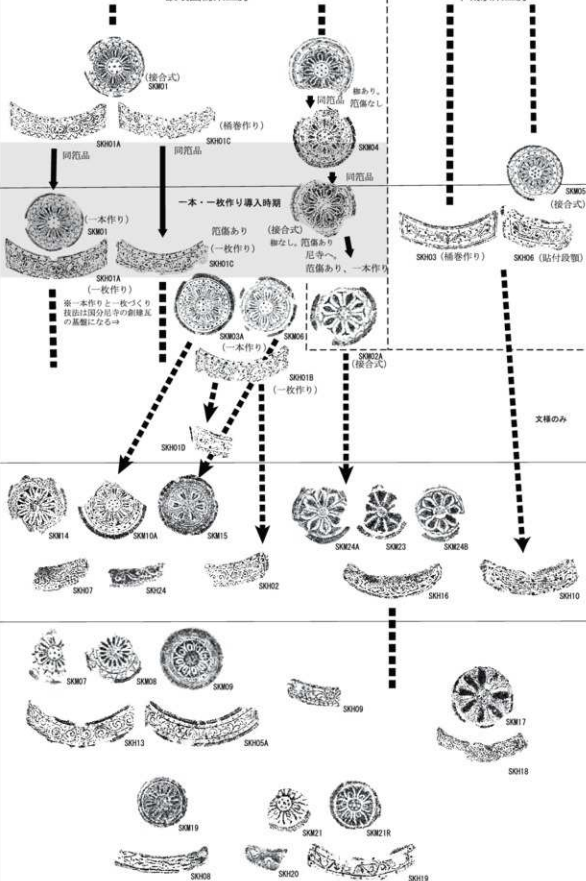
② Ⅱ期

Ⅱ期に位置づけられる鎧瓦は SKM01・02・03A・

讚岐国衛系工房

平城京系工房

IV 期 (平安期)



第 124 図 讃岐国分僧寺瓦変遷図

04・05・06、宇瓦はSKH01A・01B・01C・03・06と考えられる。組み合わせはSKM01・04・SKH01A・C、SKM03A・06・SKH01B、SKN05・SKH06が組み合うと考えられる。Ⅰ期から続くと考えられるSKM01は、技法が接合式から横置き型一本作りに変化した、范傷も珠文帯にまで増える。SKH01A・Cも桶巻作りから一枚作りに変化した、技法が変わった後に掘り直しや范傷が見られるようになる。SKH01Bは明確に桶巻作りと判明できるものではなく全て一枚作りと考えられることから、SKH01A・Cと比べ遅れて採用された可能性がある。これは、文様分析からSKH01AからSKH01Bへと変化したという意見と一致する(渡邊 2016)。Ⅱ期の初め頃までに平城京から導入された一枚作り、一本作りの製作技法の転換が完了し、これらの技法で生産される瓦類が盛行になる。そのため、SKM03A・06とSKH01BはSKM01、SKH01A・Bよりも新しい時期に位置づけられる。SKM04も榑型を取り外し、中房に范割れが見られるようになる。その後、讃岐国分尼寺に供給先が変わり、ここでは一本作りに変化する。推測であるがSKM04の横置き型一本作りが出土していないことから、新たな横置き型一本作りで製作されるSKM03A・06が新たに導入されたことになり、尼寺に供給先が変更されたと考えられる。

SKM02Aは接合式であるが、男瓦と瓦当で積み上げた粘土にヴァリエーションがSKM01等の接合式の鎧瓦と比較すると雑になっていると考えられる。また、瓦当面に貼り付けた粘土が柔らかいことが要因で発生した凹凸が見られることから、SKM01等を生産した工人が異なると推測される。製作技法や作り方がSKM01よりも雑になり、この型式よりも新しい時期に位置づけられるが、焼成は硬質であるものが多く、著しく時代を遡るものではないと考えられる。また、祖型となる鎧瓦(弘安寺KA103)が幅広い年代観であるが、奈良時代に位置づけられることを考慮すると平安時代まで下るものではなくⅡ期の中でも新しい時期に置かれる可能性がある。

一方で、SKM05、SKH03・06は現状Ⅱ期に位置づけられると考えられるが、第4章1節で示したとおり、灰被りをしており、讃岐国衙系工場の瓦と異なる工人・窯跡で生産された可能性がある。そのため、鎧瓦の技法も接合式であり、宇瓦も桶巻作りである。さらに、SKH06は段頸である。また、文様もSKM05は平城京6138型式や6284型式等、宇瓦は唐招提寺605A

の文様を模倣したと考えられる。

Ⅱ期の特徴として工房跡が異なるSKM05・SKH03等を除き、一本作り・一枚作りの技法が定着し、この時期の生産体制の主要な技法として採用される。しかし、一本作りはⅢ期(補修期)には引き継がれず、創建期で技法の伝播が途絶える。創建期の工人集団が解体されたか、工人が移動した可能性がある。

③Ⅲ期

Ⅲ期に位置づけられる鎧瓦はSKM10A・10B・12・14～16・23・24A・24Bである。宇瓦はSKH02・04・11A・11Bが挙げられる。基本的にはⅠ・Ⅱ期に採用された文様の系譜下にある型式である。SKM14は外区の文様構成は異なるが、尼寺のKB101の文様に類似していることから尼寺での位置づけから創建期から下った時期に遡ると考えられる。

技法は各型式の点数は少ないが、鎧瓦は接合式、宇瓦は一部桶巻作りに戻っている。創建期から一定期間経過しているため、創建時の造瓦体制は一度解体した可能性がある。その中でも特に一本作りの技法に関しては、その後の国分寺をはじめとする、讃岐国内の瓦生産に引き継がれなかったことから、工人が移動してしまった可能性がある。

Ⅲ期の特徴としては補修に伴う瓦の葺き替えと考えられ、必要に応じて取り換えたと考えられることから、型式は多いが点数は多くない。また、胎土は創建期のもの比べ粗めの粒子が入るが、基本的に精良なものが多い。焼成は灰色系のものが多い。

④Ⅳ期

この時期に位置づけられる鎧瓦はSKM07・08・09・17・20～21R、宇瓦はSKH05A・05B・08・09・12・13・17・18・20が挙げられる。前代(Ⅰ～Ⅲ期)から続く文様系譜は多くなく、Ⅳ期になり新たに作られた瓦類が多い。その代表的な文様は鎧瓦SKM07・08・09、宇瓦SKH05A・05Bが挙げられる。これらの瓦類はⅣ期の中でも最も出土量が多く、この時期に再整備期の中心と考えられる。前代から続くと考えられる鎧瓦はSKM20であり、SKM10A等の花卉の輪郭がハートになっている型式の個体の系譜下にあると考えられる。その後、SKM19に続き瓦当径がより小型になり、男瓦部に釘を打ち込む孔が見られることから11世紀以降のものと推測される。宇瓦はSKH13でSKH02の中心飾りや下外区をアレンジし、

その他の部分を模倣したものと考えられる。

Ⅳ期の特徴としてはSKH05以外は基本的文様が崩れているものが多く、色調は灰にぶい黄褐色系で軟質のものが多い。SKH17のように瓦当幅が狭くなる等、鎖瓦・宇瓦を通して新しい時期のものは小型化する傾向にあるのも特徴である。

4) 各期の年代観について

①Ⅰ期

年代観は下限年代については厳密な検討を行えないが、『続日本紀』天平勝宝八歳(756)十二月二十日条に讃岐国等26国に聖武天皇一周忌に合わせ灌頂幡等を送るという記述があることから、この時期に金堂は完成、法会を行っていた可能性がある。また、Ⅱ期はSKH03・06の成立が天平宝字7年(763)以降に成立したと考えられることを含めると、この年代以前に塔跡や金堂跡の造営は完了したと考えられる。出土瓦から見るとSKH01は大きくリメイクされているが、東大寺式の系譜を引いていると考えられ、東大寺式宇瓦が成立する天平勝宝年間頃にSKH01が成立したと推測される(岩永2001)。創建期に位置付けられるSKH01Aの年代観や『続日本紀』の記述が正しい場合と最初に建立した建物が金堂と仮定した場合、Ⅰ期の年代は僧房等の造営が天平宝字後半以降であること考慮すると天平勝宝年間～天平宝字年間前半と推測され、この時期には塔跡や金堂跡の造営は終えていたと推定される。

②Ⅱ期

SKH03、06が唐招提寺605Aの三彩瓦の文様を模倣したものと考えられる。605Aが、唐招提寺で暮かれた可能性がある建物は西室跡北側の影堂(開山堂)と考えられている(岡田ほか2017)。創建当初は開山堂として建立されたが、鑑真和尚の死後、影堂(御影堂)となり鑑真和尚像を安置したと考えられる。三彩瓦の成立は、上限年代は鑑真が亡くなった天平宝字7年(763)で、下限年代は廃棄状況から平安遷都以前に位置付けられる(岡田ほか2017)。金堂跡が天平勝宝八歳(756)には完成している可能性があり、その後、講堂造営を経て僧房を着手したと考えられることや、SKH03・06の成立が天平宝字7年(763)以降に開山堂から影堂に役割が変化し、それに伴って三彩瓦の605Aが成立すると考えられることから、SKH03・06は早くても天平宝字7年以降に讃岐国分

寺で成立したと考えられる。国分寺の造営がⅠ期の塔から講堂等、間隔を開けず連続して造営を行った場合、Ⅱ期の年代は天平宝字7年以降～宝亀年間前後と推測される。Ⅱ期まで創建期に位置づけられ、この時期に築地塼等まで含めた主要伽藍の整備が完了したと考えられる。

③Ⅲ期

年代観は瓦の作りが創建期と比べやや雑になるものの、Ⅳ期の平安期のものと比べると文様は崩れておらず、焼成も良好であることから、創建期以降から9世紀代と推測される。しかし、下限年代が不明であることから、Ⅳ期と時期が被る可能性もある。

④Ⅳ期

周辺の生産地の焼成や胎土等を考慮すると9世紀～12世紀頃と考えられる。編年は細分できると考えられるが、小規模な補修と大規模な修理を行った時期である。SKH05がⅣ期の中で最も出土しており、この型式の瓦が葺かれた際に大規模な改修があったと考えられ、時期は10世紀代と考えられる。また、縄斜系の呼び具で成形されている瓦類は綾川町ますえ畑窯跡の等で生産され、11世紀～12世紀と考えられる。その後の伽藍の様子は僧房基壇がSE6019に削平されていることから、井戸が埋没した13世紀前半以前には廃墟になったと考えられ、現本堂の建立(旧講堂跡)が鎌倉時代頃に建立した等の整備が行われ、中・近世瓦が使用されて、今日の伽藍の様子に至ったと考えられる。

今回の編年(案)はこれまでの発掘調査で出土した資料をもとに考察したが、今後の発掘調査の成果によっては再考察が必要であると考えられる。現状ではSKM01-SKH01A等が創建期に位置付けられると考えられるが、SKH25・46等の古式の郡系瓦と考えられる瓦類が出土することから、金堂跡等の中心伽藍に葺かれた可能性もある。

創建期瓦に平城京系瓦がもたらされた背景には具体的な見解は示せないが、東大寺や西大寺、唐招提寺等の平城京大寺の封戸・荘園が多く、讃岐国と平城京との関りが強いことも一因すると推測される。また、Ⅱ期に位置付けられる平城京からもたらされた瓦類(SKM05等)は讃岐国分寺僧房は大安寺大房・中房と同じく3間で大房と国分寺僧房の柱間がほぼ等しく関連性が高いことが既に指摘されており(岡田

2018)、遺構面から平城京からの関連性が見られる。僧房を造営するタイミングと尼寺の本格的な造営を開始した時期が重なったため、各工人の増員が必要であったため、この頃に建築工人と瓦工人が入ってきた可能性がある。

引用・参考文献

【瓦類】

- 岩戸晶子 2001 『奈良時代の瓦面文瓦・瓦葺技術からみた平城京式瓦葺・南都七宝寺式瓦葺の変遷』『史料』84号・3 史学研究会
- 岩永省三 2001 『第Ⅳ章考察 4 瓦葺』『史跡讃岐国分寺跡調査報告』奈良文化財研究所
- 堀江孝子 2013 『紫雲山道跡・金鳥池道跡』三豊市教育委員会
- 大塚勝純・黒川隆弘 1975 『讃岐国分寺の瓦と埴』
- 大脇肇 1991 『丸瓦の製作技術』『研究論集Ⅱ』奈良文化財研究所
- 岡田英男 2018 『讃岐国分寺僧房の復元的考察』『特別史跡讃岐国分寺跡Ⅰ 遺構編』高松市教育委員会
- 岡田雅彦ほか 2017 『史跡唐招提寺境内Ⅱ』唐招提寺・橿原考古学研究所
- 香川県立ミュージアム 2017 『讃岐びと、時代を動かす - 地方豪族が見た古代世界 -』
- 国分寺町教育委員会 1984 『特別史跡讃岐国分寺跡 昭和 58 年度発掘調査概報』
- 国分寺町教育委員会 1985 『特別史跡讃岐国分寺跡 昭和 59 年度発掘調査概報』
- 国分寺町教育委員会 1986 『特別史跡讃岐国分寺跡 昭和 60 年度発掘調査概報』
- 国分寺町教育委員会 1987 『特別史跡讃岐国分寺跡 昭和 61 年度発掘調査概報』
- 国分寺町教育委員会 1991 『特別史跡讃岐国分寺跡 平成 3 年度発掘調査概報』
- 国分寺町教育委員会 1996 『特別史跡讃岐国分寺跡保存整備事業報告書』
- 小林謙一・佐川正敏 1990 『平安時代～近世の軒丸瓦』『伊賀留我』10 小学館
- 佐藤竜馬 2003 『第 4 章 第 2 節 瓦』『高松城跡(西の丸地区)Ⅱ』香川県教育委員会
- 妹尾四三 2017 『讃岐国分寺の創建経緯とその特徴について』『史跡讃岐国分寺跡 第 7 ～ 14 次確認調査』高松市教育委員会
- 高松市歴史資料館 1996 『讃岐の古瓦展』
- 花谷浩・毛利光俊 1991 『瓦埴』『平城京発掘調査報告 13』奈良国立文化財研究所
- 法隆寺昭和資料編集委員会 1992 『法隆寺の宝室』第 15 巻 - 昭和資料板 - 小学館
- 松本和彦 2019 『讃岐国府Ⅱ』香川県教育委員会
- 松本和彦 2003 『高松城跡(丸の内地区)』香川県教育委員会
- 松本忠孝 2009 『出土瓦から見た讃岐国分寺の創建』『仏教藝術』303, 毎日新聞社
- 松本忠孝 2015 『古代の讃岐国分寺・国分寺について』『仏教藝術』339, 毎日新聞

- 森下英二 2016 『丸山窯跡』香川県教育委員会
- 山崎信二 2000 『中世瓦の研究』
- 山崎信二 2008 『近世瓦の研究』
- 渡部明夫 2013 『讃岐国分寺の考古学的研究』同成社
- 渡部明夫 2013a 『讃岐国分寺に関する古代の寺院・瓦』『讃岐国分寺の考古学的研究』同成社
- 渡部明夫 2013b 『前・山内瓦窯跡について - 讃岐国分寺 瓦葺の基礎的整理 -』『讃岐国分寺の考古学的研究』同成社
- 渡邊誠 2016 『総括』『史跡讃岐国分寺跡 第 7 ～ 14 次確認調査』高松市教育委員会
- 渡邊誠 2017 『四国における近世瓦の生産と流通 - 高松藩における御用瓦師の成立 -』『幕藩体制下の瓦』
- 渡邊誠 2018 『特別史跡讃岐国分寺跡Ⅰ』遺構編 高松市教育委員会
- 渡邊誠 2019 『特別史跡讃岐国分寺跡Ⅰ』遺物編① 高松市教育委員会

【土器類】

- 石井清司 1995 『籬原須恵器』『概説 中世の土器・陶磁器』
- 香川県・香川県教育委員会 2012 『四国八十八ヶ所霊場第八十一番札所 白峯寺調査報告書』
- 片桐孝浩 1992 『古代から中世にかけての土器様相』『中小河川大東川改修工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告 川津元結木道跡』香川県教育委員会
- 古代の土器研究会 2003 『古代の土器研究』平安時代の埴輪陶器一生産地の様相を中心に
- 佐藤竜馬 1993 『香川県十勝山窯跡における須恵器編年』『関西大学考古学研究室開設四周年記念 考古学論叢』関西大学考古学研究室開設四周年記念事業会
- 佐藤竜馬編 1995 『橋井産土器の編年』『国分寺橋井道跡』香川県教育委員会
- 佐藤竜馬編 2000a 『高松平野と周辺地域における中世土器の編年』『空母道跡道跡』香川県教育委員会
- 佐藤竜馬 2000b 『「西村型土器」の系譜』『香川県埋蔵文化財センター紀要』Ⅷ 香川県埋蔵文化財センター
- 佐藤竜馬 2015 『讃岐における古代～中世土器編年をめぐる基礎作業(1) 9 世紀後半～ 11 世紀前半の供膳器類』『香川県埋蔵文化財センター』平成 26 年度 香川県埋蔵文化財センター
- 重松弘和 『中世前期境に関する考察』『山口大学考古学論叢』
- 高橋照彦 2003 『平安京近郊の埴輪陶器生産』『古代の土器研究』平安時代の埴輪陶器一生産地の様相を中心に
- 太宰府市教育委員会 2000 『太宰府家坊跡』XV
- 桑岡友 2001 『福前大墳墓編年レクチャー資料』
- 桑岡友 2002 『第Ⅴ章 調査成果の整理と展望 第 3 節 近世前期埴輪鉢の編年』『岡山城三之曲輪跡』
- 百瀬正恒・近江俊秀 1995 『近畿』『概説 中世の土器・陶磁器』
- 山下峰司 1995 『灰釉陶器・山茶碗』『概説 中世の土器・陶磁器』
- 渡辺辰雄・齊木正友・近藤三郎編 1973 『大日本国府跡海軍 軍装と装飾』

遺物觀察表

土器

品名 品番	数量	単位	(製造地)		種類	部材	寸法(cm)	手法の特徴		色調	紋土	構成	気質/つや
			取上げ位置	取上げ位置				外面	内面				
12	81001	80	HT 12	HT 12	伊土 器	鉢	口径：10.5cm 底径：7.15	手ナデ、指ナデ	手ナデ	[H] 1087/21:ぶい黄緑 [内] 5/17/2:灰黄	黄、白色砂粒を含む 黄緑が変化している	良	煤化
12	83171	84	HT16 第1層	HT16 第1層	琉球 陶器	鉢	口径：10.5cm 底径：1.35	手ナデ、指ナデ	自然釉	[H] 1097/1:黒白 [内] 7/19/2:灰オリーブ	黄、白色砂粒を含む 黄緑が変化している	良	煤化
12	83172	83	HT16 第1層	HT16 第1層	琉球 陶器	鉢	口径：10.5cm 底径：1.35	手ナデ、指ナデ	手ナデ	[H] 1092/1:黒白 [内] 10/92/1:黄緑-6/23:ぶい黄緑	黄、白色砂粒を含む	良	煤化
12	83173	83	HT16 第1層	HT16 第1層	琉球 陶器	鉢	口径：10.5cm 底径：1.35	手ナデ、指ナデ	手ナデ	[H] 1092/2:黄緑 [内] 10/92/2:黄緑	黄、1mm以下の白色砂粒・角状を含む	良	煤化
12	83174	83	HT16 第1層	HT16 第1層	琉球 陶器	鉢	口径：10.5cm 底径：1.35	手ナデ、指ナデ	手ナデ	[H] 1092/2:黄緑 [内] 10/92/2:黄緑	黄、1mm程度の白色砂粒を多量に含む	良	
12	83175	83	HT16 第1層	HT16 第1層	琉球 陶器	鉢	口径：10.5cm 底径：1.35	手ナデ、指ナデ	手ナデ	[H] 1097/21:ぶい黄緑 [内] 10/97/21:ぶい黄緑	黄、1mm程度の白色砂粒・黄味を含む	良	
12	83176	83	HT16 第1層	HT16 第1層	琉球 陶器	鉢	口径：10.5cm 底径：1.35	手ナデ、指ナデ	手ナデ	[H] 1097/21:ぶい黄緑 [内] 10/97/21:ぶい黄緑	黄、1mm程度の白色砂粒・黄味を多量に含む	良	
12	83177	83	HT16 第1層	HT16 第1層	琉球 陶器	火鉢	口径：10.5cm 底径：5.45	手ナデ、穿孔	手ナデ、指ナデ	[H] 1096/21:ぶい黄緑 [内] 10/96/21:ぶい黄緑	黄、1mm程度の白色砂粒・黄味を含む	良	煤化
12	83178	83	HT16 第1層	HT16 第1層	琉球 陶器	井戸?	口径：10.5cm 底径：12.7	手ナデ、指ナデ	手ナデ	[H] 1097/21:ぶい黄緑 [内] 10/97/21:ぶい黄緑	黄、1mm程度の白色砂粒・角状を含む、黄味を多量に含む	良	
12	83179	83	HT16 第1層	HT16 第1層	琉球 陶器	井戸?	口径：10.5cm 底径：13.2	手ナデ、へら掻き 指ナデ	手ナデ	[H] 1097/21:ぶい黄緑 [内] 10/97/21:ぶい黄緑	黄、1mm程度の白色砂粒・角状を含む、黄味を多量に含む	良	
12	83180	83	HT16 第1層	HT16 第1層	琉球 陶器	鉢	口径：10.5cm 底径：6.1	手ナデ、指ナデ	手ナデ	[H] 1095/41:ぶい黄緑 [内] 10/95/41:ぶい黄緑	黄、1mm程度の白色砂粒を含む	良	煤化/土遺物 14C中
12	83181	83	HT16 第1層	HT16 第1層	琉球 陶器	鉢	口径：10.5cm 底径：12.45	手ナデ	手ナデ	[H] 1095/21:ぶい黄緑 [内] 10/95/21:ぶい黄緑	黄味	良好	煤化/土遺物 14C中
12	83182	83	HT16 第1層	HT16 第1層	琉球 陶器	鉢	口径：10.5cm 底径：6.5	手ナデ	手ナデ+指ナデ	[H] 1094/4:黒緑 [内] 10/94/4:黒緑	黄味、1mm以下の白色砂粒を含む	良好	煤化・硝子系 18C
12	83183	83	HT16 第1層	HT16 第1層	琉球 陶器	鉢	口径：10.5cm 底径：7.55	指ナデ	指ナデ、蓋物	[H] 1096/1:黒白 [内] 10/96/1:黒白	黄、1mm以下の白色砂粒を多量に含む	良好	土質黄褐色系
12	83184	83	HT16 第1層	HT16 第1層	琉球 陶器	蓋	口径：8.45 底径：7.55	手ナデ、指ナデ	手ナデ	[H] 1094/4:黒緑 [内] 10/94/4:黒緑	黄味	良好	急須
12	83185	83	HT16 第1層	HT16 第1層	琉球 陶器	蓋	口径：5.25 底径：2.85	手ナデ、指ナデ	手ナデ、指ナデ	[H] 1096/6:黄緑 [内] 10/96/6:黄緑	黄味	良好	
12	83186	83	HT16 第1層	HT16 第1層	琉球 陶器	火入れ	口径：8.85 底径：13.2	指ナデ、指ナデ	指ナデ	[H] 1097/2:黄緑 [内] 10/97/2:黄緑	黄味	良好	
12	83187	83	HT16 第1層	HT16 第1層	琉球 陶器	火入れ	口径：5.25 底径：3.25	指ナデ、指ナデ	指ナデ、指ナデ	[H] 1097/2:黄緑 [内] 10/97/2:黄緑	黄味、黄味を含む	良好	伊土・伊土系 19C 古
12	83188	83	HT16 第1層	HT16 第1層	琉球 陶器	火入れ	口径：3.85 底径：2.85	指ナデ、指ナデ	指ナデ、指ナデ	[H] 1097/2:黄緑 [内] 10/97/2:黄緑	黄味	良好	伊土系黄褐色系
12	83189	83	HT16 第1層	HT16 第1層	琉球 陶器	火入れ	口径：3.85 底径：2.85	指ナデ、指ナデ	指ナデ、指ナデ	[H] 1097/2:黄緑 [内] 10/97/2:黄緑	黄味	良好	伊土系黄褐色系
12	83190	83	HT16 第1層	HT16 第1層	琉球 陶器	火入れ	口径：3.85 底径：2.85	指ナデ、指ナデ	指ナデ、指ナデ	[H] 1097/2:黄緑 [内] 10/97/2:黄緑	黄味	良好	伊土系黄褐色系
12	83191	83	HT16 第1層	HT16 第1層	琉球 陶器	火入れ	口径：3.85 底径：2.85	指ナデ、指ナデ	指ナデ、指ナデ	[H] 1097/2:黄緑 [内] 10/97/2:黄緑	黄味	良好	伊土系黄褐色系
12	83192	83	HT16 第1層	HT16 第1層	琉球 陶器	火入れ	口径：3.85 底径：2.85	指ナデ、指ナデ	指ナデ、指ナデ	[H] 1097/2:黄緑 [内] 10/97/2:黄緑	黄味	良好	伊土系黄褐色系
12	83193	83	HT16 第1層	HT16 第1層	琉球 陶器	火入れ	口径：3.85 底径：2.85	指ナデ、指ナデ	指ナデ、指ナデ	[H] 1097/2:黄緑 [内] 10/97/2:黄緑	黄味	良好	伊土系黄褐色系
12	83194	83	HT16 第1層	HT16 第1層	琉球 陶器	火入れ	口径：3.85 底径：2.85	指ナデ、指ナデ	指ナデ、指ナデ	[H] 1097/2:黄緑 [内] 10/97/2:黄緑	黄味	良好	伊土系黄褐色系
12	83195	83	HT16 第1層	HT16 第1層	琉球 陶器	火入れ	口径：3.85 底径：2.85	指ナデ、指ナデ	指ナデ、指ナデ	[H] 1097/2:黄緑 [内] 10/97/2:黄緑	黄味	良好	伊土系黄褐色系
12	83196	83	HT16 第1層	HT16 第1層	琉球 陶器	火入れ	口径：3.85 底径：2.85	指ナデ、指ナデ	指ナデ、指ナデ	[H] 1097/2:黄緑 [内] 10/97/2:黄緑	黄味	良好	伊土系黄褐色系
12	83197	83	HT16 第1層	HT16 第1層	琉球 陶器	火入れ	口径：3.85 底径：2.85	指ナデ、指ナデ	指ナデ、指ナデ	[H] 1097/2:黄緑 [内] 10/97/2:黄緑	黄味	良好	伊土系黄褐色系
12	83198	83	HT16 第1層	HT16 第1層	琉球 陶器	火入れ	口径：3.85 底径：2.85	指ナデ、指ナデ	指ナデ、指ナデ	[H] 1097/2:黄緑 [内] 10/97/2:黄緑	黄味	良好	伊土系黄褐色系
12	83199	83	HT16 第1層	HT16 第1層	琉球 陶器	火入れ	口径：3.85 底径：2.85	指ナデ、指ナデ	指ナデ、指ナデ	[H] 1097/2:黄緑 [内] 10/97/2:黄緑	黄味	良好	伊土系黄褐色系
12	83200	83	HT16 第1層	HT16 第1層	琉球 陶器	火入れ	口径：3.85 底径：2.85	指ナデ、指ナデ	指ナデ、指ナデ	[H] 1097/2:黄緑 [内] 10/97/2:黄緑	黄味	良好	伊土系黄褐色系
12	83201	83	HT16 第1層	HT16 第1層	琉球 陶器	火入れ	口径：3.85 底径：2.85	指ナデ、指ナデ	指ナデ、指ナデ	[H] 1097/2:黄緑 [内] 10/97/2:黄緑	黄味	良好	伊土系黄褐色系
12	83202	83	HT16 第1層	HT16 第1層	琉球 陶器	火入れ	口径：3.85 底径：2.85	指ナデ、指ナデ	指ナデ、指ナデ	[H] 1097/2:黄緑 [内] 10/97/2:黄緑	黄味	良好	伊土系黄褐色系
12	83203	83	HT16 第1層	HT16 第1層	琉球 陶器	火入れ	口径：3.85 底径：2.85	指ナデ、指ナデ	指ナデ、指ナデ	[H] 1097/2:黄緑 [内] 10/97/2:黄緑	黄味	良好	伊土系黄褐色系

探検 番号	報告 番号	次	実測 番号	(遺物層)		種類	形状	法則(4.4)	平面的特徴		色調	粘土	焼成	気づいたこと
				掘り上げ位置	掘り上げ位置				外面	内面				
13	83204	83	18	24	J-3 第3層	土師器 土器	瓶	口径(14.4) 底径(12.9) 高さ(1.9)	ナデ	ナデ	[内] 5YR7/6焼 [内] 5YR8/2黄褐色	黄、0.5mm以下の白色 砂粒を含む	良	底面有
13	83205	83	18	21	J-3 第3層	土師器 土器	瓶	口径(10.0) 底径(1.9)	ナデ	薄底	[内] 10YR7/2にふい黄焼 [内] 10YR8/2にふい黄焼	やや黄、2mm以下の白色 砂粒を含む	良	底付付
13	83206	83	18	25	J-3 第3層	土師器 土器	足盤	口径(23.2) 底径(14.7)	薄底	板ナデ	[内] 5YR7/2灰白 [内] 5YR7/2灰白	やや黄、1mm以下の白色 砂粒を含む	良	内底あり
13	83207	83	P1008	A3 第3層	A-3 第3層	土師器 土器	片断	口径一 底径(19.5)	薄ナデ、底面ナ デ	薄ナデ	[内] 10YR6/2にふい黄焼 [内] 10YR7/2にふい黄焼	黄、1mm程度の白色砂 粒・黄色砂粒・黄白を 多量に含む	良	
13	83208	83	P1007	A3 第3層	A-3 第3層	土師器 土器	鉢or コンロ	口径一 底径(28.0) 高さ(3.3)	ミガキ、ナデ	薄ナデ	[内] 10YR7/2にふい黄焼 [内] 10YR7/2にふい黄焼	黄、1mm程度の白色砂 粒・黄白を含む	良	
13	83209	83	P956	A3 第3層	A-3 第3層	瓦葺 土器	井筒or 土管材	口径一 底径(16.4)	ナデ	ナデ	[内] 5YR7/2 [内] 5YR7/2灰白	黄、1mm以下の白色砂 粒を含む	良	良好
13	83210	83	P971	A3 第3層	A-3 第3層	流石器 土器	小型 碗状	口径(18.4) 底径(12.6)	薄ナデ	薄ナデ	[内] 5YR7/2灰白 [内] 5YR7/2灰白	黄、1mm以下の白色砂 粒を含む	良	良好
13	83211	83	27	J-3 第3層	J-3 第3層	流石器 土器	蓋	口径(19.0) 底径(1.6)	ナデ	ナデ	[内] 5YR7/2灰白 [内] 5YR7/2灰白	黄、1mm以下の白色砂 粒を含む	良	
13	83212	83	P994	E2 第2層	E-2 第2層	流石器 土器	蓋付 鉢or片	口径一 底径(19.0) 高さ(1.6)	薄ナデ	薄ナデ	[内] 5YR7/2灰白 [内] 5YR7/2灰白	黄、1mm程度の白色砂 粒・黄色砂粒を含む	良	良好
13	83213	83	P980	E2 第2層	E-2 第2層	陶器 土器	蓋鉢	口径(12.4) 底径(1.5)	ナデ、底面ナ デ	ナデ一底面ナ デ	[内] 10YR4/2黄褐色 [内] 10YR4/2黄褐色	黄、1mm程度の白色砂 粒を含む	良	底面焼
13	83214	83	P979	C4 第3層	C-4 第3層	流石器 土器	瓶	口径一 底径(22.1)	流石	流石	[内] 5YR7/2灰白 [内] 5YR7/2灰白	黄、1mm以下の白色砂 粒を含む	良	良好
13	83215	83	P992	J2 第2層	J-2 第2層	流石器 土器	瓶	口径一 底径(14.0)	流石、口縁部 流石	流石、口縁部 流石	[内] 5YR7/2灰白 [内] 5YR7/2灰白	黄、1mm程度の白色砂 粒を含む	良	良好
13	83216	83	P993	J2 第2層	J-2 第2層	流石器 土器	鉢	口径一 底径(15.4)	流石、底面ナ デ	流石	[内] 10YR7/2灰白 [内] 5YR7/2灰白	黄、1mm程度の白色砂 粒を含む	良	良好
13	83217	83	P970	J2 第2層	J-2 第2層	流石器 土器	鉢	口径一 底径(22.6)	流石(底面ナ デ)	流石(底面ナ デ)	[内] 5YR7/2灰白 [内] 5YR7/2灰白	黄、1mm程度の白色砂 粒を含む	良	良好
13	83218	83	P1009	A3 第3層	A-3 第3層	流石器 土器	瓶	口径一 底径(13.8)	流石、底面ナ デ	流石	[内] 5YR7/2灰白 [内] 5YR7/2灰白	黄、1mm程度の白色砂 粒を含む	良	底面有
13	83219	83	P1006	A3 第3層	A-3 第3層	流石器 土器	瓶	口径(10.2) 底径(1.5)	流石、底面ナ デ	流石、底面ナ デ	[内] 5YR7/2灰白 [内] 5YR7/2灰白	黄、1mm程度の白色砂 粒を含む	良	底面有
13	83220	83	P1005	A3 第3層	A-3 第3層	流石器 土器	瓶	口径(10.2) 底径(1.5)	流石	流石	[内] 10YR7/2灰白 [内] 5YR7/2灰白	黄、1mm程度の白色砂 粒を含む	良	底面有
13	83221	83	9	J-2 第2層	J-2 第2層	青磁 土器	瓶	口径一 底径(15.3)	流石	流石	[内] 5YR7/2灰白 [内] 10YR8/2灰白	黄、1mm程度の白色砂 粒を含む	良	底面有
13	83222	83	P991	J2 第2層	J-2 第2層	流石器 土器	瓶	口径(14.4) 底径(2.8)	流石、底面ナ デ	流石、底面ナ デ	[内] 5YR7/2灰白 [内] 5YR7/2灰白	黄、1mm程度の白色砂 粒を含む	良	底面有
13	83223	83	11	B-2 第2層(埋)	B-2 第2層(埋)	土師器 土器	蓋	口径(14.4) 底径(1.5)	流石ナデ、底面 流石ナデ	流石ナデ	[内] 10YR7/2灰白 [内] 10YR8/2黄褐色	黄、赤色砂を含む	良	
13	83224	83	P225	E2 第2層	E-2 第2層	瓦葺 土器	瓦葺	口径一 底径(15.0) 高さ(1.8)	ナデ、底面ナ デ	ナデ、底面ナ デ	[内] 5YR7/2灰白 [内] 10YR7/2灰白	黄、0.5mm以下の砂粒 を含む	良	やや還元
13	83225	83	12	J-2 第4層	J-2 第4層	土師器 土器	小皿	口径(17.4) 底径(1.5)	流石ナデ	流石ナデ	[内] 10YR7/2灰白 [内] 10YR8/2灰白	やや黄、1mm以下の白色 砂粒を含む	良	
13	83226	83	11	J-2 第4層	J-2 第4層	土師器 土器	小皿	口径(18.0) 底径(1.6)	流石ナデ	流石ナデ	[内] 10YR7/2灰白 [内] 10YR8/2灰白	やや黄、1mm以下の砂 粒を含む	良	やや還元
13	83227	83	13	J-2 第4層	J-2 第4層	土師器 土器	鉢付 土器	口径一 底径(13.2)	ナデ	ナデ	[内] 5YR7/2黄褐色 [内] 5YR8/2灰白	やや黄、底面ナ デ・赤色砂を含む	良	
13	83228	83	15	J-2 第4層	J-2 第4層	土師器 土器	瓶	口径一 底径(1.4)	ナデ	ナデ	[内] 10YR8/2黄褐色 [内] 10YR8/2灰白	やや黄、底面ナ デを含む	良	
13	83229	83	P955	J2 第4層	J-2 第4層	土師器 土器	土器	口径一 底径(4.2)	薄底	薄底	[内] 10YR8/2灰白 [内] 10YR8/2灰白	黄	不良	
13	83230	83	P969	E2 第4層	E-2 第4層	土師器 土器	足盤	口径一 底径(13.2)	薄底	薄底	[内] 10YR8/2灰白 [内] 10YR8/2灰白	黄、1mm程度の白色砂 粒・黄色砂粒を含む	良	
13	83231	83	14	J-2 第4層	J-2 第4層	土師器 土器	足盤 (即断)	長さ(16.9) 底径(1.1)	ナデ、底面ナ デ	ナデ、底面ナ デ	[内] 5YR8/2にふい黄 [内] 5YR8/2にふい黄	やや黄、1mm程度の白色 砂粒等を含む	良	やや還元
13	83232	83	10	J-2 第4層	J-2 第4層	瓦葺 土器	瓦葺	口径一 底径(11.0)	ナデ、瓦質性 ナデ	黒色化	[内] 5YR7/2 [内] 5YR7/2灰白	やや黄、底面ナ デを含む	良	
13	83233	83	P950	J2 第4層	J-2 第4層	流石器 土器	蓋	口径一 底径(12.4)	薄ナデ	薄ナデ	[内] 5YR7/2灰白 [内] 5YR7/2灰白	黄、1mm程度の白色砂 粒・黄色砂粒を多量に 含む	良	十層山底
13	83234	83	P971	E2 第4層	E-2 第4層	陶器 土器	瓶	口径一 底径(1.7)	流石、底面ナ デ	流石	[内] 5YR7/2灰白 [内] 5YR7/2灰白	黄、1mm程度の白色砂 粒・黄色砂粒を含む	良	底面有
13	83235	83	P960	E2 第4層	E-2 第4層	陶器 土器	瓶or 土器	口径一 底径(1.7)	流石、底面ナ デ	流石	[内] 10YR8/2灰白 [内] 5YR7/2灰白	黄、1mm程度の白色砂 粒・黄色砂粒を含む	良	底面有
13	83236	83	P970	E2 第4層	E-2 第4層	土師器 土器	碗の 口	長さ(18.0) 底径(1.1)	板ナデ	板ナデ	[内] 5YR7/2にふい黄 [内] 5YR7/2にふい黄	黄、1mm以下の白色砂 粒・黄色砂粒を含む	良	底面有
13	83237	83	P963	C3 第3層	C-3 第3層	土師器 土器	小皿	口径(4.8) 底径(1.0)	薄ナデ、ナデ	薄ナデ、ナデ	[内] 5YR7/2にふい黄 [内] 5YR7/2にふい黄	黄、1mm程度の白色砂 粒・黄色砂粒を含む	良	

種別 番号	調査 番号	次	実測 番号	(遺構部)	(遺構部)	種類	形状	寸法(m)	手法の特徴		色調	土質	構成	気づいたこと
									外側	内側				
14	83238	83	P902	33 - 第5層	3-3 - 第5層	土師質 土器	圓錐	口径: 15.0 底径: 6.0 高さ: 4.2	直壁さえ、横ナ	横ナ目、ナデ	[H] 32 5/8/2灰白 [I] 32 5/8/2灰白	泥、1~3mm程度の白色砂粒・赤褐色砂粒を含む	良好	
14	83239	83	P905	35 SF 第5層	35 SF 第5層	赤褐色土	直壁	口径: 13.0 底径: 4.2	横ナデ、直壁、ナデ	横ナデ	[H] 30/7 灰白 [I] 30/7 灰白	黄、1mm以下の白色砂粒・黒色砂粒を含む	良好	
14	83240	83	P902	35 第5層	35-2 第5層	灰白色土	圓錐	口径: 15.0 底径: 6.0 高さ: 4.2	直壁さえ、横ナ	ヘラミガキ	[H] 31/8 灰白 [I] 31/2 灰白	黄、黒色砂粒・赤褐色砂粒を含む	良好	
14	83241	83	P905	35 第5層	35-2 第5層	灰白色土	大鉢	口径: 15.0 底径: 6.0 高さ: 4.2	横壁タタキ、横ナデ	横ナデ、ミガキ	[H] 31/3/7 オリーブ黒 [I] 10/8/2 灰白	黄、黒色砂粒・赤褐色砂粒・角閃石を含む	良好	
14	83242	83	P905	35 第5層(要地から離れた瓦)	35 第5層(要地から離れた瓦)	土師質土器	鉢	口径: 15.0 底径: 6.0 高さ: 4.2	ナデ	ナデ	[H] 10/8/2 灰白 [I] 10/8/2 灰白	黄、1mm以下の白色砂粒を少量含む	良好	
14	83243	83	19	19 第6層	19-2 第6層	土師質土器	鉢	口径: 16.0 底径: 3.1 高さ: 3.1	直壁ナデ、ナデ、横壁	直壁ナデ、ナデ、横壁	[H] 32 5/8/2 横壁~10/8/2 [I] 32 5/8/2 灰白	やや黒、1mm以下の白色砂粒・角閃石を含む	やや不良	灯明蓋
14	83244	83	19	19 第6層	19-2 第6層	土師質土器	土器	口径: 12.0 底径: 4.8 高さ: 4.8	ナデ、横壁	ナデ、横壁ナデ	[H] 10/8/2 3にふい焼 [I] 5/8/2 3にふい焼	やや黒、3mm以下の白色砂粒等を含む	良好	
14	83245	83	P902	35 第6層	35-2 第6層	灰白色土	口鉢	口径: 14.0 底径: 6.0 高さ: 4.2	横ナデ	横ナデ	[H] 30/8 灰白 [I] 30/8 灰白	黄、1mm程度の白色砂粒・黒色砂粒を含む	良好	
14	83246	83	19	19 第12層上面	19-2 第12層上面	土師質土器	鉢	口径: 15.0 底径: 3.1 高さ: 1.4	ナデ	ナデ	[H] 32 5/8/2 3にふい焼 [I] 32 5/8/2 3にふい焼	やや黒、3mm以下の白色砂粒等を含む	良好	横付瓦
14	83247	83	P915	35 赤褐色土	35-1/3 赤褐色土	赤褐色土	直壁	口径: 15.0 底径: 3.1 高さ: 1.4	横ナデ	横壁	[H] 32 5/8/2 灰白 [I] 32 5/8/2 灰白	黄、1mm程度の白色砂粒・黒色砂粒を含む	良好	
14	83248	83	P915	35 赤褐色土	35-1/3 赤褐色土	赤褐色土	直壁	口径: 15.0 底径: 3.1 高さ: 1.4	横ナデ	ヘラミガキ	[H] 30/8 灰白 [I] 30/8 灰白	黄、1mm以下の白色砂粒を含む	良好	
14	83249	83	P915	35 赤褐色土	35-1/3 赤褐色土	赤褐色土	直壁	口径: 15.0 底径: 3.1 高さ: 1.4	横ナデ	横ナデ	[H] 32 5/8/2 灰白 [I] 32 5/8/2 灰白	黄、1mm以下の白色砂粒を含む	良好	
14	83250	83	19	19 黄灰白粘土質土(津波入)	19-2 黄灰白粘土質土(津波入)	土師質土器	鉢	口径: 13.0 底径: 4.8 高さ: 3.9	直壁ナデ、直壁、横壁	直壁ナデ	[H] 32 5/8/2 横壁 [I] 32 5/8/2 4横壁	泥、赤色粒・黒色粒を含む	良好	
14	83251	83	19	19 黄灰白粘土質土(津波入)	19-2 黄灰白粘土質土(津波入)	土師質土器	鉢	口径: 14.0 底径: 6.0 高さ: 4.2	横ナデ、直壁、ヘラミガキ	横ナデ	[H] 32 5/8/2 灰白 [I] 32 5/8/2 灰白	泥、赤色粒・黒色粒を含む	良好	
14	83252	83	19	19 黄灰白粘土質土(津波入)	19-2 黄灰白粘土質土(津波入)	土師質土器	土器	口径: 14.0 底径: 6.0 高さ: 4.2	横ナデ、直壁、ヘラミガキ	横ナデ	[H] 32 5/8/2 灰白 [I] 32 5/8/2 灰白	泥、赤色粒・黒色粒を含む	良好	
14	83253	83	19	19 黄灰白粘土質土(津波入)	19-2 黄灰白粘土質土(津波入)	土師質土器	土器	口径: 14.0 底径: 6.0 高さ: 4.2	横ナデ、直壁、ヘラミガキ	横ナデ	[H] 32 5/8/2 灰白 [I] 32 5/8/2 灰白	泥、赤色粒・黒色粒を含む	良好	
14	83254	83	19	19 黄灰白粘土質土(津波入)	19-2 黄灰白粘土質土(津波入)	土師質土器	土器	口径: 14.0 底径: 6.0 高さ: 4.2	横ナデ、直壁、ヘラミガキ	横ナデ	[H] 32 5/8/2 灰白 [I] 32 5/8/2 灰白	泥、赤色粒・黒色粒を含む	良好	
14	83255	83	19	19 黄灰白粘土質土(津波入)	19-2 黄灰白粘土質土(津波入)	土師質土器	土器	口径: 14.0 底径: 6.0 高さ: 4.2	横ナデ、直壁、ヘラミガキ	横ナデ	[H] 32 5/8/2 灰白 [I] 32 5/8/2 灰白	泥、赤色粒・黒色粒を含む	良好	
14	83256	83	19	19 黄灰白粘土質土(津波入)	19-2 黄灰白粘土質土(津波入)	土師質土器	土器	口径: 14.0 底径: 6.0 高さ: 4.2	横ナデ、直壁、ヘラミガキ	横ナデ	[H] 32 5/8/2 灰白 [I] 32 5/8/2 灰白	泥、赤色粒・黒色粒を含む	良好	
14	83257	83	P1002	35 第2層	35-2 第2層	赤褐色土	直壁	口径: 13.0 底径: 3.1 高さ: 1.4	横ナデ	横ナデ	[H] 30/8 灰白 [I] 30/8 灰白	黄、1mm程度の白色砂粒・黒色砂粒を含む	良好	西瓦盤?
14	84202	84	P915	35 灰褐色土	35-13 灰褐色土	赤褐色土	直壁	口径: 13.0 底径: 3.1 高さ: 1.4	横ナデ	横ナデ	[H] 32 5/8/2 灰白 [I] 32 5/8/2 灰白	黄、1mm程度の白色砂粒・黒色砂粒を少量含む	良好	横壁
14	84203	84	P915	35 灰褐色土	35-15 灰褐色土	赤褐色土	直壁	口径: 13.0 底径: 3.1 高さ: 1.4	横ナデ	横ナデ	[H] 32 5/8/2 灰白 [I] 32 5/8/2 灰白	黄、1mm程度の白色砂粒・黒色砂粒を少量含む	良好	横壁
14	84204	84	P915	35 灰褐色土	35-15 灰褐色土	赤褐色土	直壁	口径: 13.0 底径: 3.1 高さ: 1.4	横ナデ	横ナデ	[H] 32 5/8/2 灰白 [I] 32 5/8/2 灰白	黄、1mm程度の白色砂粒・黒色砂粒を少量含む	良好	横壁
14	84205	84	P915	35 灰褐色土	35-15 灰褐色土	赤褐色土	直壁	口径: 13.0 底径: 3.1 高さ: 1.4	横ナデ	横ナデ	[H] 32 5/8/2 灰白 [I] 32 5/8/2 灰白	黄、1mm程度の白色砂粒・黒色砂粒を少量含む	良好	横壁
14	84206	84	P915	35 灰褐色土	35-15 灰褐色土	赤褐色土	直壁	口径: 13.0 底径: 3.1 高さ: 1.4	横ナデ	横ナデ	[H] 32 5/8/2 灰白 [I] 32 5/8/2 灰白	黄、1mm程度の白色砂粒・黒色砂粒を少量含む	良好	横壁
14	84207	84	P915	35 灰褐色土	35-15 灰褐色土	赤褐色土	直壁	口径: 13.0 底径: 3.1 高さ: 1.4	横ナデ	横ナデ	[H] 32 5/8/2 灰白 [I] 32 5/8/2 灰白	黄、1mm程度の白色砂粒・黒色砂粒を少量含む	良好	横壁
14	84208	84	P915	35 灰褐色土	35-15 灰褐色土	赤褐色土	直壁	口径: 13.0 底径: 3.1 高さ: 1.4	横ナデ	横ナデ	[H] 32 5/8/2 灰白 [I] 32 5/8/2 灰白	黄、1mm程度の白色砂粒・黒色砂粒を少量含む	良好	横壁
14	84209	84	P915	35 灰褐色土	35-15 灰褐色土	赤褐色土	直壁	口径: 13.0 底径: 3.1 高さ: 1.4	横ナデ	横ナデ	[H] 32 5/8/2 灰白 [I] 32 5/8/2 灰白	黄、1mm程度の白色砂粒・黒色砂粒を少量含む	良好	横壁
14	84210	84	P915	35 灰褐色土	35-15 灰褐色土	赤褐色土	直壁	口径: 13.0 底径: 3.1 高さ: 1.4	横ナデ	横ナデ	[H] 32 5/8/2 灰白 [I] 32 5/8/2 灰白	黄、1mm程度の白色砂粒・黒色砂粒を少量含む	良好	横壁
14	85718	85	P915	35 灰褐色土	35-15 灰褐色土	赤褐色土	直壁	口径: 13.0 底径: 3.1 高さ: 1.4	横ナデ	横ナデ	[H] 32 5/8/2 灰白 [I] 32 5/8/2 灰白	黄、1mm程度の白色砂粒・黒色砂粒を少量含む	良好	横壁
14	85719	85	P915	35 灰褐色土	35-15 灰褐色土	赤褐色土	直壁	口径: 13.0 底径: 3.1 高さ: 1.4	横ナデ	横ナデ	[H] 32 5/8/2 灰白 [I] 32 5/8/2 灰白	黄、1mm程度の白色砂粒・黒色砂粒を少量含む	良好	横壁
14	85720	85	P915	35 灰褐色土	35-15 灰褐色土	赤褐色土	直壁	口径: 13.0 底径: 3.1 高さ: 1.4	横ナデ	横ナデ	[H] 32 5/8/2 灰白 [I] 32 5/8/2 灰白	黄、1mm程度の白色砂粒・黒色砂粒を少量含む	良好	横壁
14	85721	85	P915	35 灰褐色土	35-15 灰褐色土	赤褐色土	直壁	口径: 13.0 底径: 3.1 高さ: 1.4	横ナデ	横ナデ	[H] 32 5/8/2 灰白 [I] 32 5/8/2 灰白	黄、1mm程度の白色砂粒・黒色砂粒を少量含む	良好	横壁

探検 番号	報告 番号	次	実測 番号	(遺物種) 遺り上げ位置	(遺物種) 遺り上げ位置	種類	時期	法面(cm)	平面的特徴	色調	粘土	焼成	気づいたこと
				2L09 遺り上げ位置	2L09 遺り上げ位置				外観	内観			
18	85122	85	P911	1A05 遺り上げ位置	1A05 遺り上げ位置	土師器	平焼	口径 10.9 底径 9.8 高さ 1.1	横ナデ。底面 底面へう切りナ デ。底状正座	横ナデ	[外] 3Y7/1底白 [内] 3Y7/1底白	黄、1mm以下の白色砂 粒を含む	良好
18	85123	85	11	1A05 遺り上げ位置	1A05 遺り上げ位置	土師器	小皿	口径 10.8 底径 9.8 高さ 1.2	横ナデ。底面 底面へう切りナ デ。底状正座	横ナデ	[外] 10YR2/3底黄 [内] 10YR2/3底黄	黄、1mm以下の白色砂 粒。赤色粒を含む	良好
18	85124	85	P916	1A02 遺り上げ位置	1A02 遺り上げ位置	土師器	小皿	口径 9.6 底径 8.2 高さ 1.4	横ナデ	横ナデ	[外] 10YR2/2底白 [内] 10YR2/2底白	黄緑。1～2mm程度の白 色砂粒。赤色粒を含む	良好
18	85125	85	11	1A05 遺り上げ位置	1A05 遺り上げ位置	土師器	小皿	口径 10.8 底径 9.8 高さ 1.2	横ナデ。底面 底面へう切りナ デ。底状正座	横ナデ	[外] 10YR2/3底黄～ 10YR2/4底黄 [内] 10YR2/3底黄～ 10YR2/4底黄	黄、1mm以下の白色砂 粒。赤色粒を含む	良好
18	85126	85	7	1A05 遺り上げ位置	1A05 遺り上げ位置	土師器	小皿	口径 10.0 底径 9.2 高さ 1.9	横ナデ。底面 底面へう切りナ デ。底状正座	横ナデ	[外] 10YR2/4底黄 [内] 10YR2/4底黄	黄、白色砂粒。赤色粒 を含む	良好
18	85127	85	11	1A09 遺り上げ位置	1A09 遺り上げ位置	土師器	小皿	口径 10.1 底径 9.2 高さ 1.9	横ナデ。底面 底面へう切りナ デ。底状正座	横ナデ	[外] 10YR2/3底黄 [内] 10YR2/2底白	黄。0.5mm以下の白色 砂粒。赤色粒を含む	良好
18	85128	85	7	1A00 遺り上げ位置	1A00 遺り上げ位置	土師器	小皿	口径 11.4 底径 10.0 高さ 1.7	横ナデ。底面 底面へう切りナ デ。底状正座	横ナデ	[外] 10YR2/1底白 [内] 10YR2/1底白	黄、白色砂粒。赤色粒 を含む	良好
18	85129	85	10	1A00 遺り上げ位置	1A00 遺り上げ位置	土師器	小皿	口径 10.4 底径 9.0 高さ 1.9	ナデ。底面 底面へう切りナ デ。底状正座	横ナデ	[外] 10YR2/4底黄 [内] 10YR2/4底黄	黄。微砂粒。赤色粒を 含む	良好
18	85130	85	7	0103 遺り上げ位置	0103 遺り上げ位置	土師器	小皿	口径 10.3 底径 8.8 高さ 1.9	横ナデ。底面 底面へう切りナ デ。底状正座	横ナデ	[外] 10YR2/3底黄 [内] 10YR2/2底白	黄、2mm以下の白色砂 粒。赤色粒を含む	良好
18	85131	85	11	0101 遺り上げ位置	0101 遺り上げ位置	土師器	小皿	口径 10.5 底径 9.0 高さ 1.5	横ナデ。底面 底面へう切りナ デ。底状正座	横ナデ	[外] 10YR2/3底黄 [内] 10YR2/3底黄	黄、1mm以下の白色砂 粒。赤色粒を含む	良好
18	85132	85	7	1A00 遺り上げ位置	1A00 遺り上げ位置	土師器	小皿	口径 10.3 底径 9.2 高さ 1.2	横ナデ	横ナデ	[外] 10YR2/2底白 [内] 10YR2/2底白	黄、2mm以下の白色砂 粒。赤色粒を含む	良好
18	85133	85	9	0100 遺り上げ位置	0100 遺り上げ位置	土師器	小皿	口径 10.6 底径 9.5 高さ 1.5	横ナデ。底面 底面へう切りナ デ。底状正座	横ナデ	[外] 10YR2/4底黄 [内] 10YR2/2底白	黄、2mm以下の赤色粒 を含む	良好
18	85134	85	11	1A05 遺り上げ位置	1A05 遺り上げ位置	土師器	小皿	口径 10.8 底径 9.8 高さ 1.5	横ナデ。底面 底面へう切りナ デ。底状正座	横ナデ	[外] 10YR2/3底黄 [内] 10YR2/3底黄	黄、1mm以下の白色砂 粒。赤色粒を含む	良好
18	85135	85	11	1A05 遺り上げ位置	1A05 遺り上げ位置	土師器	小皿	口径 10.5 底径 9.4 高さ 2.2	横ナデ。底面 底面へう切りナ デ。底状正座	横ナデ	[外] 10YR2/4底黄 [内] 10YR2/4底黄	黄。0.1mm以下の白色 砂粒。赤色粒を含む	良好
18	85136	85	11	1A05 遺り上げ位置	1A05 遺り上げ位置	土師器	小皿	口径 11.4 底径 10.0 高さ 2.2	横ナデ。底面 底面へう切りナ デ。底状正座	横ナデ	[外] 10YR2/2底白 [内] 10YR2/2底白	黄、1mm以下の白色砂 粒。赤色粒を含む	良好
18	85137	85	7	1A05 遺り上げ位置	1A05 遺り上げ位置	土師器	小皿	口径 11.8 底径 10.2 高さ 2.2	横ナデ	横ナデ	[外] 10YR2/4底黄 [内] 10YR2/3底黄	黄、赤色粒。黄色ナ デを含む	良好
18	85138	85	11	0101 遺り上げ位置	0101 遺り上げ位置	土師器	小皿	口径 10.4 底径 9.7 高さ 2.1	横ナデ。底面 底面へう切りナ デ。底状正座	横ナデ	[外] 10YR2/4底黄～ 底白 [内] 10YR2/4底黄～ 底白	黄、2mm以下の白色砂 粒。赤色粒を含む	良好
18	85139	85	7	1A02 遺り上げ位置	1A02 遺り上げ位置	土師器	小皿	口径 11.1 底径 10.0 高さ 2.6	横ナデ。底面 底面へう切りナ デ。底状正座	横ナデ	[外] 10YR2/4底黄 [内] 10YR2/4底黄	黄。微砂粒。赤色粒を 多量に含む	良好
18	85140	85	9	0100 遺り上げ位置	0100 遺り上げ位置	土師器	小皿	口径 11.2 底径 10.1 高さ 2.4	横ナデ。底面 底面へう切りナ デ。底状正座	横ナデ	[外] 10YR2/2底白 [内] 10YR2/2底白	黄。微砂粒。赤色粒を 含む	良好
18	85141	85	11	0101 遺り上げ位置	0101 遺り上げ位置	土師器	小皿	口径 11.8 底径 10.2 高さ 2.2	横ナデ。底面 底面へう切りナ デ。底状正座	横ナデ	[外] 10YR2/2底白 [内] 10YR2/4底黄	黄。0.5mm以下の白色 砂粒。1mm以下の赤色 粒を含む	良好
18	85142	85	11	0101 遺り上げ位置	0101 遺り上げ位置	土師器	小皿	口径 11.3 底径 10.0 高さ 2.6	横ナデ。底面 底面へう切りナ デ。底状正座	横ナデ	[外] 10YR2/2底白 [内] 10YR2/2底白	やや黄。1～2mm程度の 赤色粒を含む	良好
18	85143	85	7	0103 遺り上げ位置	0103 遺り上げ位置	土師器	小皿	口径 10.8 底径 9.5 高さ 2.05	横ナデ。底面 底面へう切りナ デ。底状正座	横ナデ	[外] 10YR2/1底白 [内] 10YR2/1底白	黄、白色砂粒。赤色 粒。黒色粒を含む	良好
18	85144	85	P917	1A02 遺り上げ位置	1A02 遺り上げ位置	土師器	杯	口径 9.0 底径 8.0 高さ 2.8	横ナデ	横ナデ	[外] 10YR2/2底白 [内] 10YR2/2底白	黄緑	良好
18	85145	85	P918	1A02 遺り上げ位置	1A02 遺り上げ位置	土師器	杯	口径 9.4 底径 8.0 高さ 2.3	横ナデ	横ナデ	[外] 5YR2/2底白 [内] 5YR2/2底白	黄緑。1mm以下の白色 砂粒を含む	良好
18	85146	85	11	1000 遺り上げ位置	1000 遺り上げ位置	土師器	杯	口径 10.7 底径 9.8 高さ 1.5	横ナデ。底面 底面へう切りナ デ。底状正座	横ナデ。ナデ	[外] 5YR2/1底白 [内] 5YR2/1底白	やや黄。微細な砂粒を 含む	良好
18	85147	85	7	0100 遺り上げ位置	0100 遺り上げ位置	土師器	杯	口径 10.3 底径 9.8 高さ 2.0	横ナデ。底面 底面へう切りナ デ。底状正座	横ナデ	[外] 10YR2/3底黄 [内] 10YR2/3底黄	黄、2mm以下の白色砂 粒を含む	良好
18	85148	85	11	1A05 遺り上げ位置	1A05 遺り上げ位置	土師器	杯	口径 10.8 底径 9.3 高さ 2.5	横ナデ。底面 底面へう切りナ デ。底状正座	横ナデ。底面 底面へう切りナ デ。底状正座	[外] 10YR2/4底黄～ 10YR2/1底白 [内] 10YR2/1底白～ 10YR2/4底黄	やや黄。2mm以下の白 色砂粒を含む	良好
18	85149	85	11	0101 遺り上げ位置	0101 遺り上げ位置	土師器	杯	口径 10.5 底径 9.8 高さ 2.1	横ナデ。底面 底面へう切りナ デ。底状正座	横ナデ	[外] 10YR2/4底黄～ 10YR2/1底白 [内] 10YR2/4底黄～ 10YR2/1底白	黄、2mm以下の白色砂 粒。赤色粒を含む	良好
18	85150	85	7	HC13 遺り上げ位置	HC13 遺り上げ位置	土師器	杯	口径 10.8 底径 9.2 高さ 2.1	横ナデ。底面 底面へう切りナ デ。底状正座	横ナデ	[外] 10YR2/4底黄 [内] 10YR2/4底黄	黄	良好
18	85151	85	11	1A05 遺り上げ位置	1A05 遺り上げ位置	土師器	杯	口径 11.4 底径 10.0 高さ 2.4	ナデ。底面 底面へう切りナ デ。底状正座	横ナデ。ナデ	[外] 5YR2/1底白～ 10YR2/1底白 [内] 10YR2/1底白～ 10YR2/1底白	やや黄。2mm以下の白 色砂粒を含む	良好
18	85152	85	11	0101 遺り上げ位置	0101 遺り上げ位置	土師器	杯	口径 11.4 底径 10.7 高さ 2.8	横ナデ。底面 底面へう切りナ デ。底状正座	横ナデ	[外] 10YR2/4底黄 [内] 10YR2/3底黄	黄、1mm以下の白色砂 粒。赤色粒を含む	良好
18	85153	85	9	1A07 遺り上げ位置	1A07 遺り上げ位置	土師器	杯	口径 10.4 底径 9.7 高さ 2.15	横ナデ。底面 底面へう切りナ デ。底状正座	横ナデ	[外] 10YR2/3底黄 [内] 10YR2/4底黄	黄、1mm以下の白色砂 粒を含む	良好
18	85154	85	10	1A02 遺り上げ位置	1A02 遺り上げ位置	土師器	杯	口径 12.8 底径 11.4 高さ 2.5	横ナデ。底面 底面へう切りナ デ。底状正座	横ナデ	[外] 10YR2/4底黄 [内] 10YR2/4底黄	黄、1mm以下の白色砂 粒。赤色粒を含む	良好

発掘調査 番号	発掘 年度	次	(遺構番号)		種類	形状	法面(m)	平法の特徴		色調	土土	構成	気づいたこと
			敷り上げ位置	敷り上げ位置				外周	内周				
18	85/55	85	11	12	0103 第2層	土壁 土壁	縦 12.2 横 6.5 高さ 2.3	面転ナデ。透射 面転へう切り	面転ナデ	[外] 3/7/2黄褐色 [内] 10/16/4黄褐色	黒、褐色砂、1mm程度の 白色砂粒、角閃石を含む	良好	
18	85/56	85	10	2	1A02 第2層	土壁 土壁	縦 12.7 横 6.4 高さ 2.9	面転ナデ。ヘラ ケズリ。透射。面 転へう切り	面転ナデ	[外] 5/19/7黄褐色 [内] 5/19/7黄褐色	黒、褐色砂を含む	良好	黒褐色
18	85/57	85	10	3	1A02/03 中央モット 第2層	土壁 土壁	縦 12.7 横 6.4 高さ 2.9	面転ナデ。透射 面転へう切り	面転ナデ	[外] 5/19/7黄褐色 [内] 5/19/7黄褐色	黒、2mm以下の白色砂 粒、角閃石、赤色砂を含む	良好	黒褐色
18	85/58	85	7	16	0103 第2層	土壁 土壁	縦 12.7 横 2.2 高さ 1.6	面転ナデ	面転ナデ	[外] 10/16/2灰白 [内] 10/16/2灰白	黒、2mm以下の白色砂 粒、赤色砂、黒色砂を含む	良好	黒褐色
18	85/59	85	10	5	1A05 第2層	土壁 土壁	縦 14.1 横 18.0 高さ 2.3	面転ナデ。透射 面転へう切り	面転ナデ。工具 ナデ	[外] 5/19/7黄褐色 [内] 5/19/7黄褐色	黒、2mm以下の白色砂 粒、角閃石、角閃石、 赤色砂を含む	良好	黒褐色
18	85/60	85	7	16	0100 第2層	土壁 土壁	縦 13.8 横 15.0 高さ 2.5	面転ナデ。透射 ヘラ切り	面転ナデ	[外] 10/16/2灰白 [内] 10/16/2灰白	黒、2mm以下の白色砂 粒を含む	良好	黒褐色
18	85/61	85	7	9	0C17 第2層	土壁 土壁	縦 14.8 横 7.4 高さ 4.2	面転ナデ。透射 面転へう切り	面転ナデ	[外] 12/ 5/19/8黄褐色 [内] 5/19/7黄褐色	黒、1mm以下の白色砂 粒、赤色砂を含む	良好	面転ナデ
18	85/62	85	9	8	0103 第2層	土壁 土壁	縦 15.6 横 3.85 高さ 2.3	面転ナデ。透射 面転へう切り	面転ナデ	[外] 5/19/7黄褐色 [内] 10/16/2灰白	黒、褐色砂を含む	良好	黒褐色
18	85/63	85	11	24	1A03 第2層	土壁 土壁	縦 14.8 横 7.2 高さ 2.3	面転ナデ	面転ナデ	[外] 5/19/7黄褐色 [内] 5/19/7黄褐色	黒、1mm以下の白色砂 粒を含む	良好	黒褐色
18	85/64	85	11	9	0101 第2層	土壁 土壁	縦 15.6 横 2.4 高さ 2.3	面転ナデ。透射 面転へう切り	面転ナデ	[外] 5/19/7黄褐色 [内] 5/19/7黄褐色	黒、1mm以下の白色砂 粒、赤色砂、黒色砂を含む	良好	黒褐色
18	85/65	85	10	2	1A00 第2層	土壁 土壁	縦 15.8 横 2.2 高さ 2.3	面転ナデ。透射 面転へう切り	面転ナデ	[外] 5/19/7黄褐色 [内] 5/19/7黄褐色	黒、赤色砂を含む	良好	黒褐色
18	85/66	85	11	14	0101 第2層	土壁 土壁	縦 15.8 横 1.8 高さ 2.3	面転ナデ。透射 面転へう切り	面転ナデ	[外] 12/ 5/19/8黄褐色 [内] 5/19/7黄褐色	黒、1mm以下の白色砂 粒を含む	良好	黒褐色
18	85/67	85	9	4	1A05 第2層	土壁 土壁	縦 14.8 横 7.4 高さ 5.3	面転ナデ。透射 面転へう切り	面転ナデ	[外] 12/ 5/19/8黄褐色 [内] 5/19/7黄褐色	黒、褐色砂、赤色砂を含む	良好	黒褐色
18	85/68	85	10	1	1A02 第2層	土壁 土壁	縦 17.0 横 3.4 高さ 2.3	面転ナデ	面転ナデ	[外] 10/16/2灰白 [内] 10/16/2灰白	黒、1mm以下の白色砂 粒、赤色砂を含む	良好	黒褐色
18	85/69	85	PS6	第2層	0A12 第2層	土壁 土壁	縦 12.4 横 15.9 高さ 6.2	横ナデ。透射。跡 止め切り	横ナデ	[外] 10/16/2灰白 [内] 10/16/2灰白	黒、1mm程度の白色砂 粒、赤色砂を含む	良好	黒褐色
18	85/70	85	PS6	第2層	1B08 第2層	土壁 土壁	縦 12.4 横 3.1 高さ 3.1	横ナデ。透射	横ナデ	[外] 10/16/2灰白 [内] 10/16/2灰白	黒、白色砂粒、赤色砂 粒を含む	良好	黒褐色
18	85/71	85	PS6	第2層	0A08 第2層	土壁 土壁	縦 12.4 横 3.1 高さ 3.1	横ナデ。透射	横ナデ	[外] 10/16/2灰白 [内] 10/16/2灰白	黒、白色砂粒、赤色砂 粒を含む	良好	黒褐色
18	85/72	85	PS6	第2層	0C17 第2層	土壁 土壁	縦 12.4 横 3.1 高さ 3.1	横ナデ。透射	横ナデ	[外] 10/16/2灰白 [内] 10/16/2灰白	黒、白色砂粒、赤色砂 粒を含む	良好	黒褐色
18	85/73	85	7	10	1A05 第2層	土壁 土壁	縦 12.4 横 6.45 高さ 6.45	面転ナデ。透射 面転へう切り	面転ナデ。ナデ	[外] 12/ 5/19/8黄褐色 [内] 5/19/7黄褐色	黒、1mm以下の白色砂 粒、赤色砂を含む	良好	黒褐色
18	85/74	85	PS4	第2層	0E18 第2層	土壁 土壁	縦 12.4 横 3.4 高さ 3.4	ナデ	ナデ	[外] 10/16/2灰白 [内] 10/16/2灰白	黒、白色砂粒、赤色砂 粒を含む	良好	黒褐色
18	85/75	85	PS3	第2層	0103 第2層	土壁 土壁	縦 12.4 横 19.2 高さ 19.2	透射ナデ。ナ デ。ナデ	ナデ	[外] 10/16/2灰白 [内] 10/16/2灰白	黒、白色砂粒、赤色砂 粒を含む	良好	黒褐色
18	85/76	85	PS3	第2層	0105 第2層	土壁 土壁	縦 12.4 横 19.2 高さ 19.2	透射ナデ。ナ デ。ナデ	ナデ	[外] 12/ 5/19/8黄褐色 [内] 5/19/7黄褐色	黒、白色砂粒を含む	良好	黒褐色
18	85/77	85	PS4	第2層	1A05 第2層	土壁 土壁	縦 12.4 横 19.2 高さ 19.2	透射ナデ。ナ デ。ナデ	ナデ	[外] 10/16/2灰白 [内] 10/16/2灰白	黒、白色砂粒、赤色砂 粒を含む	良好	黒褐色
18	85/78	85	PS3	第2層	0E18 第2層	土壁 土壁	縦 12.4 横 19.2 高さ 19.2	透射ナデ。ナ デ。ナデ	ナデ	[外] 12/ 5/19/8黄褐色 [内] 5/19/7黄褐色	黒、白色砂粒を含む	良好	黒褐色
18	85/79	85	PS6	第2層	0A08 第2層	土壁 土壁	縦 12.4 横 19.2 高さ 19.2	透射ナデ。ナ デ。ナデ	ナデ	[外] 10/16/2灰白 [内] 10/16/2灰白	黒、白色砂粒、赤色砂 粒を含む	良好	黒褐色
18	85/80	85	PS4	第2層	1A05 第2層	土壁 土壁	縦 12.4 横 19.2 高さ 19.2	透射ナデ。ナ デ。ナデ	ナデ	[外] 10/16/2灰白 [内] 10/16/2灰白	黒、白色砂粒、赤色砂 粒を含む	良好	黒褐色
18	85/81	85	PS3	第2層	1A03 第2層	土壁 土壁	縦 12.4 横 19.2 高さ 19.2	透射ナデ。ナ デ。ナデ	ナデ	[外] 10/16/2灰白 [内] 10/16/2灰白	黒、白色砂粒、赤色砂 粒を含む	良好	黒褐色
18	85/82	85	PS3	第2層	1A03 第2層	土壁 土壁	縦 12.4 横 19.2 高さ 19.2	透射ナデ。ナ デ。ナデ	ナデ	[外] 10/16/2灰白 [内] 10/16/2灰白	黒、白色砂粒、赤色砂 粒を含む	良好	黒褐色
18	85/83	85	PS4	第2層	0E18 第2層	土壁 土壁	縦 12.4 横 19.2 高さ 19.2	透射ナデ。ナ デ。ナデ	ナデ	[外] 12/ 5/19/8黄褐色 [内] 5/19/7黄褐色	黒、白色砂粒を含む	良好	黒褐色
18	85/84	85	PS4	第2層	0E18 第2層	土壁 土壁	縦 12.4 横 19.2 高さ 19.2	透射ナデ。ナ デ。ナデ	ナデ	[外] 10/16/2灰白 [内] 10/16/2灰白	黒、白色砂粒、赤色砂 粒を含む	良好	黒褐色
18	85/85	85	PS3	第2層	0E18 第2層	土壁 土壁	縦 12.4 横 19.2 高さ 19.2	透射ナデ。ナ デ。ナデ	ナデ	[外] 12/ 5/19/8黄褐色 [内] 5/19/7黄褐色	黒、白色砂粒を含む	良好	黒褐色
18	85/86	85	9	2	1A16 第2層	土壁 土壁	縦 15.4 横 15.4 高さ 5.5	面転ナデ。ヘラ ケズリ。透射。面 転へう切り	面転ナデ	[外] 5/19/7黄褐色 [内] 5/19/7黄褐色	黒、褐色砂を含む	良好	黒褐色
18	85/87	85	11	15	0101 第2層	土壁 土壁	縦 14.8 横 18.0 高さ 2.3	面転ナデ	面転ナデ	[外] 5/19/7黄褐色 [内] 5/19/7黄褐色	黒、1mm以下の白色砂 粒、角閃石を含む	良好	黒褐色
18	85/88	85	PS3	第2層	0C13 第2層	土壁 土壁	縦 15.4 横 15.4 高さ 5.5	面転ナデ	面転ナデ	[外] 12/ 5/19/8黄褐色 [内] 5/19/7黄褐色	黒、白色砂粒、角閃石 を含む	良好	黒褐色

標記 番号	報告 番号	次	実物 番号	(遺物情報)		種類	形態	法量(cm)	平面的特徴		色調	胎土	焼成	気づいたこと
				器型・用途	器型・用途				外観	内観				
19	85189	85	P874	1A01 - 第2層	1A03 - 第2層	黒色土器	小皿	口径 10.0 底径 7.6 高さ 0.9	横ナデ、指押さ え、底面 ヘラミ グ	横ナデ	内[N4]/底 内[N4]/底	黄、1mm程度の白色砂 粒・黒色砂粒を含む	良好	
20	85190	85	P861	0A02 - 第2層	0A03 - 第2層	瓦葺土器	火鉢	口径 33.0 底径 12.2	突脚、ヘラミ グ、ナデ	前もぎ、ナデ	内[N2]/底 内[N2]/底	黄、白色砂粒・黒色砂 粒を多量に含む	良好	後述火鉢の遺 品
20	85191	85	P856	0A08 - 第2層	0A09 - 第2層	陶器	灯籠鉢	口径 9.6 底径 5.1 高さ 1.4	ナデリ、毛刺土	毛刺土	内[N2]/底 内[N2]/底	黄、1mm程度の白色砂 粒・黒色砂粒を含む	良好	後述火鉢の遺 品
20	85192	85	P884	0A17 - 第2層	0A17 - 第2層	陶器	横ナデ	口径 15.6 底径 12.8	指押さ	指押さ	内[N2]/底 内[N2]/底	黄、白色砂粒・黒色砂 粒を含む	良好	
20	85193	85	P891	0A01 - 第2層	0A01 - 第2層	陶器	横ナデ	口径 15.6 底径 12.8	横ナデ、カキメ	横ナデ	内[N2]/底 内[N2]/底	黄、白色砂粒・黒色砂 粒を含む	良好	
20	85194	85	P826	0A15 - 第2層	0A15 - 第2層	陶器	釜	口径 15.6 底径 12.8	横ナデ	横ナデ	内[N2]/底 内[N2]/底	黄、白色砂粒を含む	良好	
20	85195	85	P863	0A02 - 第2層	0A02 - 第2層	陶器	横ナデ	口径 15.6 底径 12.8	横ナデ	指押さ	内[N2]/底 内[N2]/底	黄、白色砂粒を含む	良好	「黄」前 述・後述品
20	85196	85	P853	0A07 - 第2層	0A07 - 第2層	陶器	横ナデ	口径 15.6 底径 12.8	横ナデ	指押さ	内[N2]/底 内[N2]/底	黄、白色砂粒を含む	良好	
20	85197	85	P872	0A08 - 第2層	0A08 - 第2層	陶器	横ナデ	口径 15.6 底径 12.8	横ナデ	横ナデ	内[N2]/底 内[N2]/底	黄、白色砂粒を含む	良好	
20	85198	85	P854	0A15 - 第2層	0A15 - 第2層	陶器	横ナデ	口径 15.6 底径 12.8	横ナデ	指押さ	内[N2]/底 内[N2]/底	黄、白色砂粒を含む	良好	
20	85199	85	P843	0A08 - 第2層	0A08 - 第2層	陶器	横ナデ	口径 15.6 底径 12.8	横ナデ	指押さ	内[N2]/底 内[N2]/底	黄、白色砂粒を含む	良好	
20	85200	85	P896	0A17 - 第2層	0A17 - 第2層	陶器	横ナデ	口径 15.6 底径 12.8	横ナデ	指押さ	内[N2]/底 内[N2]/底	黄、白色砂粒を含む	良好	
20	85201	85	P843	0A08 - 第2層	0A08 - 第2層	陶器	横ナデ	口径 15.6 底径 12.8	横ナデ	指押さ	内[N2]/底 内[N2]/底	黄、白色砂粒を含む	良好	
20	85202	85	P872	0A08 - 第2層	0A08 - 第2層	陶器	横ナデ	口径 15.6 底径 12.8	横ナデ	指押さ	内[N2]/底 内[N2]/底	黄、白色砂粒を含む	良好	
20	85203	85	P853	0A07 - 第2層	0A07 - 第2層	陶器	横ナデ	口径 15.6 底径 12.8	横ナデ	指押さ	内[N2]/底 内[N2]/底	黄、白色砂粒を含む	良好	
20	85204	85	P837	0A05 - 第2層	0A05 - 第2層	陶器	横ナデ	口径 15.6 底径 12.8	横ナデ	指押さ	内[N2]/底 内[N2]/底	黄、白色砂粒を含む	良好	
20	85205	85	P841	0A19 - 第2層	0A19 - 第2層	土製品	支那	長さ 17.0 幅 4.25 厚さ 3.7	指押さ	-	内[N2]/底 内[N2]/底	黄、白色砂粒・黒色砂 粒を含む	良好	
20	85206	85	P818	1A02 - 第2層	1A02 - 第2層	土製品	支那	長さ 17.0 幅 4.25 厚さ 3.7	ナデ	ナデ	内[N2]/底 内[N2]/底	黄、白色砂粒・黒色砂 粒を含む	良好	
20	85207	85	P821	0A16 - 第2層	0A16 - 第2層	土製品	カマド	口径 19.0 底径 19.0	ナデ	横ナデによる ナデ	内[N2]/底 内[N2]/底	黄、白色砂粒・黒色砂 粒を含む	良好	
20	85208	85	119	1A05 - 第2層	1A05 - 第2層	黒色土器	横ナデ	口径 14.6 底径 12.2 高さ 4.8	横ナデ、指押 さ、底面 横ナ デ	横ナデ	内[N2]/底 内[N2]/底	黄、0.5mm以下の白色 砂粒・黒色砂粒を含む	良好	
20	85209	85	P849	1A05 - 第2層	1A05 - 第2層	黒色土器	横ナデ	口径 14.6 底径 12.2 高さ 4.8	横ナデ、指押 さ、底面 横ナ デ	横ナデ	内[N2]/底 内[N2]/底	黄、0.5mm以下の白色 砂粒・黒色砂粒を含む	良好	
20	85210	85	0	1A03 - 第2層	1A03 - 第2層	土製品	土器	口径 14.7 底径 12.2 高さ 4.6	横ナデ、指押 さ、底面 横ナ デ	横ナデ	内[N2]/底 内[N2]/底	黄、0.5mm以下の白色 砂粒・黒色砂粒を含む	良好	
21	85211	85	P803	0A02 - 第2層	0A02 - 第2層	土製品	土器	口径 13.0 底径 10.6 高さ 4.6	横ナデ	横ナデ	内[N2]/底 内[N2]/底	黄、白色砂粒・黒色砂 粒を含む	良好	後述火鉢の遺 品
21	85212	85	112	1A03 - 第2層	1A03 - 第2層	土製品	土器	口径 13.0 底径 10.6 高さ 4.6	横ナデ	横ナデ	内[N2]/底 内[N2]/底	黄、白色砂粒・黒色砂 粒を含む	良好	
21	85213	85	P802	0A02 - 第2層	0A02 - 第2層	土製品	土器	口径 13.0 底径 10.6 高さ 4.6	横ナデ	横ナデ	内[N2]/底 内[N2]/底	黄、白色砂粒・黒色砂 粒を含む	良好	
21	85214	85	P801	0A02 - 第2層	0A02 - 第2層	土製品	土器	口径 13.0 底径 10.6 高さ 4.6	横ナデ	横ナデ	内[N2]/底 内[N2]/底	黄、白色砂粒・黒色砂 粒を含む	良好	
21	85215	85	P802	0A02 - 第2層	0A02 - 第2層	土製品	土器	口径 13.0 底径 10.6 高さ 4.6	横ナデ	横ナデ	内[N2]/底 内[N2]/底	黄、白色砂粒・黒色砂 粒を含む	良好	
21	85216	85	P803	0A02 - 第2層	0A02 - 第2層	土製品	土器	口径 13.0 底径 10.6 高さ 4.6	横ナデ	横ナデ	内[N2]/底 内[N2]/底	黄、白色砂粒・黒色砂 粒を含む	良好	
21	85217	85	P804	0A02 - 第2層	0A02 - 第2層	土製品	土器	口径 13.0 底径 10.6 高さ 4.6	横ナデ	横ナデ	内[N2]/底 内[N2]/底	黄、白色砂粒・黒色砂 粒を含む	良好	
21	85218	85	P805	0A02 - 第2層	0A02 - 第2層	土製品	土器	口径 13.0 底径 10.6 高さ 4.6	横ナデ	横ナデ	内[N2]/底 内[N2]/底	黄、白色砂粒・黒色砂 粒を含む	良好	
21	85219	85	P806	0A02 - 第2層	0A02 - 第2層	土製品	土器	口径 13.0 底径 10.6 高さ 4.6	横ナデ	横ナデ	内[N2]/底 内[N2]/底	黄、白色砂粒・黒色砂 粒を含む	良好	
21	85220	85	P807	0A02 - 第2層	0A02 - 第2層	土製品	土器	口径 13.0 底径 10.6 高さ 4.6	横ナデ	横ナデ	内[N2]/底 内[N2]/底	黄、白色砂粒・黒色砂 粒を含む	良好	
21	85221	85	P808	0A02 - 第2層	0A02 - 第2層	土製品	土器	口径 13.0 底径 10.6 高さ 4.6	横ナデ	横ナデ	内[N2]/底 内[N2]/底	黄、白色砂粒・黒色砂 粒を含む	良好	
21	85222	85	P809	0A02 - 第2層	0A02 - 第2層	土製品	土器	口径 13.0 底径 10.6 高さ 4.6	横ナデ	横ナデ	内[N2]/底 内[N2]/底	黄、白色砂粒・黒色砂 粒を含む	良好	

観覧者 氏名	観覧 回数	写真 番号	(左壁面)		(右壁面)		種類	群数	法面(m)	手法の特徴		色調	土質	構成	気づいたこと
			取り上げ位置	取り上げ位置	内照	外照									
21	83023	85	P867	G249 - 地山直上	H509 - 地山直上	湧岩層	群	口径 (12.2) 高さ (7.8) 内径 1.6	横ナデ、直照へ 9割り～ナデ	横ナデ	[H] 5YR/1底 [V] 5YR/1底	黄、白色砂粒・茶色砂粒を含む	良好	大層な	
21	83024	85	P866	G249 - 地山直上	H609 - 地山直上	湧岩層	群	口径 (12.2) 高さ (8.0) 内径 1.2	横ナデ	横ナデ	[H] 5YR/1底 [V] 5YR/1底	黄、白色砂粒を含む	良好		
22	86301	86	P908	JN03 - 黒褐色土層	JN03 - 黒褐色土層	湧岩層	黒	口径 (17.2) 高さ (12.0) 内径 1.2	横ナデ	横ナデ	[H] 5YR/1底 [V] 5YR/1底	黄、白色砂粒を少量含む	良好		
22	86302	86	P909	JN03 - 黒褐色土層	JN03 - 黒褐色土層	湧岩層	黒	口径 (17.2) 高さ (12.0) 内径 1.2	横ナデ	横ナデ	[H] 5YR/1底 [V] 5YR/1底	黄、1m以下の白色砂粒を含む	良好		
22	86303	86	P913	JN03 - 黒褐色土層	JN03 - 黒褐色土層	湧岩層	群	口径 (11.0) 高さ (8.0) 内径 1.2	横ナデ、直照へ 9割り	横ナデ	[H] 5YR/1底 [V] 5YR/1底	黄、1m以下の白色砂粒を含む	良好	大層な	
22	86304	86	P914	JN03 - 黒褐色土層	JN03 - 黒褐色土層	湧岩層	群	口径 (8.6) 高さ (12.0) 内径 1.2	横ナデ、照り出し裏付	横ナデ	[H] 5YR/1底 [V] 5YR/1底	黄、1m以下の白色砂粒を含む	良好		
22	86305	86	P912	JN03 - 黒褐色土層	JN03 - 黒褐色土層	湧岩層	群	口径 (10.0) 高さ (11.6) 内径 1.2	横ナデ、直照へ 9割り	横ナデ	[H] 5YR/1底 [V] 5YR/1底	黄、1m以下の白色砂粒を含む	良好		
22	86306	86	P910	JN03 - 黒褐色土層	JN03 - 黒褐色土層	湧岩層	黒or黄	口径 (17.7) 高さ (12.0) 内径 1.4	横ナデ	横ナデ	[H] 5YR/1底 [V] 5YR/1底	黄、1m以下の白色砂粒を含む	良好		
22	86307	86	P911	JN03 - 黒褐色土層	JN03 - 黒褐色土層	湧岩層	赤or黒	口径 (17.0) 高さ (12.0) 内径 1.4	横ナデ、赤照	横ナデ、赤照	[地調] 2.5YR/3暗褐 [照上] 5YR/4C-G-L	黄、1m程度の白色砂粒を多量に含む	良好	観内劣?	
22	86308	86	P915	JN03 - 黒褐色土層	JN03 - 黒褐色土層	湧岩層	群	口径 (25.5) 高さ (14.0) 内径 1.6	横ナデ、照り出し裏付	横ナデ	[H] 5YR/1底 [V] 5YR/1底	黄、白色砂粒・茶色砂粒を多量に含む			
22	86309	86	P919	JZ - 湧岩層	JZ - 湧岩層	湧岩層	黒or黄	口径 (10.0) 高さ (10.0) 内径 1.6	横ナデ	自然露	[H] 5YR/1底 [V] 5YR/1底	黄、1m程度の白色砂粒を僅かに含む	良		
22	86310	86	P923	J002 - 土砂層	J002 - 土砂層	土砂層	土砂	口径 (10.2) 高さ (6.4) 内径 1.3	横ナデ、直照ナデ	横ナデ	[H] 5YR/1底 [V] 5YR/1底	黄、1m程度の白色砂粒を含む	良好		
22	86311	86	P942	J001 - 土砂層	J001 - 土砂層	土砂層	土砂	口径 (10.0) 高さ (6.4) 内径 1.3	横ナデ	横ナデ	[H] 10YR/2-2底 [V] 10YR/2-2底	黄、1m程度の白色砂粒を含む	良好		
22	86312	86	P934	J002 - 土砂層	J002 - 土砂層	土砂層	小笠原or群	口径 (11.1) 高さ (6.4) 内径 1.3	横ナデ	横ナデ	[H] 10YR/2-2底黄 [V] 10YR/2-2底黄	黄、1m程度の白色砂粒を多量に含む	良		
22	86313	86	P928	DP01 - 土砂層	DP01 - 土砂層	土砂層	群?	口径 (7.38) 高さ (6.4) 内径 1.3	横ナデ	横ナデ	[H] 10YR/2-2底 [V] 10YR/2-2底	黄、1m程度の白色砂粒・茶色砂粒を多量に含む	良		
22	86314	86	P935	J001 - 土砂層	J001 - 土砂層	土砂層	群	口径 (18.0) 高さ (10.2) 内径 1.6	横ナデ、直照・赤照照	横ナデ	[H] 5YR/1底 [V] 5YR/1底	黄、1m程度の白色砂粒を含む	良好		
22	86315	86	P932	JN03 - 土砂層	JN03 - 土砂層	湧岩層	群	口径 (18.0) 高さ (10.2) 内径 1.6	横ナデ、直照・赤照照	横ナデ	[H] 5YR/1底 [V] 5YR/1底	黄、1m程度の白色砂粒を含む	良好		
22	86316	86	P938	DR16 - 土砂層	DR16 - 土砂層	黒色土砂	群?	口径 (1.05) 高さ (6.4) 内径 1.3	ミガキ	ミガキ	[H] 5YR/1底 [V] 5YR/1底	黄、1m以下の白色砂粒を含む	良好		
22	86317	86	P926	DR17 - 土砂層	DR17 - 土砂層	黒色土砂	群	口径 (8.2) 高さ (6.4) 内径 1.3	横ナデ	横ナデ	[H] 10YR/2-2底黄 [V] 10YR/2-2底黄	黄、1m程度の白色砂粒を含む	良好	大層な	
22	86318	86	P931	DR19 - 土砂層	DR19 - 土砂層	黒色土砂	群	口径 (12.2) 高さ (6.4) 内径 1.3	横ナデ、直照へ9割り	横ナデ	[H] 5YR/1底 [V] 5YR/1底	黄、白色砂粒・茶色砂粒を含む	良好	横照照	
22	86319	86	P927	DR17 - 土砂層	DR17 - 土砂層	黒色土砂	群	口径 (8.2) 高さ (6.4) 内径 1.3	横ナデ、直照へ9割り	横ナデ	[H] 5YR/1底 [V] 5YR/1底	黄、白色砂粒・茶色砂粒を含む	良好	横照照	
22	86320	86	P927	DR17 - 土砂層	DR17 - 土砂層	黒色土砂	群	口径 (8.2) 高さ (6.4) 内径 1.3	横ナデ、直照へ9割り	横ナデ	[H] 5YR/1底 [V] 5YR/1底	黄、白色砂粒・茶色砂粒を含む	良好	横照照	
22	86400	86	P938	DP13 - 第3層(凝結土層)	DP13 - 第3層(凝結土層)	土砂層	土砂	口径 (12.0) 高さ (14.9) 内径 1.6	横ナデ	横ナデ	[H] 10YR/4C-G-L [照上] 5YR/4C-G-L	黄、1m程度の白色砂粒を多量に含む	良	肥土系	
22	86401	86	P878	DP13 - 第3層(凝結土層)	A-5 - 第3層	黒色土砂	群	口径 (1.7) 高さ (6.4) 内径 1.3	横ナデ、直照へ9割り	横ナデ	[H] 5YR/1底 [V] 5YR/1底	黄、1m程度の白色砂粒を含む	良好		
22	86402	86	P941	DP13 - 第3層(凝結土層)	DP13 - 第3層	湧岩層	互層状	口径 (2.2) 高さ (2.3) 内径 1.3	横照	横照	[H] 5YR/1底 [V] 5YR/1底	黄、1m程度の白色砂粒を含む	良好		
22	86403	86	P940	DP13 - 第3層(凝結土層)	DP13 - 第3層	湧岩層	互層状	口径 (2.2) 高さ (2.3) 内径 1.3	横照	横照	[H] 5YR/1底 [V] 5YR/1底	黄、1m程度の白色砂粒を含む	良好		
22	86404	86	7 13	DP13 - 第3層(凝結土層)	DP13 - 第3層	湧岩層	互層状	口径 (2.2) 高さ (2.3) 内径 1.3	横照	横照	[H] 5YR/1底 [V] 5YR/1底	黄、1m程度の白色砂粒を含む	良好		
22	86405	86	P901	DP13 - 第3層(凝結土層)	DP13 - 第3層	湧岩層	互層状	口径 (2.2) 高さ (2.3) 内径 1.3	横照	横照	[H] 5YR/1底 [V] 5YR/1底	黄、1m程度の白色砂粒を含む	良好		
22	86406	86	P909	DP13 - 第3層(凝結土層)	DP13 - 第3層	湧岩層	互層状	口径 (2.2) 高さ (2.3) 内径 1.3	横照	横照	[H] 5YR/1底 [V] 5YR/1底	黄、1m程度の白色砂粒を含む	良好		
22	86407	86	P900	DP13 - 第3層(凝結土層)	DP13 - 第3層	湧岩層	互層状	口径 (2.2) 高さ (2.3) 内径 1.3	横照	横照	[H] 5YR/1底 [V] 5YR/1底	黄、1m程度の白色砂粒を含む	良好		
22	86408	86	P939	DP13 - 第3層(凝結土層)	DP13 - 第3層	湧岩層	互層状	口径 (2.2) 高さ (2.3) 内径 1.3	横照	横照	[H] 5YR/1底 [V] 5YR/1底	黄、1m程度の白色砂粒を含む	良好		
23	83001	88	P905	山手 南直上	山手 南直上	土砂層	群	口径 (12.0) 高さ (12.0) 内径 1.6	横ナデ、照り出し裏付	横ナデ	[H] 5YR/1底 [V] 5YR/1底	黄、白色砂粒・茶色砂粒を含む	良	肥沃	
23	83002	88	P904	山手 南直上	山手 南直上	土砂層	土砂	口径 (12.0) 高さ (12.0) 内径 1.6	横ナデ、照り出し裏付	横ナデ	[H] 5YR/1底 [V] 5YR/1底	黄、白色砂粒・茶色砂粒を含む	良	肥沃	
23	83003	88	P903	山手 南直上	山手 南直上	土砂層	土砂	口径 (12.0) 高さ (12.0) 内径 1.6	横ナデ、照り出し裏付	横ナデ	[H] 5YR/1底 [V] 5YR/1底	黄、白色砂粒・茶色砂粒を含む	良	肥沃	
23	91013	91	P927	DP13 - 第3層(凝結土層)	DP13 - 第3層	湧岩層	互層状	口径 (2.2) 高さ (2.3) 内径 1.3	横照	横照	[H] 5YR/1底 [V] 5YR/1底	黄、1m程度の白色砂粒を含む	良好	横照照	

探検 番号	報告 番号	次	実測 番号	(遺構) (遺構)		種類	形状	平面の特徴		色調	胎土	焼成	気づいたこと
				掘り上げ位置	掘り上げ位置			外観	内観				
23	91014	91	P924	第3層 BL00	第3層 BL00	白磁	皿	口径 (11.8) 底径 (7.4) 高さ (2.4)	底粒、底胎	底粒、底胎	[胎土] 淡黄青 [胎土] 5YR 1/灰白	緑黄	良好
23	91015	91	P996	第3層 BL00	第3層 BL00	滑石器	長片	口径 - 底径 - 高さ (2.2)	横ナデ	横ナデ、自然粒	[内] 5Y7/1灰白 [内] 5Y7/1灰白	緑黄、黒色粒を含む	良好
23	91016	91	P921	第3層 BL00	第3層 BL00	陶器	壺	口径 - 底径 - 高さ (5.7)	横ナデ	横ナデ	[内] 5Y5/1灰 [内] 5Y5/1黄灰	黄、1~2mm程度の白色砂粒を多量に含む	良好
23	91017	91	P901	第3層 BL00	第3層 BL00	陶器	鉢鉢	口径 - 底径 - 高さ (4.2)	横ナデ	横ナデ、横リ目	[内] 5Y6/1黄灰 [内] 5Y6/1黄灰	黄、1mm程度の白色砂粒を多量に含む	良好
23	91018	91	P906	第3層 BL00	第3層 BL00	陶器	鉢	口径 - 底径 - 高さ (1.0)	底胎	三角手	[胎土] 2.5YR 3/オリーブ [胎土] 2.5YR 3/黄灰	緑黄	良好
23	91019	91	P923	第3層 BL00	第3層 BL00	陶器	灯明皿	口径 (8.0) 底径 (2.0) 高さ (2.2)	横ナデ、ケズリ	横ナデ	[内] 2.5YR 6/黄青 [内] 2.5YR 6/黄青	緑黄	良好
23	91020	91	P920	第3層 BL00	第3層 BL00	陶器	鉢	口径 (8.8) 底径 (4.8) 高さ (4.8)	底胎	底胎	[胎土] 2.5YR 3/黄青 [胎土] 2.5YR 3/黄青	黄、1mm以下の黒色砂粒を含む	良好
23	91021	91	P997	第3層 BL00	第3層 BL00	陶器	鉢	口径 - 底径 - 高さ (2.9)	底胎	底胎	[胎土] 2.5YR 3/黄青 [胎土] 2.5YR 3/黄青	黄、白色砂粒を含む	良好
23	91022	91	P925	第3層 BL00	第3層 BL00	磁器	仏眼皿	口径 (9.2) 底径 (3.2) 高さ (6.0)	底粒、底胎	底胎	[胎土] 5YR 7/灰白 [胎土] 5YR 7/灰白	緑黄	良好
23	91023	91	P922	第3層 BL00	第3層 BL00	磁器	碗	口径 - 底径 - 高さ (2.9)	横リ出し	ナデ	[内] 5YR 7/灰 [内] 5YR 7/灰	緑黄	良好
23	91024	91	P916	第3層 BL00	第3層 BL00	土師器	壺	口径 - 底径 - 高さ (2.9)	横ナデ	横ナデ	[内] 5YR 7/灰 [内] 5YR 7/灰	黄、1mm程度の白色砂粒を多量に含む	良好
23	91025	91	P945	南横濱地試掘 - 反焼色胎土層	南横濱地試掘 - 反焼色胎土層	土師器	壺	口径 - 底径 - 高さ (2.7)	横ナデ	横ナデ	[内] 5YR 7/灰 [内] 5YR 7/灰	緑黄	良好
23	91026	91	P944	南横濱地試掘 - 反焼色胎土層	南横濱地試掘 - 反焼色胎土層	土師器	鉢	口径 - 底径 - 高さ (6.8)	横ナデ	横ナデ	[内] 5YR 7/灰 [内] 5YR 7/灰	黄、1mm程度の白色砂粒を多量に含む	良好
23	91027	91	P954	南横濱地試掘 - 反焼色胎土層	南横濱地試掘 - 反焼色胎土層	土師器	鉢	口径 - 底径 - 高さ (6.5)	横ナデ	横ナデ	[内] 5YR 7/灰 [内] 5YR 7/灰	黄、1mm程度の白色砂粒を多量に含む	良好
23	91028	91	P943	南横濱地試掘 - 反焼色胎土層	南横濱地試掘 - 反焼色胎土層	土師器	鉢鉢	口径 (28.0) 底径 (18.0) 高さ (9.6)	ナデ	横ナデ	[内] 5YR 7/灰 [内] 5YR 7/灰	黄、1mm程度の白色砂粒を多量に含む	良好
23	91029	91	P946	南横濱地試掘 - 反焼色胎土層	南横濱地試掘 - 反焼色胎土層	土師器	皿	口径 - 底径 - 高さ (2.2)	ナデ、底野	ナデ	[内] 5YR 7/灰 [内] 5YR 7/灰	黄、2mm以下の石、黄、1mm程度の白色砂粒を多量に含む	良好
23	91030	91	P955	南横濱地試掘 - 反焼色胎土層	南横濱地試掘 - 反焼色胎土層	土師器	片断	口径 - 底径 - 高さ (10.0)	横ナデ	横ナデ	[内] 5YR 7/灰 [内] 5YR 7/灰	黄、1mm程度の白色砂粒を含む	良好
23	91031	91	P953	南横濱地試掘 - 反焼色胎土層	南横濱地試掘 - 反焼色胎土層	瓦質土器	鉢鉢	口径 - 底径 - 高さ (5.0)	ミガキ	磨毛状工具によるナデ、横ナデ	[内] 5YR 7/灰 [内] 5YR 7/灰	黄、白色砂粒、黒色砂粒、黄、角閃石を多量に含む	良好
23	91032	91	P952	南横濱地試掘 - 反焼色胎土層	南横濱地試掘 - 反焼色胎土層	陶器	壺	口径 - 底径 - 高さ (8.5)	底胎	底胎	[内] 5YR 7/灰 [内] 5YR 7/灰	黄、1mm程度の白色砂粒を多量に含む	良好
24	91033	91	P948	南横濱地試掘 - 反焼色胎土層	南横濱地試掘 - 反焼色胎土層	陶器	鉢	口径 (22.2) 底径 (7.6) 高さ (7.6)	底胎 (黒白の二色)	底胎 (黒一色)	[内] 胎土 2.5YR 3/オリーブ [胎土] 2.5YR 3/オリーブ [胎土] 2.5YR 3/オリーブ	緑黄	良好
24	91034	91	P947	南横濱地試掘 - 反焼色胎土層	南横濱地試掘 - 反焼色胎土層	陶器	急須	口径 - 底径 - 高さ (5.7)	底胎、底粒、ヘラケズリ	底胎	[胎土] 5YR 6/オリーブ黄 [胎土] 5YR 6/オリーブ黄	緑黄	良好
24	91035	91	P949	南横濱地試掘 - 反焼色胎土層	南横濱地試掘 - 反焼色胎土層	陶器	灯明皿	口径 10.2 底径 4.0 高さ 5.5	底胎、底粒、ヘラケズリ	底胎	[胎土] 2.5YR 3/オリーブ黄 [胎土] 2.5YR 3/オリーブ黄	緑黄	良好
24	91036	91	P951	南横濱地試掘 - 反焼色胎土層	南横濱地試掘 - 反焼色胎土層	陶器	灯明皿	口径 (10.4) 底径 (2.5) 高さ 5.5	横ナデ	底胎	[内] 2.5YR 3/オリーブ黄 [内] 2.5YR 3/オリーブ黄	緑黄	良好
24	91037	91	P950	南横濱地試掘 - 反焼色胎土層	南横濱地試掘 - 反焼色胎土層	磁器	皿	口径 (11.0) 底径 (7.7) 高さ (2.7)	底胎	底胎	[胎土] 2.5YR 3/オリーブ黄 [胎土] 2.5YR 3/オリーブ黄	緑黄	良好
24	59	85	P935	第2層 第2層	第2層 第2層	石製品	スクレイパー	長さ (8.1) 幅 (6.1) 厚さ 0.6	-	-	重量 70.3	石材 ササカイト	穿孔取
24	510	86	P936	第2層 第2層	第2層 第2層	石製品	石斧丁	長さ (4.7) 幅 (3.4) 厚さ 0.75	-	-	重量 19.9	石材 ササカイト	穿孔取
24	511	86	P902	第2層 (反焼色土層)	第2層 (反焼色土層)	石製品	碇石	長さ (5.4) 幅 (3.25) 厚さ 0.85	-	-	重量 24.5	石材 不明	-
24	512	86	P904	第2層 (反焼色土層)	第2層 (反焼色土層)	石製品	不明	長さ 4.1 幅 3.2 厚さ 3.0	-	-	重量 46.6	石材 砂岩?	-

鎧瓦

調査 番号	調査 年度	次	(整理前) 期り上げ位置	(整理後) 期り上げ位置	形式	寸法(cm)	手法の特徴			瓦法・質地	色調	胎土	特徴	気づいたこと
							間題	凸面	側面					
25	1	85	D506 第2期	O506 第2期	SKM01	長さ [7.5] 広幅幅 [幅辺] [16.5] 狭幅幅 [16.4] 瓦当厚 [5.9] 瓦当厚 [5.9] 瓦当厚 [5.9]	-	ナデ	-	鎌倉式	[B2] 2.5Y/1灰白 [Δ] 2.5Y/1灰白	厚、0.5～3mmの石 英・長石を含む	良好	割れ口に布目痕
25	2	84	CJ53 南池邊 灰土粘質土	HJ12 CJ915 灰土粘質土	SKM01	長さ [3.2] 広幅幅 [幅辺] - 狭幅幅 - 瓦当厚 16.3 瓦当厚 [3.2] 瓦当厚 - 瓦当厚 -	縦いナデ、 ナデ	ナデ	-	鎌倉型一本 作り	[B1] N5/灰 [Δ] N5/灰	厚、3mm以下の白色 粒・黒色粒を含む	良好	笠型あり、ノコ ズ
25	3	88	HJ20 鎌倉	HJ20 鎌倉	SKM01	長さ [7.5] 広幅幅 [幅辺] - 狭幅幅 - 瓦当厚 16.5 瓦当厚 4.0 瓦当厚 - 瓦当厚 -	-	-	-	一本作り	[B1] 増灰 [Δ] 増灰	増灰、1mm以下の白 色粒を含む	良好	
25	4	86	NJ18 相殿北側溝瓦	NJ18 SJR132	SKM01	長さ [18.5] 広幅幅 [幅辺] - 狭幅幅 - 瓦当厚 16.5 瓦当厚 5.0 瓦当厚 - 瓦当厚 -	ナデ	ナデ、ハタ	-	鎌倉式	[B1] N5/灰 [Δ] N4/灰	厚、5mm以下の石 英・長石、小石を多 量含む	良好	
25	5	84	CG45 第3期	HJ05 第3期	SKM02A	長さ [18.5] 広幅幅 [幅辺] [12.1] 狭幅幅 - 瓦当厚 [12.9] 瓦当厚 2.8 瓦当厚 [2.3] 瓦当厚 -	布目痕、縦 いナデ	縦方向の縦 いナデ	-	鎌倉式	[B1] N7/灰白 [Δ] N7/灰白	厚、3mm以下の石 英・長石・黒色粒を 含む	良好	
25	6	不明	不明	不明	SKM02A	長さ [13.8] 広幅幅 [幅辺] [13.8] 狭幅幅 [8.7] 瓦当厚 3.8 瓦当厚 3.5 瓦当厚 - 瓦当厚 -	ナデ	縦方向の縦 いナデ	-	-	[B1] N6/灰 [Δ] N6/灰	厚、2mm以下の石 英・赤色粒・黒色粒 を含む	良好	
25	7	84	EB13 第1期	K13 第1期	SKM02A	長さ [11.1] 広幅幅 [幅辺] [17.1] 狭幅幅 - 瓦当厚 17.0 瓦当厚 4.0 瓦当厚 2.2 瓦当厚 -	ナデ	ナデ	-	鎌倉式	[B1] N5/灰 [Δ] N5/灰	やや粗、5mm以下の 石英・長石、小石を 含む	良好	
25	8	85	EB07 -	EB07 -	SKM02A	長さ [17.1] 広幅幅 [幅辺] [16.2] 狭幅幅 - 瓦当厚 [16.0] 瓦当厚 3.5 瓦当厚 - 瓦当厚 -	ナデ、板ナ デ	ナデ、板ナ デ	ケズリ1度	鎌倉式	[B2] N2/黒 [胎土] N7/灰白	やや粗、5mm以下の 石英・長石、小石を 含む	良好	
25	9	85	HC18 第2期	HC18 第2期	SKM02A	長さ [5.0] 広幅幅 [幅辺] [17.3] 狭幅幅 - 瓦当厚 17.5 瓦当厚 4.5 瓦当厚 - 瓦当厚 -	ナデ	縦方向のナ デ、縦方向 の縦ナデ	-	鎌倉式 型一本作り	[B2] N2/黒 [胎土] N7/灰白	やや粗、5mm以下の 石英・長石、10mm以 下の小石を含む	良好	ノコズ、型あり
25	10	84	CJ48 第3期	HJ06 第3期	SKM02A	長さ [9.5] 広幅幅 [幅辺] [15.2] 狭幅幅 - 瓦当厚 [14.0] 瓦当厚 4.6 瓦当厚 - 瓦当厚 -	ナデ、板ナ デ	板ナデ	-	鎌倉型一本 作り	[B1] N7/灰白 [Δ] N7/灰白	厚、5mm以下の石 英・長石、赤色粒・ 黒色粒を含む	良好	中野型あり、ノ コズ
26	11	85	DG01 第2期	DG01 第2期	SKM02A	長さ [9.6] 広幅幅 [幅辺] [15.9] 狭幅幅 - 瓦当厚 17.4 瓦当厚 3.3 瓦当厚 - 瓦当厚 -	不定方向の ナデ、板ナ デ (横 溝)、布目 痕	縦方向のナ デ	-	鎌倉型一本 作り	[B1] N5/灰 [Δ] N5/灰	厚、3mm以下の石 英・長石を含む	良好	笠型あり
26	12	86	BD01 第2期	BD01 第2期	SKM02A	長さ [23.5] 広幅幅 [幅辺] [15.1] 狭幅幅 - 瓦当厚 17.5 瓦当厚 4.9 瓦当厚 2.0 瓦当厚 - 瓦当厚 -	布目痕	ナデ	ケズリ1度	一本作り	[B1] N6/灰 [Δ] N6/灰	厚、1～5mmの石英・ 長石を含む	良好	型ありの布目
26	13	83	AE15 SF北東隅	AE15 SASR01北東隅	SKM02A	長さ [20.5] 広幅幅 [幅辺] [15.7] 狭幅幅 14.9 瓦当厚 17.0 瓦当厚 4.5 瓦当厚 2.2 瓦当厚 - 瓦当厚 -	布目痕、縦 合のナデ	板ナデ?	ケズリ	鎌倉型一本 作り	[B1] N6/灰 [Δ] N6/灰	厚、3mm以下の石 英・長石を含む	良好	ノコズ、笠型あ り、反破り
26	14	85	DR05 -	DR05 -	SKM04	長さ [20.5] 広幅幅 [幅辺] [18.2] 狭幅幅 - 瓦当厚 18.2 瓦当厚 [6.0] 瓦当厚 [2.3] 瓦当厚 - 瓦当厚 -	布目痕、縦 いナデ、ナ デ	ナデ	-	-	[B1] N5/灰 [Δ] N5/灰	青	良好	笠型あり、瓦当部 と女瓦部の接合部 に縦方向のケズリ
26	15	83	AE18 SF北東隅	AE18 SASR01北東隅	SKM04	長さ [19.9] 広幅幅 [幅辺] [17.1] 狭幅幅 - 瓦当厚 17.0 瓦当厚 3.2 瓦当厚 - 瓦当厚 -	ナデ	-	-	鎌倉式	[B1] N6/灰 [Δ] N6/灰	厚、0.5～1.5mmの石 英・長石を含む	良好	
26	16	86	DR13 第2期	DR13 第2期	SKM04	長さ [23.8] 広幅幅 [幅辺] [18.3] 狭幅幅 - 瓦当厚 18.2 瓦当厚 [3.3] 瓦当厚 - 瓦当厚 -	-	板ナデ	-	-	[B1] 10Y/1灰白 [Δ] 10Y/1灰白	厚、4mm以下の長石 を含む	良好	型あり、笠型な し、ノコズ
27	17	84	DH48 第3期	HJ08 第3期	SKM05	長さ - 広幅幅 [幅辺] - 狭幅幅 - 瓦当厚 15.5 瓦当厚 4.5 瓦当厚 - 瓦当厚 -	-	-	-	一本作り?	[B1] 増灰 [Δ] 増灰	増灰、1mm以下の白 色粒を含む	良好	反破り
27	18	不明	不明	不明	SKM05	長さ [19.8] 広幅幅 [幅辺] [15.2] 狭幅幅 - 瓦当厚 15.0 瓦当厚 5.3 瓦当厚 [1.1] 瓦当厚 -	布目痕	ナデ、縦割 1度	ケズリ1度	鎌倉式	[B1] N6/灰 [Δ] N6/灰	厚、0.5～5mmの石 英・長石を含む	良好	反破り
27	19	85	DJ00 SK 緑褐色土	1000 SK 緑褐色土	SKM06	長さ [21.7] 広幅幅 [幅辺] [15.1] 狭幅幅 - 瓦当厚 16.6 瓦当厚 4.2 瓦当厚 [1.4] 瓦当厚 -	縦方向のナ デ、布目 痕、縦方向 の縦いナデ	縦方向の縦 いナデ	ケズリ1度	鎌倉型一本 作り	[B1] N6/灰 [Δ] N6/灰	厚、2mm以下の石 英・長石を含む	良好	

探出 番号	報告 番号	次	(整理前) 取り上げ位置	(整理後) 取り上げ位置	形式	法量(cm)	平面的特徴			経法・質地	色調	胎土	構成	気づいたこと
							前面	上面	側面					
27	20	85	H013 東面溝溝	H013 SO4002	SKM06	長さ [7.3] 広幅幅(短辺): 16.8 狭幅幅 - 瓦当部: 16.8 瓦当部: 2.2 男瓦部: 13.2	ナデ、板ナ デ	ナデ、板ナ デ	-	横置型一本 作り(横土 式?)	[20]N7/灰白 △N7/灰白	黄、3mm以下の石 灰・長石・赤色粒を 含む	良好	
27	21	86	J000 西面粘土	J000 SK0120 西面粘土	SKM06	長さ [21.6] 広幅幅(短辺): 16.7 狭幅幅 - 瓦当部: 2.5 瓦当部: 2.5 男瓦部: 2.5	布目織、横 方向のナ デ、ミガキ	横方向のナ デ、ミガキ	-	一本作り	[20]N6/灰 △N7/灰白	やや粗、3mm以下の 石灰・長石、5~10 mmの小石を含む	良好	
27	22	85	CO19 SK 西面粘土	CO19 SK0006 西面粘土	SKM06	長さ [6.0] 広幅幅(短辺): 16.4 狭幅幅 - 瓦当部: 15.8 瓦当部: 3.2 男瓦部: 3.6	横ナデ	ナデ	ナデ	横置型一本 作り	[20]N6/灰 △N6/灰	黄、4mm以下の砂粒 を含む	良好	
27	23	84	DA49 第2期	HK09 第2期	SKM07	長さ [8.0] 広幅幅(短辺): 15.4 狭幅幅 - 瓦当部: 16.2 瓦当部: 15.2 男瓦部 -	ナデ	ナデ	-	横土式	[20]10N8/2灰白 △10N8/1灰白	黄	良好	粘土質保あり、横 置あり
27	24	85	HA17 第2期	HA17 第2期	SKM08	長さ [4.6] 広幅幅(短辺): 14.5 狭幅幅 - 瓦当部: 3.0 男瓦部 -	-	-	-	横土式	[20]N3/暗灰 △N3/暗灰	黄、1~4mmの石灰・ 長石を含む	良好	粘土質多い
28	25	不明	不明	不明	SKM09	長さ [8.0] 広幅幅(短辺): 17.4 狭幅幅 - 瓦当部: 17.0 瓦当部: 3.7 男瓦部 -	横方向のナ デ、横方向 の板ナデ?	布目織、横 方向の(薄 い)ナデ、 西面直置	-	横土式?	[20]N6/灰 △N6/灰	黄、5mm以下の石 灰・長石・赤色粒・ 黒粒・小石を含む	良好	
28	26	86	DR17 第2期	DR17 第2期	SKM10A	長さ [7.4] 広幅幅(短辺): 18.0 狭幅幅 - 瓦当部: 17.8 瓦当部: 3.7 男瓦部 -	-	-	-	横土式	[20]N6/灰 △N6/灰	黄、4mm以下の石 灰・長石を含む	良好	横置あり
28	27	84	DA53 第2期	HK13 第2期	SKM10B	長さ [4.6] 広幅幅(短辺): 13.5 狭幅幅 - 瓦当部 - 瓦当部: 2.5 男瓦部 -	-	-	-	-	[20]S7/1灰白 △S7/1灰白	黄、5mm以下の石 灰・長石を含む	良好	
28	28	84	CE53 第3期	HE13 第3期	SKM11	長さ - 広幅幅(短辺): - 狭幅幅 - 瓦当部 - 瓦当部 - 男瓦部 -	-	-	-	横土式	[20]S12/S7/1灰白 △S12/S7B/1灰白	黄、4mm以下の石 灰・長石・赤色粒・ 黒粒7を含む	良好	
28	29	85	DR02 第2期	DR02 第2期	SKM12	長さ - 広幅幅(短辺): - 狭幅幅 - 瓦当部 - 瓦当部: 3.5 男瓦部 -	-	-	-	横土式	[20]2.S7/1灰白 △2.S7/1灰白	やや粗、2mm以下の 白色粒・赤色粒を含む	良好	
28	30	84	FB13 第1期	KL13 第1期	SKM13	長さ [10.9] 広幅幅(短辺): 11.4 狭幅幅 - 瓦当部 - 瓦当部: 2.5 男瓦部 -	ナデ、板ナ デ	ナデ	-	横土式	[20]△10N8/2濃黄 △S12/S7B/1灰白	黄、5mm以下の石 灰・長石・小石を含む	良好	
28	31	85	B02 第2期	B02 第2期	SKM14	長さ [5.6] 広幅幅(短辺): 16.9 狭幅幅 - 瓦当部 - 瓦当部: 3.4 男瓦部 -	指ナデ	-	-	横土式	[20]N6/灰 △N6/灰	黄、1~4mmの石灰・ 長石を含む	良好	
28	32	91	RM13 東面溝溝	RM13 SO3008	SKM15	長さ [4.4] 広幅幅(短辺): 17.3 狭幅幅 - 瓦当部: 17.4 瓦当部: 3.4 男瓦部 -	ナデ	ナデ、指織 直置	-	横土式?	[20]△N5/灰 △S13/S7B/1灰白	やや粗、3mm以下の 石灰・長石・赤色粒 を含む	良好	
28	33	85	DS04 第2期	DS04 第2期	SKM16	長さ [2.1] 広幅幅(短辺): 16.0 狭幅幅 - 瓦当部: 16.0 瓦当部: 2.8 男瓦部 -	ナデ	ケズリ	-	横置型一本 作り	[20]10N8/3にふい 灰質 △10N8/3にふい 灰質	黄、1~3.5mmの石 灰・長石・赤色粒を 含む	良好	瓦面内部に黄瓦 質の層あり
28	34	85	OR13 第2期	OR13 第2期	SKM18	長さ - 広幅幅(短辺): - 狭幅幅 - 瓦当部: 9.6 瓦当部: 12.6 男瓦部 -	-	-	-	横置型一本 作り	[20]S9/7.4にふい △S9/7.4にふい	黄、1~5mmの石灰・ 長石を含む	良好	
29	35	85	H013 SK 灰色粘土	H013 SK0019 灰色粘土	SKM17	長さ [14.2] 広幅幅(短辺): 17.4 狭幅幅 - 瓦当部: 17.5 瓦当部: 3.2 男瓦部: 2.9	布目織、角 切、板ナ デ	ナデ、板ナ デ?	-	横土式	[20]△N4/灰~N7/灰 白 △N7/灰白	黄、5mm以下の石 灰・長石・赤色粒・ 黒粒?・小石を含む	良好	
29	36	85	DT03 第2期	DT03 第2期	SKM18	長さ [4.1] 広幅幅(短辺): 11.5 狭幅幅 - 瓦当部 - 瓦当部: 4.0 男瓦部 -	-	-	-	-	[20]N6/灰 △N6/灰	黄、1mm以下の白色 粒を含む	良好	
29	37	80	PH13 不明 第2期	PH13 不明 第2期	SKM19	長さ [2.3] 広幅幅(短辺): 14.1 狭幅幅 - 瓦当部: 14.0 瓦当部: 2.8 男瓦部 -	ナデ	ナデ、指織 直置	-	横土式	[20]S8/3/暗黄灰 △S8B/1黄灰	やや粗、3mm以下の 石灰・長石・黒粒を 含む	良好	瓦面裏面に灰
29	38	85	B03 第2期	B03 第2期	SKM20	長さ - 広幅幅(短辺): - 狭幅幅 - 瓦当部: 7.7 瓦当部: 3.6 男瓦部 -	-	-	-	-	[20]N6/灰 △N6/灰	黄、0.5~2mmの石 灰・長石を含む	良好	瓦面裏面に灰

探出 番号	調査 番号	次	(整理前) 掘り上げ位置	(整理後) 掘り上げ位置	形式	法量(cm)	平法の特徴			技法・素材	色調	胎土	構成	気づいたこと
							断面	凸面	側面					
29	39	85	H018 第2層	H018 第2層	SKM20	長さ - 広幅幅(断面): [13. 6] 横幅幅 - 瓦当厚 15. 5 瓦当厚 3. 0 厚瓦厚 -	-	-	-	鎌倉式	[図] 5/7/1灰白 [△] 5/7/1灰白	器、1～4mmの石莖・ 長石を含む	良	瓦当裏面が丸い
29	40	85	H018 第2層	H018 第2層	SKM21A	長さ [3. 3] 広幅幅(断面): [10. 9] 横幅幅 - 瓦当厚 - 瓦当厚 1. 8 厚瓦厚 -	-	-	-	鎌倉式	[図] 5/7/1灰白 [△] 6/6/灰白	器、4mm以下の石 莖・長石を含む	良	瓦当裏面が丸い
29	41	85	J002 第2層	J002 第2層	SKM21R	長さ [14. 4] 広幅幅(断面): [12. 7] 横幅幅 - 瓦当厚 13. 5 瓦当厚 2. 7 厚瓦厚 -	布目縁、縁 起縁、ナデ	ナデ	ナデ	鎌倉式	[図] 5/7/1灰白 [△] 5/7/1灰白	器、1～4mmの石莖・ 長石を含む	良	瓦当裏面が丸い 隅瓦が粘土継ぎり か?
29	42	85	H018 南西角遺構	H018 S06002	SKM22	長さ [4. 5] 広幅幅(断面): [11. 8] 横幅幅 - 瓦当厚 - 瓦当厚 3. 0 厚瓦厚 -	-	-	-	-	[図] 7. 5/9/6/6緑 [△] 7. 5/9/6/6緑	やや粗、2mmの白色 粉・赤色粉・赤色粉 を含む	良	
30	43	85	J000 第2層	J000 第2層	SKM23	長さ [6. 0] 広幅幅(断面): [13. 5] 横幅幅 - 瓦当厚 15. 0 瓦当厚 2. 0 厚瓦厚 -	-	-	-	鎌倉式	[図] 2. 5/7/1灰白 [△] 2. 5/7/1灰白	やや粗、2mm以下の 白色粉・赤色粉を含む	良	
30	44	85	D00 緑褐色土	J000 S04220 緑褐色土	SKM24A	長さ - 広幅幅(断面): [15. 3] 横幅幅 - 瓦当厚 - 瓦当厚 2. 7 厚瓦厚 -	ナデ	ナデ	-	鎌倉式?	[図] 6/6/灰白～6/6/ 灰白 [胎土] 10/9/6/2灰白	器、5mm前後の石 莖・赤色粉・赤色粉 を含む	良	瓦当は粘土塊を使 用
30	45	85	JM02 北東隅	JM02 S06102	SKM24B	長さ - 広幅幅(断面): [7. 3] 横幅幅 - 瓦当厚 16. 0 瓦当厚 2. 6 厚瓦厚 -	ナデ	ナデ	-	鎌倉式	[図] 6/6/灰 [胎土] 7. 5/9/7/4にぶ い層→2. 5/9/1灰白	やや粗、5mm以下の 石莖・長石・赤色粉 を含む	良	
30	46	85	IA02 第2層	IA02 第2層	SKM25	長さ - 広幅幅(断面) - 横幅幅 - 瓦当厚 - 瓦当厚 2. 0 厚瓦厚 -	-	-	-	鎌倉式	[図] 2. 5/9/2灰黄 [△] 2. 5/9/2灰黄	器、1～3mmの石莖・ 長石・赤色粉を含む	良	
30	47	不明	不明	不明	SKM26	長さ - 広幅幅(断面) - 横幅幅 - 瓦当厚 - 瓦当厚 - 厚瓦厚 -	-	-	-	-	[図] 不明 [△] 不明	不明	不明	不明
30	48	85	DE06 灰褐色粘質土	DE06 灰褐色粘質土	SKM27	長さ [11. 5] 広幅幅(断面): [13. 0] 横幅幅 - 瓦当厚 - 瓦当厚 4. 0 厚瓦厚 1. 7	布目縁	-	-	鎌倉式	[図] 7. 5/9/6/1灰白 [△] 7. 5/9/6/1灰白	やや粗、2mm以下の 白色粉を含む	良	
30	49	84	CF25 SD 灰褐色粘質土	CF25 SD 灰褐色粘質土	SKM28	長さ - 広幅幅(断面) - 横幅幅 - 瓦当厚 [14. 5] 瓦当厚 [3. 0] 厚瓦厚 -	-	-	-	-	[図] 6/6/灰 [△] 6/6/灰	器、3mm以下の石 莖・4mm以下の赤色 粉を含む	良	
30	50	85	NK18 第3層	NK18 第3層	SKM29	長さ - 広幅幅(断面) - 横幅幅 - 瓦当厚 - 瓦当厚 - 厚瓦厚 -	横ナデ	-	-	-	[図] 6/6/灰 [△] -	精良、1mm程度の白 色砂粉を含む	良好	管偏有
30	51	84	DA06 第2層	HH06 第2層	SKM30	長さ [17. 7] 広幅幅(断面): [15. 5] 横幅幅 - 瓦当厚 15. 5 瓦当厚 1. 4 厚瓦厚 2. 7	粗いナデ	縦方向のナ デ	-	-	[図] 6/6/灰 [△] 6/6/灰	やや粗、4～5mmの石 莖・長石、10mm以下 の中石を含む	良	釘穴1箇所
30	52	83	E2 第2層	E-2 第2層	SKM31	長さ - 広幅幅(断面) - 横幅幅 - 瓦当厚 [17. 4] 瓦当厚 3. 5 厚瓦厚 -	ナデ	ナデ	-	-	[図] 7. 5/9/2/1灰 [胎土] 7. 5/9/2/4にぶ い層	やや粗、1～2mm程度 の白色砂粉を少量に 含む	良	558横溝・通物6 12-13?
31	53	85	IA05 第2層	IA05 第2層	SKM32	長さ - 広幅幅(断面): [7. 0] 横幅幅 - 瓦当厚 - 瓦当厚 2. 2 厚瓦厚 -	ナデ	-	-	-	[図] 7. 5/5/1灰 [△] -	器、3mm以下の白色 砂粉を含む	良	瓦当文様・残文13 ヶ、三巴文(右巻)
31	54	不明	-	-	SKM32	長さ [5. 4] 広幅幅(断面): [8. 5] 横幅幅 - 瓦当厚 [10. 0] 瓦当厚 2. 3 厚瓦厚 -	ナデ、隅牌 さえ	-	-	鎌倉式	[図] 2. 5/6/2灰黄 [△] 2. 5/6/2灰黄	器、3mm以下の長 石・赤色粉を含む	良	環状痕あり
31	55	85	IB07 第2層	IB07 第2層	SKM33	長さ [7. 5] 広幅幅(断面): [13. 0] 横幅幅 - 瓦当厚 - 瓦当厚 2. 3 厚瓦厚 2. 4	ナデ	ナデ	-	-	[図] 6/6/灰 [△] -	器、5mm以下の白色 砂粉・赤色砂粉を含 む	良	瓦当文様・残文25 ヶ、三巴文(右巻)
31	56	85	DT07 第2層	DT07 第2層	SKM34	長さ - 広幅幅(断面): [12. 5] 横幅幅 - 瓦当厚 - 瓦当厚 - 厚瓦厚 -	ナデ	ナデ	-	-	[図] 10/6/1灰 [△] -	器、3mm以下の白色 砂粉を含む	良	瓦当文様・残文17 ヶ、三巴文(右巻)
31	57	85	IB03 第2層	IB03 第2層	SKM35	長さ - 広幅幅(断面): [10. 1] 横幅幅 - 瓦当厚 - 瓦当厚 - 厚瓦厚 -	ナデ	ナデ	-	-	[図] 5/5/1灰 [△] -	器、1～3mm程度の白 色砂粉を含む	良	瓦当文様・残文20 ヶ、三巴文(右巻) 5/5: 5/5(右巻)同一直 式

探出 番号	調査 番号	次	(整理期)	(整理期)	形式	法量(cm)	平面的特徴			経法・質地	色調	胎土	構成	気づいたこと
			取り上げ位置	取り上げ位置			前面	上面	側面					
31	58	85	B07 第2層	B07 第2層	SKM35	長さ [9.2] 広幅幅(短辺): 8.3 狭幅幅 - 瓦当厚 - 男瓦厚 1.9	布目織・工 具織。ナデ	ミダキ、ナ デ	-	-	[B] N7/反白 [Δ] N4/反・M6/反	やや粗。3~4mm程度の 白色砂粒・黒色砂粒を含む	良	瓦当文様 珠文17 タ、三巴文(右巻) 5/7/38/60と同ー型 式
31	59	85	IA05 第2層	IA05 第2層	SKM35	長さ [15.5] 広幅幅(短辺): 11.8 狭幅幅 - 瓦当厚 - 男瓦厚 1.85	布目織、ナ デ	極ナデ、ナ デ	-	-	[B] N6/反 [Δ] -	磨、3mm以下の白色 砂粒。5mm以下の礫 を含む	良	瓦当文様 珠文21 タ、三巴文(右巻) 5/7/38/60と同ー型 式
32	60	85	OT06 第2層	OT06 第2層	SKM35	長さ [10.4] 広幅幅(短辺): 12.0 狭幅幅 - 瓦当厚 - 男瓦厚 2.5	布目織、糸 切り織、指 押さえ	ナデ	-	-	[B] N6/反 [Δ] -	磨、4mm以下の砂粒 を含む	良	瓦当文様 珠文14 タ、三巴文(右巻) 5/7/38/59と同ー型 式
32	61	85	ED04 第2層上層	ED04 第2層上層	SKM36	長さ [9.0] 広幅幅(短辺): 10.6 狭幅幅 - 瓦当厚 - 男瓦厚 2.0	布目織、ナ デ	極ナデ	-	-	[B] N6/反 [Δ] N6/反	磨、1mm以下の白色 砂粒を含む	良	瓦当文様 珠文7 タ、三巴文(右巻) 中・近世移行期
32	62	85	IA04 第2層	IA04 第2層	SKM37	長さ [2.4] 広幅幅(短辺): [7.0] 狭幅幅 - 瓦当厚 - 男瓦厚 -	-	ナデ	鎌倉式	[B] 2.5/18/3波黄 [Δ] -	磨、1mm程度の白色 砂粒・黒色砂粒を含む	良	瓦当文様 三巴文 江戸期	
32	63	85	HA16 第2層	HA16 第2層	SKM38	長さ [7.6] 広幅幅(短辺): 12.7 狭幅幅 - 瓦当厚 - 男瓦厚 2.5	ナデ、極ナ デ	ナデ	-	-	[B] N6/反 [Δ] -	磨、4mm以下の白色 砂粒・10mm以下の礫 を含む	良	瓦当文様 珠文9 タ、三巴文(右巻)
32	64	80	2T 第2層	2T 第2層	SKM39	長さ - 広幅幅(短辺) - 狭幅幅 - 瓦当厚 1.5 男瓦厚 -	キウ粉	ナデ、キウ 粉	-	-	[B] 2.5/12/1黒 [Δ] -	磨、1mm程度の白色 砂粒を含む	良好	瓦当文様 三巴文 1区
32	65	86	DE06 瓦当性粘土層	DE06 瓦当性粘土層	SKM40	長さ [10.4] 広幅幅(短辺): 6.2 狭幅幅 - 瓦当厚 - 男瓦厚 1.9	縦方向の極 ナデ、ナデ	横ナデ、横 骨状條跡、 キウ粉	-	-	[B] N2/反・横反 3/7/1 反白 [Δ] -	やや粗。5mm程度の 白色砂粒を含む	良	瓦当文様 珠文6 タ、三巴文(右巻) 1区・最末?
32	66	85	CP17 第2層	CP17 第2層	SKM41	長さ [11.8] 広幅幅(短辺): 12.0 狭幅幅 - 瓦当厚 - 男瓦厚 1.5	キウ粉	ナデ	-	-	[B] N4/反 [Δ] -	磨、1mm程度の白色 砂粒を含む	良好	瓦当文様 三巴文、 木目巻
32	67	85	ED03 第2層	ED03 第2層	SKM42	長さ [15.6] 広幅幅(短辺): [18.8] 狭幅幅 [8.5] 瓦当厚 [1.5] 男瓦厚 -	ナデ	-	-	-	[B] N6/反 [Δ] N6/反	磨、1~2mm程度の白 色砂粒・黒色砂粒を 含む	良好	-
32	68	85	HD18 第2層	HD18 第2層	SKM43	長さ - 広幅幅(短辺) - 狭幅幅 - 瓦当厚 [7.0] 瓦当厚 2.5 男瓦厚 -	-	-	-	-	[B] N5/反 [Δ] N6/反	磨、1mm以下の白色 砂粒・黒色砂粒を含む	良好	-
32	69	不詳	-	-	SKM44	長さ [4.7] 広幅幅(短辺): [5.7] 狭幅幅 - 瓦当厚 [7.9] 瓦当厚 2.0 男瓦厚 -	摩滅	-	-	-	[B] 10/16/3にふい 黄輝 [Δ] 5/15/1反	磨、1mm以下の白色 砂粒・白色砂粒・黒色 砂粒を含む	不良	-
32	70	85	IC02 第2層	IC02 第2層	SKM45	長さ [7.7] 広幅幅(短辺): [7.6] 狭幅幅 - 瓦当厚 [5.0] 瓦当厚 [1.7] 男瓦厚 2.1	ナデ	-	-	-	[B] N6/反 [Δ] N6/反	磨、2mm以下の石 灰・黒石を含む	良	-
32	71	84	DA08 第2層	HA08 第2層	SKM46	長さ - 広幅幅(短辺) - 狭幅幅 - 瓦当厚 [6.5] 瓦当厚 1.5 男瓦厚 -	-	-	-	-	[B] 5/16/1反 [Δ] 2.5/16/1黄灰	磨、1mm以下の石 灰・黒石を含む	良	-
32	72	83	J3 第2層	J-3 第2層	SKM47	長さ - 広幅幅(短辺) - 狭幅幅 - 瓦当厚 [9.5] 瓦当厚 [1.3] 男瓦厚 -	-	-	-	-	[B] 2.5/17/2反黄 [Δ] 2.5/17/1反白	やや粗。4mm以下の 石灰・黒石・黒色砂 粒を含む	軟質	瓦当文様 龍鳳文
32	73	83	J3 第2層	J-3 第2層	SKM47	長さ - 広幅幅(短辺) - 狭幅幅 - 瓦当厚 [5.5] 瓦当厚 1.6 男瓦厚 -	-	-	-	-	[B] 2.5/17/2反黄 [Δ] 2.5/17/1反白	やや粗。4mm以下の 石灰・黒石・黒色砂 粒を含む	軟質	瓦当文様 龍鳳文
32	74	86	ED09 黒褐色土層	ED09 黒褐色土層	SKM48	長さ [9.0] 広幅幅(短辺) - 狭幅幅 - 瓦当厚 - 瓦当厚 1.8 男瓦厚 1.8	タタキ、ナ デ、キウ粉	ナデ、キウ 粉	-	-	[B] N6/反 [Δ] -	磨、2mm以下の白色 砂粒を含む	良	瓦当文様 龍鳳文 文、花弁8葉
32	75	91	BD01 -	BD01 -	SKM48	長さ - 広幅幅(短辺) - 狭幅幅 - 瓦当厚 - 瓦当厚 1.8 男瓦厚 -	-	-	-	-	[B] N6/反 [Δ] -	磨、1mm程度の白色 砂粒を含む	良好	瓦当文様 龍鳳文
32	76	85	ZZ 埋戻跡	ZZ 埋戻跡	SKM50	長さ - 広幅幅(短辺) - 狭幅幅 - 瓦当厚 [6.3] 瓦当厚 1.4 男瓦厚 -	-	-	-	-	[B] 1.5/16/2反白 [Δ] 7.5/16/2反白	磨、2mm以下の石 灰・黒石をわずかに 含む	軟質	-

宇瓦

調査 番号	調査 区画	次 番号	(遺物名)	(遺物名)	形式	法量(cm)	類	平面的特徴					瓦法・瓦地	色調	出土	備考	気づいたこと
								断面	凸面	側面	底面	縁部					
28	77	不明	不明	不明	不明	長辺 (4.4) 広縁幅(瓦辺) [14.4] 瓦厚 (4.3) 瓦厚 (2.9)	窯割	ナデ、ハケ目?	ナデ	ケズリ1度	-	-	-板作り	[3] 167:灰白 (Δ) 166:灰	書、2mm以下の白色、黒色を帯び	良好	窯割り、上部の区別線がケズリと
28	78	不明	不明	不明	不明	長辺 (7.4) 広縁幅(瓦辺) [19.2] 瓦厚 (4.0) 瓦厚 (3.4)	窯割	ヘラケズリ、布目、布目、貼割?	ナデ	ケズリ2度	-	-	粘土層?	[3] 165:灰 (Δ) 166:灰	書、2mm以下の白色、黒色を帯び	良好	
29	79	3001 角溝溝	3001 SD4002	不明	不明	長辺 (17.8) 広縁幅(瓦辺) [10.1] 瓦厚 (4.9) 瓦厚 (3.5)	窯割	細いナデ、布目、貼割?	ナデ	ケズリ1度	-	-	-	[3] 165:灰 (Δ) 164:灰	書、2mm以下の白色、黒色を帯び	良好	成成台?の縁部
29	80	3004 角溝溝	3004 SD4002	不明	不明	長辺 (17.0) 広縁幅(瓦辺) [8.2] 瓦厚 (3.6) 瓦厚 (3.5)	窯割	ナデ、調整1度、横溝	布目、ナデ	ケズリ2度	-	-	粘土板横溝作り	[3] 167:灰白 (Δ) 167:灰	書、2mm以下の白色を帯び	良好	
29	81	HB18 第2層	HB18 第2層	不明	不明	長辺 (25.5) 広縁幅(瓦辺) 27.5 瓦厚 (4.0) 瓦厚 (3.1)	窯割	布目、ナデ、調整1度	ケズリ、ナデ	ケズリ1度	-	-	粘土層一枚作り	[3] 166:灰 (Δ) 166:灰	書、1～4mmの石灰、黒色を帯び	良好	凸面 工具痕あり
29	82	HC17 第2層	HC17 第2層	不明	不明	長辺 (23.5) 広縁幅(瓦辺) 28.0 瓦厚 (4.5) 瓦厚 (3.3)	窯割	布目、ナデ、調整1度、横溝	ナデ	ケズリ1度	-	-	粘土層一枚作り	[3] 175:1灰 (Δ) 175:1灰	書、1mm以下の石灰、黒色を帯び	良好	裏面 溝しあり 軒出 6cm
40	83	HB18 第2層	HB18 第2層	不明	不明	長辺 (26.5) 広縁幅(瓦辺) [13.0] 瓦厚 (6.5) 瓦厚 (3.4)	窯割	ナデ、調整1度、布目	ナデ	-	-	-	粘土層	[3] 165:灰 (Δ) 165:灰	書、2mm以下の石灰、黒色を帯び	良好	
40	84	HC14 第2層	HC14 第2層	不明	不明	長辺 (28.4) 広縁幅(瓦辺) [11.6] 瓦厚 (7.2) 瓦厚 (3.6)	窯割	布目、布目、布目	ナデ	-	-	-	-	[3] 167:灰白 (Δ) 167:灰	書、0.5～4mmの石灰、黒色を帯び	良好	
40	85	BE13 SF	BE13 SF	不明	不明	長辺 (22.9) 広縁幅(瓦辺) [26.2] 瓦厚 (4.6) 瓦厚 (3.5)	窯割	布目、ナデ、布目、布目	布目、ナデ、布目、ナデ	ケズリ1度	-	ケズリ1度	-一枚作り	[3] 164:灰 (Δ) 164:灰	書、1～4mmの石灰、黒色を帯び	良好	
41	86	CF44 第3層	HF04 第3層	不明	不明	長辺 (21.1) 広縁幅(瓦辺) [24.3] 瓦厚 (6.1) 瓦厚 (2.0)	窯割	布目、布目、布目、布目	布目、ナデ	-	-	-	粘土層一枚作り	[3] 166:灰 (Δ) 166:灰	書、1mm以下の石灰、黒色、赤色、黒色を帯び	良好	IT土かえあり、凸面に赤色が見えており、伊予を模倣してない可能性がある、器用化した作りか
41	87	HC17 第2層	HC17 第2層	不明	不明	長辺 (23.6) 広縁幅(瓦辺) [14.0] 瓦厚 (4.0) 瓦厚 (2.2)	窯割	横方向のナデ、布目、布目、布目、反割り	細いナデ	ケズリ1度	-	-	粘土層	[3] 166:灰 (Δ) 166:灰	書、2mm以下の白色、黒色を帯び	良好	
41	88	DQ12 第3層	DQ12 第3層	不明	不明	長辺 (20.6) 広縁幅(瓦辺) 10.2 瓦厚 (4.0) 瓦厚 (3.0)	窯割	布目、ハケ目	横溝	-	-	-	-	[3] 1016:1灰 (Δ) 1016:1灰	書、0.5～4mm程度の粉粒を帯び	良好	
41	89	JD02 第2層	JD02 第2層	不明	不明	長辺 (25.2) 広縁幅(瓦辺) 25.5 瓦厚 (4.0) 瓦厚 (2.7)	窯割	布目、布目、布目、布目	ナデ	ケズリ2度	ケズリ1度	-	粘土層一枚作り	[3] 166:灰 (Δ) 166:灰	書、1.5mm以下の石灰、4mm以下の石灰を帯び	良好	軒出 6cm
42	90	DA48 南土30 灰黄色粘質土	HW08 SD042 灰黄色粘質土	不明	不明	長辺 (24.6) 広縁幅(瓦辺) [15.5] 瓦厚 (17.2) 瓦厚 (4.2)	窯割	布目、布目、布目	ナデ、平切り、平切り、平切り、平切り	-	-	-	-	[3] 17: 577:1灰白 (Δ) 17: 577:1灰白	書、1～2mmの石灰、黒色を帯び	良好	
42	91	HC13 第3層	HC13 第3層	不明	不明	長辺 (25.2) 広縁幅(瓦辺) [11.6] 瓦厚 (4.0) 瓦厚 (4.0)	窯割	布目、ナデ、調整1度、横溝	ナデ、調整1度、横溝	ケズリ1度	-	-	-	[3] 175:1灰白 (Δ) 175:1灰白	書、5mm以下の粉粒を帯び	良好	鎌倉痕あり
42	92	WC11 南土30 第2層	WC11 SD3000 第2層	不明	不明	長辺 (24.5) 広縁幅(瓦辺) [13.1] 瓦厚 (4.0) 瓦厚 (5.0)	窯割	横方向のナデ、横方向のナデ、横方向のナデ、横方向のナデ	ナデ、調整1度、横溝	ケズリ1度	調整1度	-	-	[3] 17: 577:1灰白 (Δ) 17: 577:1灰白	書、3mm以下の石灰、黒色、赤色を帯び	良好	軒出 7cm
42	93	RM13 南土30 第2層	RM13 SD3000 第2層	不明	不明	長辺 (28.0) 広縁幅(瓦辺) [13.9] 瓦厚 (4.3) 瓦厚 (5.1)	窯割	布目、工、工、工、工	ケズリ	ケズリ2度	-	-	-	[3] 17: 576:1灰 (Δ) 17: 576:1灰	書、2mm以下の石灰、黒色を帯び	良好	軒出 6cm、鎌倉痕あり
42	94	ED13 SD 第2層	ED13 SD0001 第2層	不明	不明	長辺 (28.5) 広縁幅(瓦辺) 26.8 瓦厚 (6.0) 瓦厚 (3.5)	窯割	布目、布目、布目、布目	ナデ、調整1度、横溝	ケズリ1度、調整1度、横溝	-	-	粘土板横溝作り	[3] 165:灰 (Δ) 165:灰	書、1～2mmの石灰、黒色を帯び	良好	

採出 地	採出 番号	次	(取替地) 取り上げ位置	形式	流量(L/min)	種	取替 回数	凸部 形状	側面 形状	底面形状	採替機	注法・集地	色調	粒土	備考	気について
42	95	IS	CR16 SA 灰色粘土	CR16 SA 灰色粘土	SKH01	長辺 15.5 凸部幅 30.0 [22.0] 取替機 - 圧入深 5.6 圧入深 5.6 圧入深 5.6	連続	布目織、 布目織、調 整1度	布目織、 平行凸部 あり、ナ ズ	ケズリ2 度	-	粘土板機 作り	[2017.5/96/2]に 応 、3mm以下の 石を含む	良好		
42	96	IS	CR01 第2層	CR01 第2層	SKH01	長辺 24.0 凸部幅 30.0 [26.0] 取替機 - 圧入深 5.9 圧入深 2.2	連続	布目織、 布目織、ナ ズ、粘土 板機合わせ	ナズ	ケズリ1 度、調整 1度	調整1度	粘土板機 作り	密、4mm以下の 石、5mm以下の 砂を含む	良好		ノコズ、気味 なし。
43	97	IS	不明	不明	SKH01	長辺 41.2 凸部幅 30.0 [25.8] 取替機 25.0 圧入深 26.1 圧入深 6.9 圧入深 3.9	連続	布目織、 布目織、調 整1度	ナズ、整 形ナズ	ケズリ2 度	-	粘土板	やや粗、4mm以 下の石あり、長 石、黄砂、小 石を含む	良好		
43	98	IS	CR01 第2層	CR01 第2層	SKH01	長辺 29.35 凸部幅 30.0 [27.2] 取替機 - 圧入深 6.0 圧入深 3.3	連続	ナズ、調整 1度、機 合、布目 織	ナズ、未 調整	ケズリ1 度	-	粘土板機 作り	密、5mmの石 を含む	良好		反張り、新出 com
44	99	IS	BE02 SF	BE02 SA3001	SKH01	長辺 17.5 凸部幅 30.0 [24.5] 取替機 - 圧入深 5.5 圧入深 3.5	連続	布目織、 調整1度	格子目 織、機 合(機 合)	-	-	粘土板	[2015/8/1]取 替、石を含む	良好		密、1~3mmの石 あり、長石を含む
44	100	IS	JR03 第2層	JR03 第2層	SKH01	長辺 7.5 凸部幅 30.0 [12.0] 取替機 - 圧入深 5.5 圧入深 3.5	連続	ナズ	-	-	-	-	[2017/8/1] 取替、石を含む	良好		密、3mm以下の 石あり、黄 砂を含む
44	101	IS	CR49 第2層	CR49 第2層	SKH02	長辺 24.2 凸部幅 30.0 [17.3] 取替機 - 圧入深 6.2 圧入深 2.9	連続	布目織、 布目織、ナ ズ	ナズ、整 形ナズ	ケズリ2 度	-	-	[2015/8/1]取 替、石を含む	良好		二次調整
44	102	IS	CR03 第2層	CR03 第2層	SKH03	長辺 11.0 凸部幅 30.0 [13.5] 取替機 - 圧入深 5.8 圧入深 3.0	連続	ナズ	ナズ	ナズ	-	-	[2016/6/30] 取替、石を含む	良好		反張り
44	103	IS	CR13 SF 灰色粘土	CR13 SF0019 灰色粘土	SKH03	長辺 18.5 凸部幅 30.0 [13.6] 取替機 - 圧入深 5.9 圧入深 3.1	連続	ナズ、調整 1度	ナズ、ヘ ラケズリ	ケズリ1 度	-	-	[2015/8/1]取 替、石を含む	良好		密、0.5~2mmの 石あり、長石を含む
45	104	IS	読み取り不可 第2層	不明 不明 第2層	SKH03	長辺 28.8 凸部幅 30.0 [27.5] 取替機 26.3 圧入深 6.1 圧入深 3.1	-	ナズ、調整 1度、機 合、布目 織	両押さ え、ナ ズ	ケズリ2 度	-	粘土板機 作り	[2012.5/8/1]取 替、石を含む	良好		密、1~3mmの 砂を含む
46	105	IS	CE33 第2層	CE33 第2層	SKH04	長辺 19.0 凸部幅 30.0 [18.1] 取替機 - 圧入深 6.5 圧入深 3.5	連続	布目織、ケ ズリ、調 整1度	ナズ	-	-	-	[2015/5/1] 取替、石を含む	良好		密、1~3mmの石 あり、長石を含む
46	106	IS	CR02 第2層	CR02 第2層	SKH04	長辺 18.0 凸部幅 30.0 [16.7] 取替機 - 圧入深 6.9 圧入深 3.1	連続	布目織、 布目織、布 目織、ナ ズ	ナズ	ケズリ1 度	-	粘土板機 作り	密、3mm以下の 石あり、長石を含む	良好		密、3mm以下の 石あり、長石を含む
46	107	IS	CR48 SF 灰色粘土土質	CR48 SF0009 灰色粘土土質	SKH05A	長辺 22.5 凸部幅 30.0 [29.0] 取替機 - 圧入深 6.5 圧入深 3.5	-	布目織、調 整1度	ケズリ	-	-	-	[2012.5/9/6/3]取 替、石を含む	良好		密、3mm以下の 石あり、長石を含む
46	108	IS	CR01 瓦型土溝	CR01 瓦型土溝 平野中継	SKH05B	長辺 19.2 凸部幅 30.0 [18.5] 取替機 - 圧入深 6.5 圧入深 2.7	連続	布目織、 布目織、調 整1度	ヘラケズ リ、調整	ケズリ1 度	-	-	[2010/8/2]取 替、石を含む	良好		密、3.5mm以下の 石あり、2.5mm 以下の石を含む
46	109	IS	不明	不明	SKH06	長辺 16.0 凸部幅 30.0 [19.0] 取替機 - 圧入深 8.5 圧入深 5.2 圧入深 5.4	連続	ナズ、布目 織、調整1 度	ナズ	-	-	-	[2016/6/30]取 替、石を含む	良好		密、5mm以下の 石あり、黄砂、赤 色粉を含む
46	110	IS	DS06 第2層	DS06 第2層	SKH06	長辺 17.5 凸部幅 30.0 [20.7] 取替機 - 圧入深 6.9 圧入深 3.5	連続	布目織、ケ ズリ	両押さ え(調整 機)	ケズリ1 度	-	-	[2016/5/1] 取替、石を含む	良好		密、2mm以下の 石あり、長石を含む
47	111	IS	ED14 SD 硬質	ED14 SD001 硬質	SKH07	長辺 16.0 凸部幅 30.0 [16.0] 取替機 - 圧入深 6.2 圧入深 4.3	連続	布目織、 布目織、調 整1度	両押さ え、ナ ズ	ケズリ1 度	-	-	[2012.5/7/1]取 替、石を含む	良好		密、1mm程度の 石あり、長石を含む
47	112	IS	DO08 第3層	DO08 第3層	SKH08	長辺 16.4 凸部幅 30.0 [7.6] 取替機 - 圧入深 4.4 圧入深 2.3	無	布目織	ナズ	ケズリ1 度	-	-	[2010/8/2]に 応 、3mm以下の 石を含む	良好		

調査 番号	地所 番号	次	(遺構等) 取り上げ位置	(遺構等) 取り上げ位置	形式	法量(m)	層	平法の特徴					注法・地色	色調	出土	備考	気づいたこと	
								頂面	凸面	側面	底面	斜面						
47	113	8	F818 - 灰色粘質土	XL16 - 灰色粘質土	SKH8	長辺 14.2 広さ幅(幅) 29.0 底面幅 底面幅 4.5 底面幅 4.0	遺跡	布目織、糸 切り織	ナデ	ナデ	ナデ	-	-	[37] 1: 面白 [37] 1: 面白	底、2m以下の 石灰、長石、赤 色粘土を含む	良		
47	114	8	DK13 SKY 暗褐色土	DK13 SKY124 暗褐色土	SKH8	長辺 13.1 広さ幅(幅) 18.2 底面幅 底面幅 5.5 底面幅 5.3	遺跡	布目織、糸 切り織	ナデ	ナデ	ナデ	-	-	[37] 1: 面白 [37] 1: 面白	底、0.5~2mの 石灰、長石を含む	良		
47	115	8	DQ12 - 第2層	DQ12 - 第2層	SKH10	長辺 12.3 広さ幅(幅) 27.6 底面幅 底面幅 27.2 底面幅 6.5	遺跡	布目織、糸 切り織	ナデ	ナデ	ナデ	-	-	[37] 1: 面白 [37] 1: 面白	底、1m以下の 石灰、長石、赤 色粘土、黒色粘土 を含む	良	遺物多数	
47	116	8	D848 - 第2層	H408 - 第2層	SKH11A	長辺 13.4 広さ幅(幅) 19.2 底面幅 底面幅 8.3 底面幅 8.3	-	-	-	-	-	-	-	横巻作り	中や中、2m以 下の白色粘土を含む	良		
47	117	8	DA65 -	HK05 -	SKH11B	長辺 17.3 広さ幅(幅) 15.3 底面幅 底面幅 4.6 底面幅 4.8	-	-	-	-	-	-	-	[37] 1: 面白 [37] 1: 面白	底、2m以下の 石灰、長石、赤 色粘土を含む	良		
47	118	8	H018 - 第2層	H018 - 第2層	SKH12	長辺 19.3 広さ幅(幅) 26.8 底面幅 底面幅 5.0 底面幅 4.0	遺跡	布目織、糸 切り織、縞 目織	ナデ	ナデ	ナデ	-	-	粘土板	[37] 1: 面白 [37] 1: 面白	底、0.5~2mの 石灰、長石を含む	良	
48	119	8	D503 - 第2層	D503 - 第2層	SKH13	長辺 13.6 広さ幅(幅) 29.8 底面幅 底面幅 6.0 底面幅 4.2	遺跡	布目織、ナ デ	ナデ	ナデ	ナデ	-	-	[37] 1: 面白 [37] 1: 面白	底、1~4mの石 灰、長石を含む	良	群35 5m	
48	120	8	H013 SK 灰色粘土	H013 SK409 灰色粘土	SKH14	長辺 13.2 広さ幅(幅) 16.8 底面幅 底面幅 10.8 底面幅 7.6	遺跡	布目織	ナデ	ナデ	ナデ	-	-	[37] 1: 面白 [37] 1: 面白	中や中、2m以 下の白色粘土を含む	不良		
48	121	8	H013 SK 灰色粘土	H013 SK409 灰色粘土	SKH15	長辺 12.6 広さ幅(幅) 11.5 底面幅 底面幅 11.5 底面幅 5.0	遺跡	ナデ	ナデ	ナデ	ナデ	-	-	[37] 1: 面白 [37] 1: 面白	中や中、1m以 下の白色粘土を含む	良	群35 群35に付	
48	122	8	CR17 - 第2層	CR17 - 第2層	SKH16	長辺 18.9 広さ幅(幅) 27.9 底面幅 底面幅 28.0 底面幅 5.5	遺跡	布目織、糸 切り織、ナ デ	ナデ	ナデ	ナデ	-	-	群35に付 一致作り	[37] 1: 面白 [37] 1: 面白	底、2m以下の 石灰、長石、赤 色粘土、黒色粘土 を含む	良	
48	123	8	DP12 SK 灰色粘土	DP12 SK419 灰色粘土	SKH17	長辺 18.8 広さ幅(幅) 24.9 底面幅 底面幅 22.0 底面幅 4.5~6.5	遺跡	布目織、糸 切り織	ナデ	ナデ	ナデ	-	-	[37] 1: 面白 [37] 1: 面白	底、1m以下の 石灰、長石を含む	良		
48	124	8	IB03 - 第2層	IB03 - 第2層	SKH18	長辺 24.0 広さ幅(幅) 24.0 底面幅 底面幅 11.5 底面幅 5.5	遺跡	布目織	ナデ	ナデ	ナデ	-	-	[37] 1: 面白 [37] 1: 面白	底、2m以下の 石灰、長石、赤 色粘土を含む	良		
48	125	8	DQ14 SK 暗褐色土	DQ14 SK412 暗褐色土	SKH19	長辺 12.4 広さ幅(幅) 14.8 底面幅 底面幅 4.7 底面幅 3.8	遺跡	ナデ	粘土板 粘土板	ナデ	ナデ	-	-	[37] 1: 面白 [37] 1: 面白	底、1~4mの石 灰、長石を含む	良		
48	126	8	DT03 - 第2層	DT03 - 第2層	SKH19	長辺 27.0 広さ幅(幅) 25.0 底面幅 底面幅 25.0 底面幅 5.7	遺跡	布目織	ナデ	群35 群35 (群35)	ナデ	-	-	[37] 1: 面白 [37] 1: 面白	中や中、2m以 下の白色粘土を含む	良		
48	127	8	D500 - 第2層	D500 - 第2層	SKH20	長辺 15.4 広さ幅(幅) 11.0 底面幅 底面幅 11.0 底面幅 5.3	遺跡	布目織	群35 群35 (群35)	ナデ	ナデ	-	-	[37] 1: 面白 [37] 1: 面白	底、2m以下の 石灰、長石を含む	良		
48	128	8	IA07 - 第2層	IA07 - 第2層	SKH21	長辺 27.0 広さ幅(幅) 21.0 底面幅 底面幅 20.0 底面幅 5.0	遺跡	布目織、糸 切り織	ナデ	群35 群35 (群35)	ナデ	-	-	[37] 1: 面白 [37] 1: 面白	底、0.5~2m以 下の石灰、長石 を含む	良		
48	129	8	IB07 - 第2層	IB07 - 第2層	SKH22	長辺 22.0 広さ幅(幅) 19.2 底面幅 底面幅 19.1 底面幅 4.3	遺跡	布目織、ナ デ	粘土板	ナデ	ナデ	-	-	[37] 1: 面白 [37] 1: 面白	底、1m以下の 白色粘土を含む	良		
48	130	8	CB13 - 第2層	CB13 - 第2層	SKH23	長辺 15.5 広さ幅(幅) 22.7 底面幅 底面幅 22.8 底面幅 4.9	遺跡	布目織、ナ デ	ナデ	粘土板	ナデ	-	-	[37] 1: 面白 [37] 1: 面白	底、1m以下の 白色粘土を含む	良		

調査 番号	観測 番号	次	(型埋埋) 掘り上げ位置	(型埋埋) 掘り上げ位置	形式	法量(m)	類	手法の特徴					技法・素材	色調	附之	備後	気づいたこと
								掘削	掘削	掘削	掘削	掘削					
40	121	不明	不明	不明	SK024	盛土 [16.4] 土層埋 [16.7] 土層埋 [16.7] 土層埋 [16.7] 土層埋 [16.7]	土層埋	希目埋、希 目埋	掘削、掘 削	掘削	掘削	掘削	掘削	掘削	掘削	掘削	掘削
40	132	不明	不明	不明	SK025	盛土 [17.4] 土層埋 [16.5] 土層埋 [11.8] 土層埋 [4.0] 土層埋 [2.3]	土層埋	希目埋、ナ ナ	掘削、掘 削	掘削	掘削	掘削	掘削	掘削	掘削	掘削	掘削
50	133	不明	不明	不明	SK026	盛土 [12.5] 土層埋 [16.2] 土層埋 [15.5] 土層埋 [14.0] 土層埋 [1.1]	土層埋	希目埋	掘削	掘削	掘削	掘削	掘削	掘削	掘削	掘削	掘削
50	134	不明	不明	不明	SK027	盛土 [7.8] 土層埋 [16.2] 土層埋 [19.6] 土層埋 [4.5] 土層埋 [1.1]	土層埋	希目埋	掘削、掘 削	掘削	掘削	掘削	掘削	掘削	掘削	掘削	掘削
50	135	不明	不明	不明	SK028	盛土 [16.0] 土層埋 [16.5] 土層埋 [19.0] 土層埋 [4.0] 土層埋 [1.1]	土層埋	ナナ	掘削	掘削	掘削	掘削	掘削	掘削	掘削	掘削	掘削
50	136	不明	不明	不明	SK029	盛土 [16.0] 土層埋 [16.5] 土層埋 [19.0] 土層埋 [4.0] 土層埋 [1.1]	土層埋	ナナ	掘削	掘削	掘削	掘削	掘削	掘削	掘削	掘削	掘削
50	137	不明	不明	不明	SK030	盛土 [7.5] 土層埋 [16.2] 土層埋 [16.7] 土層埋 [4.3] 土層埋 [1.1]	土層埋	希目埋、掘 削	掘削	掘削	掘削	掘削	掘削	掘削	掘削	掘削	掘削
50	138	不明	不明	不明	SK031	盛土 [14.7] 土層埋 [16.5] 土層埋 [14.5] 土層埋 [15.0] 土層埋 [1.1]	土層埋	希目埋	ナナ (掘 削)	掘削	掘削	掘削	掘削	掘削	掘削	掘削	掘削
50	139	不明	不明	不明	SK032	盛土 [14.7] 土層埋 [16.5] 土層埋 [14.5] 土層埋 [15.0] 土層埋 [1.1]	土層埋	ナナ	掘削	掘削	掘削	掘削	掘削	掘削	掘削	掘削	掘削
50	140	不明	不明	不明	SK033	盛土 [14.7] 土層埋 [16.5] 土層埋 [14.5] 土層埋 [15.0] 土層埋 [1.1]	土層埋	希目埋、ナ ナ	掘削、ナ ナ	掘削	掘削	掘削	掘削	掘削	掘削	掘削	掘削
50	141	不明	不明	不明	SK034	盛土 [14.7] 土層埋 [16.5] 土層埋 [14.5] 土層埋 [15.0] 土層埋 [1.1]	土層埋	希目埋	ナナ	掘削	掘削	掘削	掘削	掘削	掘削	掘削	掘削
50	142	不明	不明	不明	SK035	盛土 [12.5] 土層埋 [16.2] 土層埋 [16.7] 土層埋 [4.3] 土層埋 [1.1]	土層埋	希目埋、希 目埋	ナナ	掘削	掘削	掘削	掘削	掘削	掘削	掘削	掘削
50	143	不明	不明	不明	SK036	盛土 [12.5] 土層埋 [16.2] 土層埋 [16.7] 土層埋 [4.3] 土層埋 [1.1]	土層埋	希目埋、ナ ナ	ナナ	掘削	掘削	掘削	掘削	掘削	掘削	掘削	掘削
50	144	不明	不明	不明	SK037	盛土 [19.5] 土層埋 [16.5] 土層埋 [16.7] 土層埋 [4.3] 土層埋 [1.1]	土層埋	ナナ	ナナ	掘削	掘削	掘削	掘削	掘削	掘削	掘削	掘削
51	145	不明	不明	不明	SK038	盛土 [16.1] 土層埋 [16.2] 土層埋 [16.7] 土層埋 [4.3] 土層埋 [1.1]	土層埋	希目埋	ナナ、掘 削	掘削	掘削	掘削	掘削	掘削	掘削	掘削	掘削
51	146	不明	不明	不明	SK039	盛土 [11.0] 土層埋 [16.2] 土層埋 [16.7] 土層埋 [4.3] 土層埋 [1.1]	土層埋	ナナ	ナナ、ナ ナ	掘削	掘削	掘削	掘削	掘削	掘削	掘削	掘削
51	147	不明	不明	不明	SK040	盛土 [14.7] 土層埋 [16.5] 土層埋 [14.5] 土層埋 [15.0] 土層埋 [1.1]	土層埋	ナナ、ナ ナ	ナナ	掘削	掘削	掘削	掘削	掘削	掘削	掘削	掘削
51	148	不明	不明	不明	SK040	盛土 [19.5] 土層埋 [16.5] 土層埋 [16.7] 土層埋 [4.3] 土層埋 [1.1]	土層埋	ナナ	ナナ	掘削	掘削	掘削	掘削	掘削	掘削	掘削	掘削

項目 番号	調査 番号	次	(型模倣) 型上げ位置	(型模倣) 型上げ位置	形式	法量 (cm)	類	平面的特徴					技法・素材	色調	出土	構成	気づいたこと
								凹部	凸部	側面	底面	縁面					
51	149	Ⅱ	D407 SD 灰色粘質土	D407 SD 灰色粘質土	SK048	長さ 15.21 広さ 14.31 底面積 2.1	ナズ	ナズ	-	-	-	-	[2] 746.1 灰 △	やや暗、10mm 下の白色砂利を 含む	Ⅱ	瓦文様・宝珠 文	
51	150	Ⅱ	D409 第2層	H409 第2層	SK049	長さ 112.7 広さ 14.7 底面積 1.7	ナズ	ナズ	-	-	-	-	[2] 745.1 灰 △	底、0.1～3mm 程度の砂利を含む	Ⅱ	瓦文様・十字 文 170段一様	
51	151	Ⅱ	K-16 南館跡南端下 土層より C-100m 附近 C	K-16 南館跡南端下 土層より C-100m 附近 C	SK046	長さ 112.7 広さ 24.5 底面積 1.55	ナズ	植込工具 によるナズ	-	-	-	-	[2] 719.1 灰白 △	底、1mm程度の 白色砂利を含む	Ⅱ	瓦文様・花文 110段半	
51	152	Ⅱ	CR15 第2層	CR15 第2層	SK045	長さ 112.3 広さ 15.1 底面積 1.3	横ナズ	横い縦ナズ	-	-	-	-	[2] 745.1 灰 △ 744.1 灰	横	Ⅱ	瓦紋	
51	152	Ⅱ	CR15 第2層	CR15 第2層	SK045	長さ 112.3 広さ 17 底面積 1.7	ナズ、希目 瓦	ナズ	-	-	-	-	[2] 745.1 灰 △	底、2mm以下の 白色砂利を含む	Ⅱ	瓦文様・花文 170段一様	
51	153	Ⅱ	CR48 第2層	H048 第2層	SK044	長さ 112.3 広さ 13.6 底面積 1.5	横ナズ	ナズ、横 ナズ、ナ ズ	-	-	-	-	[2] 744.1 灰 △ 743.1 灰	底、1mm程度の 黄色砂利を含む	Ⅱ	瓦文様・半 花文	
51	154	Ⅱ	D707 SD 灰色粘質土	D707 SD4003 灰色粘質土	SK046	長さ 112.3 広さ 10.4 底面積 1.0	ナズ	横瓦	-	-	-	-	[2] 745.1 灰 △	底、8mm以下の 砂利を含む	Ⅱ		
51	155	Ⅱ	D007 第2層	D007 第2層	SK046	長さ 112.3 広さ 11.7 底面積 1.6	ナズ	横ナズ	-	-	-	-	[2] 719.1 灰 △	底、2mm程度の 黄色砂利、6mm 程度の白色砂利を 含む	Ⅱ		
52	156	Ⅱ	南館跡南端下 土層より C-100m 附近 の 土	南館跡南端下 土層より C-100m 附近 の 土	SK046	長さ 112.3 広さ 14.5 底面積 1.6	横瓦、横 瓦、横瓦 1段	ナズ、横 ナズ、ナ ズ	ナズ、横 ナズ、ナ ズ	ナズ、横 ナズ、ナ ズ	ナズ、横 ナズ、ナ ズ	ナズ、横 ナズ、ナ ズ	[2] 745.1 灰 △ 744.1 灰	底、1mm以下の 白色砂利を含む	Ⅱ		
52	157	Ⅱ	ZZ -	ZZ -	SK046	長さ 112.3 広さ 8.9 底面積 1.5	横ナズ、ナ ズ	横ナズ、ナ ズ	-	-	-	-	[2] 744.1 灰 △	底	Ⅱ	瓦文様・花文	
52	158	Ⅱ	OR04 第2層	OR04 第2層	SK046	長さ 112.3 広さ 15.2 底面積 1.6	希目横一様 方向のナズ	横瓦、横 瓦、横瓦 1段	ナズ、横 ナズ、ナ ズ	ナズ、横 ナズ、ナ ズ	ナズ、横 ナズ、ナ ズ	ナズ、横 ナズ、ナ ズ	[2] 719.1 灰白 △ 718.1 灰白 △ 717.1 灰白 △	底、3mm以下の 白色砂利、10mm 下の白色砂利、黄 色砂利を含む	Ⅱ	やや 横瓦	平安時代末
52	159	Ⅱ	OR15 第2層	OR15 第2層	SK046	長さ 112.3 広さ 14.5 底面積 1.6	希目横、ナ ズ	横方向の ナズ	-	-	-	-	[2] 745.1 灰 △ 744.1 灰	底、1mm以下の 砂利を含む	Ⅱ	横瓦、砂利	
52	160	Ⅱ	-	-	SK046	長さ 112.3 広さ 12.5 底面積 1.3	希目横	-	-	-	-	-	[2] 747.1 灰白 △ 746.1 灰	底、3mm以下の 石瓦、長石を含む	Ⅱ		
52	161	Ⅱ	ZZ -	ZZ -	SK046	長さ 112.3 広さ 14.5 底面積 1.6	希目横	-	-	-	-	-	[2] 719.1 灰白 △ 718.1 灰白 △ 717.1 灰白 △	底、1mm以下の 砂利を含む	Ⅱ		
52	162	Ⅱ	-	-	SK046	長さ 112.3 広さ 17.6 底面積 1.6	ナズ	-	-	-	-	-	[2] 744.1 灰 △ 743.1 灰白 △ 742.1 灰白 △	底、3mm以下の 石瓦、長石、黄 色砂利を含む	Ⅱ		
52	163	Ⅱ	E-2 第4層	E-2 第4層	SK046	長さ 112.3 広さ 18.7 底面積 1.7	横瓦	-	-	-	-	-	[2] 719.1 灰白 △ 718.1 灰白 △ 717.1 灰白 △	底、4mm以下の 石瓦、長石、黄 色砂利を含む	Ⅱ		
52	164	Ⅱ	D506 第2層	D506 第2層	SK046	長さ 112.3 広さ 10.5 底面積 1.1	ナズ	ナズ	-	-	-	-	[2] 719.1 灰白 △ 718.1 灰白 △ 717.1 灰白 △	底、3mm以下の 石瓦、長石、黄 色砂利を含む	Ⅱ		
52	165	Ⅱ	-	-	SK046	長さ 112.3 広さ 17.3 底面積 1.7	ナズ	ナズ	-	-	-	-	[2] 719.1 灰白 △	底、0.1～3mm 程度の砂利を含む	Ⅱ	横瓦、 瓦紋	

男瓦

調査 番号	発掘 番号	次	位置情報		注意(寸法)	手法の特徴					技法・発地	色調	土質	構成 要素	気づいたこと	
			掘り上げ位置	掘り下げ位置		凹部	凸部	調整	広幅部	調整部						
57	166	10	P006 第2層	P006 第2層	長辺 [22.1] 広域幅 [短辺] - 短域幅 [2.5] 厚さ厚 2.0 土質長 3.5 土質高 1.5 連絡距離 1.5	布目織、糸切 り織	ナギ、角折 り	ケズリ度	-	-	-	粘土板	[短]N7/灰白 [凸]N7/灰白	黄、5.5mm以下の 石灰、灰石を含む	良好	技法B 玉縁あり
57	167	10	D507 第2層	D507 第2層	長辺 [16.3] 広域幅 [短辺] [12.7] 短域幅 [2.5] 厚さ厚 [2.5] 土質長 5.0 土質高 1.7 連絡距離 1.7	布目織、糸切 り織、ケズリ 度	ナギ、ケズリ 度	ケズリ度	-	-	-	-	[短]N6/灰 [凸]N6/灰	黄	良好	玉縁あり 粘土板の裏 ね、埋合痕 あり
57	168	14	OA46 第3層	H006 第3層	長辺 33.0 広域幅 [短辺] [12.7] 短域幅 - 厚さ厚 2.5 土質長 5.5 土質高 1.5 連絡距離 -	糸切り→布目 織、ヘラ切 り、縦じり織	縦じり→ナギ	-	-	-	-	-	[短]N6/灰 [凸]-	黄、1~4mm程度 の白色砂粉を含む	良	
58	169	10	IC02 第2層	IC02 第2層	長辺 [22.1] 広域幅 [短辺] [13.0] 短域幅 - 厚さ厚 2.1 土質長 4.0 土質高 1.7 連絡距離 1.7	布目織、調整 1度	ナギ	ケズリ度	-	-	ケズリ	-	[短]N7/灰白 [凸]N7/灰白	黄、4mm以下の石 灰、灰石を含む	良好	玉縁あり 玉縁中世 瓦2枚
58	170	10	HC18 第2層	HC18 第2層	長辺 34.5 広域幅 [短辺] [15.0] 短域幅 13.0 厚さ厚 1.9 土質長 4.0 土質高 1.8 連絡距離 1.8	布目織、糸切 り織、調整 1度	ナギ	ケズリ度	ケズリ度	-	調整あり	-	[短]2.5/1/灰白 [凸]2.5/1/灰白	黄、2mm以下の石 灰、灰石、赤色 砂粉、黒色砂粉を含む	良好	
59	171	10	HC02 第2層	HC02 第2層	長辺 27.7 広域幅 [短辺] [17.5] 短域幅 13.0 厚さ厚 1.8 土質長 4.0 土質高 1.3 連絡距離 1.3	布目織、糸切 り織、調整 1度	縦じりナギ	ケズリ度	ケズリ度	-	粘土板	-	[短]N6/灰 [凸]N6/灰	黄、0.5~1mmの 石灰、灰石を含む	良	
59	172	14	CH48 第2層	H008 第2層	長辺 34.4 広域幅 [短辺] [17.2] 短域幅 13.5 厚さ厚 2.2 土質長 3.5 土質高 1.5 連絡距離 -	糸切り→布目 織	縦じりナギ、横 方向ナギ	-	-	-	-	-	[短]10/10/3/調整 [凸]-	やや黄、1~2mm 程度の白色砂 粉、赤色砂粉を含む	不良	行書特有
60	173	10	IC02 第2層	IC02 第2層	長辺 31.0 広域幅 [短辺] 16.3 短域幅 13.5 厚さ厚 2.1 土質長 4.5 土質高 1.5 連絡距離 1.5	布目織、粘土 板付化布目 織、糸切り 織、調整1度	縦方向のナギ	ケズリ度	ケズリ度	ケズリ度	粘土板横断 り	-	[短]7.5/1/灰白 [凸]7.5/1/灰白	黄、4mm以下の石 灰を含む	良好	
60	174	14	CG48 第2層	H008 第2層	長辺 33.0 広域幅 [短辺] 14.0 短域幅 13.5 厚さ厚 2.1 土質長 5.5 土質高 1.5 連絡距離 -	糸切り、ヘラ 切り→布目 織	縦じりナギ、ナ ギ	-	-	-	-	-	[短]N6/灰 [凸]-	やや黄、1~2mm 程度の白色砂粉 を含む		
61	175	10	HC18 第2層	HC18 第2層	長辺 [19.0] 広域幅 [短辺] - 短域幅 14.0 厚さ厚 2.5 土質長 4.0 土質高 1.5 連絡距離 1.5	布目織	ナギ	ケズリ度	-	-	-	-	[短]N6/灰 [凸]N6/灰	黄、0.5~1mmの 石灰、灰石を含む	良	技法A
61	176	10	DP01 第2層	DP01 第2層	長辺 [26.3] 広域幅 [短辺] [15.0] 短域幅 14.0 厚さ厚 1.5 土質長 4.0 土質高 1.5 連絡距離 -	布目織	縦じりナギ、ナ ギ	-	-	-	-	-	[短]N6/灰 [凸]-	黄、0.5mm以下の 白色砂粉、赤色 砂粉を含む		
62	177	10	HC01 第2層	HC01 第2層	長辺 33.0 広域幅 [短辺] 15.0 短域幅 14.0 厚さ厚 3.0 土質長 4.0 土質高 1.5 連絡距離 -	糸切り→布目 織	縦じりナギ、ナ ギ	-	-	-	-	-	[短]2.5/1/灰白 [凸]-	黄、1~4mm程度 の白色砂粉、黒 色砂粉を含む	良	
62	178	14	CG3 第2層	HE13 第2層	長辺 [12.5] 広域幅 [短辺] - 短域幅 14.0 厚さ厚 1.7 土質長 4.5 土質高 1.5 連絡距離 1.5	布目織	ナギ	ケズリ	-	-	-	-	[短]7.5/1/灰白 [凸]7.5/1/灰白	黄、0.5~1mmの 石灰を含む	良	
62	179	14	CG3 第2層	HJ13 第2層	長辺 [18.3] 広域幅 [短辺] 14.0 短域幅 14.0 厚さ厚 2.4 土質長 4.4 土質高 1.6 連絡距離 1.6	糸切り織、布 目織	ナギ	ケズリ度	-	-	-	粘土板	[短]2.5/1/灰白 [凸]2.5/1/灰白	黄、5mm以下の石 灰、赤色砂粉を含む	良好	
63	180	14	CE12 第2層	HE12 第2層	長辺 [14.0] 広域幅 [短辺] - 短域幅 [14.0] 厚さ厚 2.1 土質長 4.1 土質高 1.4 連絡距離 1.4	布目織、横糸 織	ナギ	分散無調整	-	-	-	粘土板横断 り	[短]5/1/灰白 [凸]5/1/灰白	黄、10mm以下の 小石を含む	良好	技法C
63	181	10	JA09 第2層	JA09 第2層	長辺 [17.4] 広域幅 [短辺] - 短域幅 [14.0] 厚さ厚 2.5 土質長 4.5 土質高 2.0 連絡距離 2.0	布目織、ナ ギ、ヘラ切 り	ナギ	無調整	-	-	布目織、横 断、無調整	粘土板横断 り	[短]2.5/1/灰白 [凸]2.5/1/灰白	黄、4mm以下の 石灰を含む	良好	技法A
63	182	10	JA05 第2層	JA05 第2層	長辺 31.0 広域幅 [短辺] [14.0] 短域幅 14.0 厚さ厚 2.0 土質長 5.0 土質高 1.6 連絡距離 1.6	布目織、布目 織又は横、糸切 り織、調整 1度	ナギ	無調整、分散 調整	-	-	-	粘土板横断 り	[短]10/6/1灰 [凸]10/6/1灰	黄、2mm以下の石 灰を含む	良好	
64	183	14	OA49 第2層	H009 第2層	長辺 [26.7] 広域幅 [短辺] - 短域幅 14.0 厚さ厚 2.1 土質長 5.5 土質高 1.5 連絡距離 1.5	布目織	ナギ	ケズリ	-	-	ケズリ度	-	[短]2.5/1/灰白 [凸]2.5/1/灰白	黄、0.5~2mmの 石灰、灰石を含む		
64	184	10	JA02 第2層	JA02 第2層	長辺 34.1 広域幅 [短辺] 16.5 短域幅 14.5 厚さ厚 2.5 土質長 3.5 土質高 1.5 連絡距離 -	布目織、ケズ リ	縦じりナギ、ナ ギ、ヘラ切 り	-	-	-	-	-	[短]N6/灰 [凸]-	やや黄、1~2mm 程度の白色砂粉 を含む	良	

項目 番号	調査 番号	次	(型別)	(型別)	位置	平面的特徴					技法・素材	色調	出土	備考	写真	
						正面	背面	側面	底面	狭面						
65	185	第1期	BD4	BD4	長辺 15.0 広域部(短辺) 15.1 狭域部 14.8 玉縁長 1.6 玉縁高 1.5 通縁部長 1.5	布目織	ナデ	反摺	ケズリ度	ケズリ度	-	-	[図] 1087/1(長辺) [図] 1087/1(短辺)	黒、1～5mmの石炭・黒石を含む	黒	技法A
			BD4	第2期												
65	186	第2期	CD17	CD17	長辺 12.7 広域部(短辺) 12.7 狭域部 12.0 玉縁長 3.2 玉縁高 1.7 通縁部長 1.7	布目織	ナデ	折押き	ケズリ度	-	-	-	[図] 1071/1(長辺) [図] 1071/1(短辺)	黒、3mm以下の石炭・黒石・赤色石を含む	黒	良好
			第2期	第2期												
65	187	第3期	CD48	CD48	長辺 32.0 広域部(短辺) 32.0 狭域部 15.0 玉縁長 2.2 玉縁高 1.5 通縁部長 1.5	布目織、布目織、布目織	ナデ	反摺	ケズリ度	ケズリ度	-	粘土板焼色作り	[図] 1067/1(長辺) [図] 1067/1(短辺)	黒、6mm以下の石炭を含む	黒	良好
			第2期	第2期												
66	188	第4期	DR19	DR19	長辺 31.8 広域部(短辺) 31.8 狭域部 15.0 玉縁長 2.0 玉縁高 1.5 通縁部長 1.7	布目織、分断織・通縁部ナデ、通縁部ナデ	ナデ	ナデ	ケズリ度	ケズリ度	-	-	[図] 1067/1(長辺) [図] 1067/1(短辺)	黒、1～3mmの石炭・黒石を含む	黒	良好
			第4期	第4期												
66	189	第5期	A3	A-3	長辺 32.0 広域部(短辺) 32.0 狭域部 15.0 玉縁長 2.2 玉縁高 1.5 通縁部長 1.7	布目織、粘土板合わせ目織	ナデ	-	ケズリ	無調整	ケズリ	粘土板焼色作り	[図] 1067/1(長辺) [図] 1067/1(短辺)	黒、6mm以下の石炭・黒石を含む	黒	良好
			第5期	第5期												
67	190	第6期	EB18	EB18	長辺 15.5 広域部(短辺) 15.7 狭域部 13.0 玉縁長 2.0 玉縁高 1.5 通縁部長 1.5	布目織、布目織、ナデ	ナデ	ナデ	ケズリ度	ケズリ度	-	粘土板	[図] 2.576/2(長辺) [図] 2.576/2(短辺)	黒、1～4mmの石炭を含む	黒	技法A
			第2期	第2期												
67	191	第7期	HC16	HC16	長辺 32.0 広域部(短辺) 32.0 狭域部 15.5 玉縁長 2.0 玉縁高 1.6 通縁部長 1.6	布目織、布目織、布目織	ナデ	ナデ	ケズリ	-	ケズリ度	-	[図] 1071/1(長辺) [図] 1071/1(短辺)	黒、0.5～2mmの石炭・黒石を含む	黒	良好
			第2期	第2期												
68	192	第8期	BA18	BA18	長辺 32.0 広域部(短辺) 32.0 狭域部 15.5 玉縁長 2.0 玉縁高 1.8 通縁部長 1.7	布目織、布目織、布目織	ナデ	折押き、ナデ	ケズリ度	ケズリ度	-	粘土板	[図] 2.576/2(長辺) [図] 2.576/2(短辺)	黒、4mm以下の石炭・黒石を含む	黒	良好
			第8期	第8期												
68	193	第9期	BA18	BA18	長辺 31.6 広域部(短辺) 31.7 狭域部 15.0 玉縁長 1.8 玉縁高 1.5 通縁部長 1.5	布目織、布目織、布目織	ナデ	折押き	ケズリ度	ケズリ度	-	-	[図] 1071/1(長辺) [図] 1071/1(短辺)	黒、1～2mm程度の白色砂粉を含む	黒	良好
			第9期	第9期												
69	194	第10期	B3	B-3	長辺 32.0 広域部(短辺) 32.0 狭域部 15.0 玉縁長 2.0 玉縁高 1.5 通縁部長 1.5	布目織、布目織、布目織	ナデ	ナデ	ケズリ度	調整・無調整	-	粘土板焼色作り	[図] 2.577/1(長辺) [図] 2.577/1(短辺)	黒、3mm以下の石炭・赤色石・黒色石を含む	黒	良好
			第10期	第10期												
69	195	第11期	A3	A-3	長辺 32.0 広域部(短辺) 32.0 狭域部 15.5 玉縁長 2.0 玉縁高 1.6 通縁部長 1.6	布目織、布目織、布目織	ナデ	反摺	ケズリ	ケズリ度	ケズリ度	粘土板焼色作り	[図] 1071/1(長辺) [図] 1071/1(短辺)	黒、0.3～2mmの石炭・黒石を含む	黒	良好
			第11期	第11期												
70	196	第12期	DG10	DG10	長辺 32.0 広域部(短辺) 32.0 狭域部 15.5 玉縁長 2.2 玉縁高 1.5 通縁部長 1.6	ナデ	ナデ	ナデ	ケズリ度	ケズリ度	-	調整型一本作り	[図] 1071/1(長辺) [図] 1071/1(短辺)	黒、2.5mm以下の石炭を含む	黒	一木作り型・側面布目織・瓦目無調整
			第12期	第12期												
70	197	第13期	CH46	CH46	長辺 33.1 広域部(短辺) 33.2 狭域部 16.0 玉縁長 2.4 玉縁高 1.0 通縁部長 1.0	布目織、布目織、布目織	ナデ	折押き	ケズリ度	ケズリ度	-	-	[図] 1067/1(長辺) [図] 1067/1(短辺)	黒、1～2mm程度の白色砂粉を含む	黒	良好
			第13期	第13期												
71	198	第14期	EO14	EO14	長辺 30.0 広域部(短辺) 30.0 狭域部 16.0 玉縁長 2.0 玉縁高 1.0 通縁部長 1.7	布目織	ナデ	ナデ	ケズリ	分断	-	-	[図] 1071/1(長辺) [図] 1071/1(短辺)	黒、0.5～2mmの石炭・黒石を含む	黒	凸面側から分断織
			第14期	第14期												
71	199	第15期	DR14	DR14	長辺 31.5 広域部(短辺) 31.6 狭域部 16.0 玉縁長 2.0 玉縁高 1.0 通縁部長 1.7	布目織、布目織、布目織	ナデ	ナデ	ケズリ度	ケズリ度	-	焼色作り	[図] 1067/1(長辺) [図] 1067/1(短辺)	黒、7mm以下の砂粉を含む	黒	良好
			第2期	第2期												
72	200	第16期	DT08	DT08	長辺 32.0 広域部(短辺) 32.0 狭域部 16.0 玉縁長 2.0 玉縁高 1.5 通縁部長 1.5	布目織	ナデ	折押き	ケズリ度	ケズリ度	ケズリ度	粘土板焼色作り	[図] 1067/1(長辺) [図] 1067/1(短辺)	黒、8mm以下の石炭・黒石を含む	黒	良好
			第2期	第2期												
72	201	第17期	OE32	OE32	長辺 32.0 広域部(短辺) 32.0 狭域部 16.0 玉縁長 2.4 玉縁高 1.0 通縁部長 1.5	布目織	ナデ	折押き	無調整	分断	-	-	[図] 1067/1(長辺) [図] 1067/1(短辺)	黒、4mm以下の石炭・2mmの砂粉を含む	黒	技法A
			第17期	第17期												
73	202	第18期	A3	A-3	長辺 32.0 広域部(短辺) 32.0 狭域部 16.0 玉縁長 2.0 玉縁高 1.0 通縁部長 1.7	布目織、布目織	ナデ	反摺	ケズリ	-	-	粘土板焼色作り	[図] 1067/1(長辺) [図] 1067/1(短辺)	黒、0.5～2mmの石炭・黒石を含む	黒	良好
			第18期	第18期												
73	203	第19期	EO14	EO14	長辺 32.0 広域部(短辺) 32.0 狭域部 16.0 玉縁長 2.2 玉縁高 1.5 通縁部長 1.5	布目織、布目織、布目織	ナデ	ナデ	ケズリ度	ケズリ度	-	-	[図] 1067/1(長辺) [図] 1067/1(短辺)	黒、5mm以下の石炭・4mm以下の石炭を含む	黒	良好
			第19期	第19期												

観客席 番号	観客席 番号	次	（音源別）		音量(dB)	手法上の特徴					技法・奏法	色調	脚土	構成	実況した人	
			聴り上げ位置	聴り下がり位置		距離	距離	距離	距離	距離						
74	204	83	A3 第3編	A-3 第3編	長さ 33.6 二重編組 [10.2] 18.9 演奏幅 16.0 五線長 3.2 五線長 5.5 連続演奏 -	右切り→右音 速	ナゾ	-	-	-	-	[譜] 100% 両白 [△]	やや暗、1~8m 程度の白色砂粉、黒 色砂粉を含む	良		
74	205	83	A3 第3編	A-3 第3編	長さ 33.6 二重編組 [10.2] 18.3 演奏幅 16.0 五線長 3.4 五線長 5.5 連続演奏 -	右切り→右音 速、速切り	緩めき→ナゾ	-	-	-	-	[譜] 100% 2に多い 黄砂	やや暗、2m以下 の白色砂粉、8m 以下の白色砂粉を含 む	不良		
75	206	83	AF18 第5編	AF18 第5編	長さ 30.2 二重編組 [10.2] 17.6 演奏幅 17.0 五線長 2.9 五線長 5.0 連続演奏 -	右切り→右音 速	緩ナゾ	-	-	-	-	[譜] 100% 3に多い [△]	やや暗	良	付着物あり	
75	207	84	CE44 第2編	HE08 第2編	長さ 33.3 二重編組 [10.2] [15.3] 演奏幅 17.5 五線長 4.6 五線長 6.0 連続演奏 2.0	右音速	ナゾ	ケズリ1度	-	-	-	[譜] 100% 1反白 [△] 100% 1反白	音、6m以下の石 灰・白色砂粉を含む	良	技法A	
75	208	86	JA03 第2編	JA03 第2編	長さ [9.5] 二重編組 [6.0] 演奏幅 16.0 五線長 3.5 五線長 1.5	右音速	ナゾ	ケズリ1度	-	-	-	[譜] 10% 両 [△] 10% 両	音、7m以下の石 灰・白色砂粉を含む	良好	技法B	
76	209	86	DG12 第2編	DG12 第2編	長さ [27.5] 二重編組 [14.1] 演奏幅 13.3 五線長 1.7 五線長 4.0 連続演奏 1.2	右音速	ナゾ	無調整、分割 調整	-	-	-	粘土板橋機作 り	音、0.5~3m以下の 石灰・黒石を含む	良	技法B	
76	210	86	DM01 第2編	DM01 第2編	長さ 31.4 二重編組 [13.0] 演奏幅 13.3 五線長 1.7 五線長 4.0 連続演奏 1.3	右音速、調整 1度	ナゾ	ケズリ2度	無調整	-	-	[譜] 100% 両 [△] 100% 両	音、7m以下の石 灰・黒石を含む	良		
76	211	84	DB32 SK 演奏機用 土	HL12 SK017 演奏機用 土	長さ [4.5] 二重編組 [14.0] 演奏幅 13.3 五線長 2.4 五線長 1.5 連続演奏 1.0	右音速	ナゾ	ケズリ	-	-	-	一本作り	音、0.5~3mの 石灰を含む	良	技法B	
76	212	85	OR15 カ・C組	OR15 カ・C組	長さ [14.0] 二重編組 [10.0] 演奏幅 13.3 五線長 2.9 五線長 1.9 連続演奏 1.4	右音速、緩方 向のナゾ、緩方 向の斜いナゾ	ナゾ	ケズリ	-	-	-	[譜] 2 3/4 1反白 [△] 2 3/4 1反白	音、6m以下の石 灰・黒石・黄色 砂粉を含む	良	大	
77	213	85	OT01 第2編	OT01 第2編	長さ 31.9 二重編組 [10.2] 15.2 演奏幅 15.0 五線長 2.1 五線長 5.5 連続演奏 -	右音速	緩ナゾ	-	-	-	-	粘土板橋機作 (一木) 作り	[譜] 100% 2に多い 黄砂	やや暗、1m程度 の白色砂粉、黒 色砂粉を含む	不良	行楽B
77	214	85	OT01 第2編	OT01 第2編	長さ 30.8 二重編組 [10.2] 13.1 演奏幅 15.0 五線長 1.9 五線長 5.5 連続演奏 -	右音速、右切 り速、ナゾ	ナゾ	-	-	-	-	粘土板橋機作 (一木) 作り	やや暗、1~2m 程度の白色砂粉 を含む	良	行楽A	
78	215	86	DG10 第2編	DG10 第2編	長さ [21.3] 二重編組 [14.7] 演奏幅 13.3 五線長 2.7 五線長 5.5 連続演奏 -	右音速、右切 り速	ナゾ、緩めき 調整あり	ケズリ1度	無調整	-	-	[譜] 100% 両 [△] 100% 両	音、5m以下の石 灰・黒石を含む	良	行楽B 凸凹調整に 関しては音 つけたよう な気がある	
78	216	83	B3 第5編	B-3 第5編	長さ 34.4 二重編組 [10.2] 15.2 演奏幅 16.0 五線長 1.7 五線長 5.5 連続演奏 -	右切り→右音 速	緩めき→ナゾ	-	-	-	-	[譜] 100% 4に多い 黄砂	音、1~5m程度 の白色砂粉、黒 色砂粉を含む	行楽C		
79	217	85	PG09 第3編	PG09 第3編	長さ 33.4 二重編組 [10.2] 17.1 演奏幅 16.0 五線長 2.4 五線長 5.5 連続演奏 -	右切り→右音 速	緩ナゾ	-	-	-	-	[譜] 10% 両 [△]	やや暗、1~2m 程度の白色砂粉 を含む	良	行楽C	
79	218	85	BQ01 -	BQ01 -	長さ [74.0] 二重編組 [15.5] 演奏幅 15.0 五線長 2.0 五線長 5.5 連続演奏 -	右音速、両か がりり速、右切 り速	ヘラケズリ、 ナゾ、緩方 向のナゾ	ケズリ1度	粘土土	-	-	[譜] 100% 4度黄砂 [△] 100% 4度黄砂	音、7m以下の石 灰・3m以下の石 灰・黒石を含む	行楽C 凸凹アヘ ラ音		
79	219	85	HA16 第2編	HA16 第2編	長さ [10.0] 二重編組 [7.35] 演奏幅 15.0 五線長 2.1 五線長 5.5 連続演奏 -	右音速	様子不明 (注釈あり)	ケズリ1度	-	-	-	粘土板橋機作 り	音、6m以下の石 灰・黒石・白色 砂粉を含む	良好	行楽式	
79	220	84	EE12 SD 演奏機	KE33 SD3001 演奏機	長さ [16.0] 二重編組 [7.0] 演奏幅 16.0 五線長 2.0 五線長 5.5 連続演奏 -	右音速	平行引き音 (平行キ)	ヘラミガキ	ケズリ1度	-	-	[譜] 10% 両 [△] 10% 両	音、3m以下の石 灰を含む	良	行楽式	

女瓦

図説	所在地	次	(遺構前)	(遺構後)	位置	手造りの特徴	技法・地味	色調	胎土	構成	実寸(上・下)			
図説	所在地	次	図1	図2	位置	手造りの特徴	技法・地味	色調	胎土	構成	実寸(上・下)			
80	221	Ⅱ	JAO3 第1層	JA03 第2層	長辺(19.7) 広縁幅(30.2)→ 狭縁幅(21.4) 女瓦厚 2.4	布目直	椅子叩き歯 (正椅子A)	ケズリ	-	-	粘土結作り	[図2] 2.5/19.1(白) [図1] 2.5/19.1(白)	黄、3mm以下の石 質・黒石を含む	良好
80	222	Ⅱ	HA18 第1層	HA18 第2層	長辺(10.5) 広縁幅(30.2)→ 狭縁幅(21.4) 女瓦厚 2.4	布目直、横目 直、調整1度	椅子叩き歯 (正椅子A)	ケズリ1度	ケズリ1度	-	粘土結焼 作り	[図2] 1.6/16.1(灰) [図1] 1.6/16.1(灰)	黄、4.5mm以下の石 質・黒石・赤砂 を含む	良好
80	223	Ⅱ	OT07 第1層	OT07 第2層	長辺(10.6) 広縁幅(30.2)→ 狭縁幅(21.4) 女瓦厚 2.1	布目直	椅子叩き歯 (正椅子A)	本調整、分 割	ケズリ1度	-	粘土結焼 作り	[図2] 2.5/17.1(白) [図1] 2.5/17.1(白)	黄、4mm以下の石 質・黒石・赤砂 含む、黒色粒を含む	良好
80	224	Ⅱ	DQ11 第1層	DQ11 第2層	長辺(18.0) 広縁幅(30.2)→ 狭縁幅(21.4) 女瓦厚 2.3	布目直	椅子叩き歯 (正椅子A) →ナズ	ケズリ	-	ケズリ	粘土結作り	[図2] 2.5/17.2(灰) [図1] 2.5/17.2(灰)	黄、1mm程度の石 質・黒石を含む	良好
80	225	Ⅱ	OL08 第1層	OL08 第2層	長辺(21.1) 広縁幅(30.2)→ 狭縁幅(21.4) 女瓦厚 2.4	布目直、調整 1度、調整2度	椅子叩き歯 (正椅子A)	ケズリ1度	-	ケズリ1度	粘土結作り	[図2] 1.0/10.1(白) [図1] 1.0/10.1(白)	黄、5mm以下の石 質・黒石・赤砂 を含む	良好
80	226	Ⅱ	OT05 第1層	OT05 第2層	長辺(18.5) 広縁幅(30.2)→ 狭縁幅(21.4) 女瓦厚 2.8	布目直→ナ ズ、調整1度	椅子叩き歯 (正椅子A)	ケズリ1度	-	-	-	[図2] 2.5/17.1(白) [図1] 2.5/17.1(白)	黄、5mm以下の石 質・黒石・赤砂 を含む	良好
80	227	Ⅱ	OT06 第1層	OT06 第2層	長辺(18.2) 広縁幅(30.2)→ 狭縁幅(21.4) 女瓦厚 2.1	布目直、横目 直、調整1度	椅子叩き歯 (正椅子A)	ケズリ1度	-	ケズリ1度	粘土結	[図2] 1.0/10.1(白) [図1] 1.0/10.1(白)	黄、1mm以下の石 質・赤色粒を含む	良好
80	228	Ⅱ	EP13 第1層	KF13 第2層	長辺(14.2) 広縁幅(30.2)→ 狭縁幅(21.4) 女瓦厚 2.4	布目直	椅子叩き歯 (正椅子A)	ケズリ	ケズリ1度	-	粘土焼 作り	[図2] 5.5/16.1(灰) [図1] 5.5/16.1(灰)	黄、1-5mmの石 質・黒石を含む	良
81	229	Ⅱ	CO45 第1層	CO45 第2層	長辺(18.6) 広縁幅(30.2)→ 狭縁幅(21.4) 女瓦厚 2.6	布目直→ナ ズ、調整1度	椅子叩き歯 (正椅子A)	布目直、ケ ズリ1度	-	一枚作り	-	[図2] 1.0/10.1(灰) [図1] 1.0/10.1(灰)	黄、3mm以下の石 質・黒石を含む	良好
81	230	Ⅱ	ZZ 第1層	ZZ 第2層	長辺(17.2) 広縁幅(30.2)→ 狭縁幅(21.4) 女瓦厚 2.5	布目直、横目 直、調整1度	椅子叩き歯 (正椅子A)	ケズリ1度	-	調整1度、ケ ズリ1度	粘土結	[図2] 2.5/16.1(白) [図1] 2.5/16.1(白)	黄、1.5mm以下の石 質・黒石・赤砂 含む、黒色粒・赤 砂を含む	良好
81	231	Ⅱ	OA48 第1層	OK09 第2層	長辺(22.0) 広縁幅(30.2)→ 狭縁幅(21.4) 女瓦厚 2.4	布目直、調整 1度	椅子叩き歯 (正椅子A)	ケズリ1度	ケズリ1度	-	-	[図2] 5.5/16.1(灰) [図1] 5.5/16.1(灰)	黄、4mm以下の石 質・黒石を含む	良好
81	232	Ⅱ	OA47 第1層	OK07 第2層	長辺(16.5) 広縁幅(30.2)→ 狭縁幅(21.4) 女瓦厚 2.3	布目直、ケズ リ1度	椅子叩き歯 (正椅子A)	ケズリ1度	-	ケズリ1度	-	[図2] 1.0/10.1(灰) [図1] 1.0/10.1(灰)	黄、3mm以下の石 質・黒石を含む	良好
81	233	Ⅱ	OA49 第1層	OA49 第2層	長辺(14.0) 広縁幅(30.2)→ 狭縁幅(21.4) 女瓦厚 2.5	布目直、高切 り直、調整1度	斜椅子叩き歯 (正椅子C)	ケズリ2度	ケズリ1度	-	-	[図2] 5.7/17.1(白) [図1] 5.7/17.1(白)	黄、3mm以下の石 質・黒石を含む	良好
81	234	Ⅱ	OA49 第1層	OA49 第2層	長辺(18.5) 広縁幅(30.2)→ 狭縁幅(21.4) 女瓦厚 2.4	布目直、高切 り直、調整1度	椅子叩き歯 (正椅子A)	ケズリ1度	-	ケズリ1度	粘土結作り	[図2] 2.5/16.1(白) [図1] 2.5/16.1(白)	黄、3mm以下の石 質・2mm以下の砂 を含む	良
82	235	Ⅱ	JA05 第1層	JA05 第2層	長辺(18.2) 広縁幅(30.2)→ 狭縁幅(21.4) 女瓦厚 2.1	布目直、ナ ズ、調整1度	椅子叩き歯 (正椅子A)	ケズリ1度	ケズリ1度	-	-	[図2] 1.6/16.1(灰) [図1] 1.6/16.1(灰)	黄、3mm以下の石 質・黒石を含む	良好
82	236	Ⅱ	CE30 第1層	HE10 第2層	長辺(17.1) 広縁幅(30.2)→ 狭縁幅(21.4) 女瓦厚 2.3	布目直、ナズ	椅子叩き歯 (正椅子A)	ケズリ1度	-	-	-	[図2] 1.6/16.1(灰) [図1] 1.6/16.1(灰)	黄、0.3-2mmの石 質を含む	良
82	237	Ⅱ	OL49 第1層	OL49 第2層	長辺(22.4) 広縁幅(30.2)→ 狭縁幅(21.4) 女瓦厚 2.1	本調整	椅子叩き歯 (正椅子A)	ケズリ1度	-	-	-	[図2] 1.5/16.1(灰) [図1] 1.5/16.1(灰)	黄、3mm以下の石 質・黒石を含む	良
82	238	Ⅱ	OL49 第1層	OL49 第2層	長辺(19.6) 広縁幅(30.2)→ 狭縁幅(21.4) 女瓦厚 2.2	布目直、調整 1度	椅子叩き歯 (正椅子A)	-	ケズリ1度	-	-	[図2] 1.6/16.1(灰) [図1] 1.6/16.1(灰)	黄、3mm以下の石 質・砂を含む	良好
82	239	Ⅱ	EC13 第1層	EC13 第2層	長辺(19.7) 広縁幅(30.2)→ 狭縁幅(21.4) 女瓦厚 2.4	布目直	椅子叩き歯 (正椅子A)	-	-	-	-	[図2] 2.5/19.1(白) [図1] 2.5/19.1(白)	黄、1mm以下の白色 粒を含む	良
82	240	Ⅱ	WC11 第1層	WC11 第2層	長辺(21.1) 広縁幅(30.2)→ 狭縁幅(21.4) 女瓦厚 2.1	布目直、高切 り直、調整1度	椅子叩き歯 (正椅子A) →ナズ	ケズリ	ケズリ1度	-	粘土結	[図2] 2.5/17.1(白) [図1] 2.5/17.1(白)	黄、1-6mmの石 質・黒石を含む	良
82	241	Ⅱ	OL48 第1層	OL48 第2層	長辺(18.0) 広縁幅(30.2)→ 狭縁幅(21.4) 女瓦厚 2.3	布目直	椅子叩き歯 (正椅子A)	-	ケズリ1度	-	-	[図2] 5.7/17.1(白) [図1] 5.7/17.1(白)	黄、6mm以下の砂 を含む	良好
83	242	Ⅱ	KO02 第1層	KO02 第2層	長辺(22.7) 広縁幅(30.2)→ 狭縁幅(21.4) 女瓦厚 2.5	布目直、高切 り直、調整1度	椅子叩き歯 (正椅子A)	ケズリ1度	ケズリ1度	-	粘土結	[図2] 2.5/17.1(白) [図1] 2.5/17.1(白)	黄、3mm以下の砂 を含む	良
83	243	Ⅱ	ER07 第1層	ER07 第2層	長辺(18.8) 広縁幅(30.2)→ 狭縁幅(21.4) 女瓦厚 1.7	布目直、高切 り直、調整1度	椅子叩き歯 (正椅子A)	ケズリ1度	-	-	粘土結	[図2] 2.5/17.1(白) [図1] 2.5/17.1(白)	黄、3mm以下の石 質・黒石を含む	良好
83	244	Ⅱ	ZZ 第1層	ZZ 第2層	長辺(11.2) 広縁幅(30.2)→ 狭縁幅(21.4) 女瓦厚 2.1	高切り直、高 切り直	椅子叩き歯 (正椅子A)	ケズリ1度	ケズリ1度	-	-	[図2] 1.0/10.1(灰) [図1] 1.0/10.1(灰)	黄、4mm以下の石 質・黒石を含む	良好
83	245	Ⅱ	HE13 第1層	HE13 第2層	長辺(15.2) 広縁幅(30.2)→ 狭縁幅(21.4) 女瓦厚 2.1	布目直、調整 1度	椅子叩き歯 (正椅子A) →ナズ	ケズリ1度	ケズリ1度	-	一枚作り	[図2] 1.5/16.1(灰) [図1] 1.5/16.1(灰)	黄、3mm以下の石 質・黒石を含む	良好
83	246	Ⅱ	DO18 第1層	DO18 第2層	長辺(21.1) 広縁幅(30.2)→ 狭縁幅(21.4) 女瓦厚 2.1	布目直、高切 り直	椅子叩き歯 (正椅子A) →ナズ	ケズリ1度	ケズリ1度	ケズリ1度	-	[図2] 5.7/17.1(白) [図1] 5.7/17.1(白)	黄、0.3-2mmの石 質を含む	良
84	247	Ⅱ	OP12 第1層	OP12 第2層	長辺(15.4) 広縁幅(30.2)→ 狭縁幅(21.4) 女瓦厚 2.1	布目直、高切 り直	椅子叩き歯 (正椅子A)	ケズリ1度	-	-	粘土結	[図2] 2.5/16.1(白) [図1] 2.5/16.1(白)	黄、3mm以下の石 質・赤色粒を含む	良好
84	248	Ⅱ	EP13 第1層	KJ13 第2層	長辺(18.0) 広縁幅(30.2)→ 狭縁幅(21.4) 女瓦厚 2.9	ナズ、布目 直、粘土結 作り	椅子叩き歯 (正椅子A) →ナズ	ケズリ2度	-	一枚作り	-	[図2] 1.0/10.1(灰) [図1] 1.0/10.1(灰)	黄、3mm以下の石 質・3mm以下の石 質を含む	良

[illegible]

墳墓番号 番号	次	(型別)	(型別)	位置(方位)	面積(m ²)	平面的特徴					技法・装飾	色調	出土	調査	実寸(長さ)
						四角	六角	八角	三角形	特殊形					
90-277	84	CG45	H005	第1期	長辺 114.1 短辺 70.0 面積 7,911.1 土厚 1.9	ナズ・布目 織、調整1度	赤切り、赤 子切、赤 子切	ナズリ1度	-	ナズリ1度	粘土板	[B] 7.187/1灰白 [Δ] 7.187/2灰白	黒、3cm以下の石 ・赤石を巻く	良好	
90-278	84	CG45	H006	第2期	長辺 111.2 短辺 70.0 面積 7,784.0 土厚 2.2	ナズ、赤切り 織、調整1度	赤切り赤 子切、赤 子切	ナズリ2度	-	ナズリ1度	-	[B] 6.186/1灰 [Δ] 6.186/2灰	黒、3cm以下の石 ・赤石を巻く	良好	
90-279	84	CG12	H012	第2期	長辺 113.0 短辺 70.0 面積 7,910.0 土厚 2.2	赤切り、ナズ 織、調整1度	赤切り赤 子切、赤 子切	ナズリ1度	-	-	-	[B] 6.186/1灰 [Δ] 6.186/2灰	黒、6.5cm以下の石 ・赤石、赤 子切、赤石を巻く	良好	
90-280	84	CG14	H014	第2期	長辺 121.4 短辺 70.0 面積 8,538.0 土厚 1.9	赤切り、ナズ 織、調整1度	赤切り赤 子切、赤 子切	ナズリ1度	-	-	-	[B] 6.186/1灰 [Δ] 6.186/2灰	黒、4cm以下の石 ・赤石を巻く	良好	
90-281	84	CG17	H017	第2期	長辺 110.0 短辺 70.0 面積 7,700.0 土厚 2.4	赤切り、ナズ 織、調整1度	赤切り赤 子切、赤 子切	ナズリ1度	-	-	-	[B] 7.187/1灰白 [Δ] 7.187/2灰白	黒、3.5cm以下の石 ・赤石、赤 子切、赤石を巻く	良好	
91-282	84	CG18	H018	第2期	長辺 115.0 短辺 70.0 面積 8,050.0 土厚 1.5	赤切り、ナズ 織、調整1度	赤切り赤 子切、赤 子切	ナズリ1度	-	-	-	[B] 7.187/1灰白 [Δ] 7.187/2灰白	黒、3cm以下の石 ・赤石を巻く	良好	
91-283	84	CG18	H018	第2期	長辺 115.0 短辺 70.0 面積 8,050.0 土厚 1.9	赤切り、ナズ 織、調整1度	赤切り赤 子切、赤 子切	ナズリ1度	-	-	-	[B] 7.187/1灰白 [Δ] 7.187/2灰白	黒、3cm以下の石 ・赤石、赤 子切、赤石を巻く	良好	
91-284	84	CG18	H018	第2期	長辺 115.0 短辺 70.0 面積 8,050.0 土厚 2.3	赤切り、ナズ 織、調整1度	赤切り赤 子切、赤 子切	ナズリ1度	-	-	-	[B] 7.187/1灰白 [Δ] 7.187/2灰白	黒、5cm以下の石 ・赤石、赤 子切、赤石を巻く	良好	
91-285	84	CG18	H018	第2期	長辺 115.0 短辺 70.0 面積 8,050.0 土厚 2.3	赤切り、ナズ 織、調整1度	赤切り赤 子切、赤 子切	ナズリ1度	-	-	-	[B] 7.187/1灰白 [Δ] 7.187/2灰白	黒、5cm以下の石 ・赤石、赤 子切、赤石を巻く	良好	
92-286	84	CG18	H018	第2期	長辺 115.0 短辺 70.0 面積 8,050.0 土厚 2.3	赤切り、ナズ 織、調整1度	赤切り赤 子切、赤 子切	ナズリ1度	-	-	-	[B] 7.187/1灰白 [Δ] 7.187/2灰白	黒、3cm以下の石 ・赤石、赤 子切、赤石を巻く	良好	
92-287	84	CG18	H018	第2期	長辺 115.0 短辺 70.0 面積 8,050.0 土厚 2.3	赤切り、ナズ 織、調整1度	赤切り赤 子切、赤 子切	ナズリ1度	-	-	-	[B] 7.187/1灰白 [Δ] 7.187/2灰白	黒、3.5cm以下の石 ・赤石、赤 子切、赤石を巻く	良好	
92-288	84	CG18	H018	第2期	長辺 115.0 短辺 70.0 面積 8,050.0 土厚 2.3	赤切り、ナズ 織、調整1度	赤切り赤 子切、赤 子切	ナズリ1度	-	-	-	[B] 7.187/1灰白 [Δ] 7.187/2灰白	黒、4cm以下の石 ・赤石、赤 子切、赤石を巻く	良好	
92-289	84	CG18	H018	第2期	長辺 115.0 短辺 70.0 面積 8,050.0 土厚 2.0	赤切り、ナズ 織、調整1度	赤切り赤 子切、赤 子切	ナズリ1度	-	-	-	[B] 7.187/1灰白 [Δ] 7.187/2灰白	黒、3cm以下の石 ・赤石、赤 子切、赤石を巻く	良好	
92-290	84	CG18	H018	第2期	長辺 115.0 短辺 70.0 面積 8,050.0 土厚 2.4	赤切り、ナズ 織、調整1度	赤切り赤 子切、赤 子切	ナズリ1度	-	-	-	[B] 7.187/1灰白 [Δ] 7.187/2灰白	黒、3cm以下の石 ・赤石、赤 子切、赤石を巻く	良好	
92-291	84	CG18	H018	第2期	長辺 115.0 短辺 70.0 面積 8,050.0 土厚 2.3	赤切り、ナズ 織、調整1度	赤切り赤 子切、赤 子切	ナズリ1度	-	-	-	[B] 7.187/1灰白 [Δ] 7.187/2灰白	黒、1～5cmの石 ・赤石を巻く	良好	
92-292	84	CG18	H018	第2期	長辺 115.0 短辺 70.0 面積 8,050.0 土厚 2.4	赤切り、ナズ 織、調整1度	赤切り赤 子切、赤 子切	ナズリ1度	-	-	-	[B] 7.187/1灰白 [Δ] 7.187/2灰白	黒、3cm以下の石 ・赤石、赤 子切、赤石を巻く	良好	
92-293	84	CG18	H018	第2期	長辺 115.0 短辺 70.0 面積 8,050.0 土厚 2.4	赤切り、ナズ 織、調整1度	赤切り赤 子切、赤 子切	ナズリ1度	-	-	-	[B] 7.187/1灰白 [Δ] 7.187/2灰白	黒、1～5cmの石 ・赤石を巻く	良好	
92-294	84	CG18	H018	第2期	長辺 115.0 短辺 70.0 面積 8,050.0 土厚 1.8	赤切り、ナズ 織、調整1度	赤切り赤 子切、赤 子切	ナズリ1度	-	-	-	[B] 6.186/1灰 [Δ] 6.186/2灰	黒、4cm以下の石 ・赤石を巻く	良好	
92-295	84	CG18	H018	第2期	長辺 115.0 短辺 70.0 面積 8,050.0 土厚 2.0	赤切り、ナズ 織、調整1度	赤切り赤 子切、赤 子切	ナズリ1度	-	-	-	[B] 7.187/1灰白 [Δ] 7.187/2灰白	黒、3cm以下の石 ・赤石、赤 子切、赤石を巻く	良好	
92-296	84	CG18	H018	第2期	長辺 115.0 短辺 70.0 面積 8,050.0 土厚 2.1	赤切り、ナズ 織、調整1度	赤切り赤 子切、赤 子切	ナズリ1度	-	-	-	[B] 7.187/1灰白 [Δ] 7.187/2灰白	黒、1～4cmの石 ・赤石を巻く	良好	
92-297	84	CG18	H018	第2期	長辺 115.0 短辺 70.0 面積 8,050.0 土厚 2.2	赤切り、ナズ 織、調整1度	赤切り赤 子切、赤 子切	ナズリ1度	-	-	-	[B] 6.186/1灰 [Δ] 6.186/2灰	黒、0.5～2cmの石 ・赤石を巻く	良好	
92-298	84	CG18	H018	第2期	長辺 115.0 短辺 70.0 面積 8,050.0 土厚 2.2	赤切り、ナズ 織、調整1度	赤切り赤 子切、赤 子切	ナズリ1度	-	-	-	[B] 7.187/1灰白 [Δ] 7.187/2灰白	黒、4cm以下の石 ・赤石、赤 子切、赤石を巻く	良好	
92-299	84	CG18	H018	第2期	長辺 115.0 短辺 70.0 面積 8,050.0 土厚 2.3	赤切り、ナズ 織、調整1度	赤切り赤 子切、赤 子切	ナズリ1度	-	-	-	[B] 7.187/1灰白 [Δ] 7.187/2灰白	黒、5cm以下の石 ・赤石、赤 子切、赤石を巻く	良好	
92-300	84	CG18	H018	第2期	長辺 115.0 短辺 70.0 面積 8,050.0 土厚 2.4	赤切り、ナズ 織、調整1度	赤切り赤 子切、赤 子切	ナズリ1度	-	-	-	[B] 7.187/1灰白 [Δ] 7.187/2灰白	黒、1～3cmの石 ・赤石、赤 子切、赤石を巻く	良好	
92-301	84	CG18	H018	第2期	長辺 115.0 短辺 70.0 面積 8,050.0 土厚 2.3	赤切り、ナズ 織、調整1度	赤切り赤 子切、赤 子切	ナズリ1度	-	-	-	[B] 7.187/1灰白 [Δ] 7.187/2灰白	黒、3cm以下の石 ・赤石、赤 子切、赤石を巻く	良好	
92-302	84	CG18	H018	第2期	長辺 115.0 短辺 70.0 面積 8,050.0 土厚 2.3	赤切り、ナズ 織、調整1度	赤切り赤 子切、赤 子切	ナズリ1度	-	-	-	[B] 7.187/1灰白 [Δ] 7.187/2灰白	黒、3cm以下の石 ・赤石、赤 子切、赤石を巻く	良好	
92-303	84	CG18	H018	第2期	長辺 115.0 短辺 70.0 面積 8,050.0 土厚 1.9	赤切り、ナズ 織、調整1度	赤切り赤 子切、赤 子切	ナズリ1度	-	-	-	[B] 6.186/1灰 [Δ] 6.186/2灰	黒、3cm以下の石 ・赤石、赤 子切、赤石を巻く	良好	
92-304	84	CG18	H018	第2期	長辺 115.0 短辺 70.0 面積 8,050.0 土厚 2.3	赤切り、ナズ 織、調整1度	赤切り赤 子切、赤 子切	ナズリ1度	-	-	-	[B] 7.187/1灰白 [Δ] 7.187/2灰白	黒、3cm以下の石 ・赤石、赤 子切、赤石を巻く	良好	

観測 番号	観測 地点	次	〔監視前〕 観測上げ位置	〔監視後〕 観測上げ位置	位置(°)	手法の特徴					観測・実地	色調	粘土	備考	気づいたこと
						距離	距離	距離	距離	距離					
99	305	83	0701 第1層	0701 第2層	長辺 19.41 広域幅(短辺) 1.0 狭域幅(短辺) 2.2	布目織、ナ ザリ、ナ ザリ	縦切糸織(縦 織)・ナ ザリ	布目織、ナ ザリ	ナ ザリ	ナ ザリ	縦土織一枚 作り	[07] 515/灰白 [Δ] 7.515/灰白	黄、4mm以下の石 灰・長石を含む	良好	
99	306	83	0803 第1層	0803 第2層	長辺 33.7 広域幅(短辺) 27.8 狭域幅(短辺) 2.0	布目織、糸切 り織、ヘラ切 り織	縦切糸織(縦 織)	布目織、ナ ザリ	ナ ザリ	ナ ザリ	縦土織一枚 作り	[08] 600/灰 [Δ] 6.600/灰	黄、1~4mmの長石 を含む	良好	
100	307	83	0909 第1層	0909 第2層	長辺 28.00 広域幅(短辺) 23.2 狭域幅(短辺) 3.1	布目織、糸切 り織	縦切糸織(縦 織)	布目織、ナ ザリ	ナ ザリ	ナ ザリ	縦土織一枚 作り	[09] 600/灰 [Δ] 6.600/灰	黄、3mm以下の石 灰・長石を含む	良好	
100	308	83	0911 第1層	0911 第2層	長辺 25.5 広域幅(短辺) 19.41 狭域幅(短辺) 2.4	布目織、ナ ザリ、糸切 り織	縦切糸織(縦 織)	布目織、ナ ザリ	ナ ザリ	ナ ザリ	縦土織一枚 作り	[09] 517/灰白 [Δ] 5.17/灰白	黄、3mm以下の石 灰・長石を含む	良好	
101	309	84	0103 第1層	0103 第2層	長辺 22.5 広域幅(短辺) 18.8 狭域幅(短辺) 2.4	布目織、糸切 り織	縦切糸織(縦 織)	布目織、ナ ザリ	ナ ザリ	ナ ザリ	縦土織一枚 作り	[01] 600/灰 [Δ] 6.600/灰	黄、1~4mmの石 灰・長石を含む	良好	
101	310	84	0201 内側互利の 第1層	0201 内側互利の 第2層	長辺 22.5 広域幅(短辺) 25.5 狭域幅(短辺) 2.4	コビキ、布 目織	縦切糸織(縦 織)	布目織、ナ ザリ	ナ ザリ	ナ ザリ	縦土織一枚 作り	[02] 600/灰白 [Δ] 6.600/灰白	黄、砂粒を少量含 む	良好	
102	311	83	0303 第1層	0303 第2層	長辺 32.4 広域幅(短辺) 24.4 狭域幅(短辺) 1.0	布目織、糸切 り織、横巻 織、調子 織	縦切糸織(縦 織)・横巻 織・調子 織	布目織、ナ ザリ	ナ ザリ	ナ ザリ	縦土織一枚 作り	[03] 600/灰白 [Δ] 6.600/灰白	黄、5mm以下の石 灰・長石・赤色粒 を含む	良好	
102	312	83	0317 第1層	0317 第2層	長辺 24.5 広域幅(短辺) 16.0 狭域幅(短辺) 2.4	布目織、糸切 り織	縦切糸織(縦 織)	布目織、ナ ザリ	ナ ザリ	ナ ザリ	縦土織一枚 作り	[03] 600/灰 [Δ] 6.600/灰	黄、3mm以下の石 灰・長石を含む	良好	
103	313	83	0303 第1層	0303 第2層	長辺 17.5 広域幅(短辺) 19.41 狭域幅(短辺) 2.9	布目織	縦切糸織(縦 織)	布目織、ナ ザリ、タ タタ切り止 し、糸調 子、バリ あり	ナ ザリ	ナ ザリ	縦土織一枚 作り	[03] 517/灰白 [Δ] 5.17/灰白	黄、4mm以下の石 灰・長石・赤色粒 を含む	良好	
103	314	83	0306 第1層	0306 第2層	長辺 12.7 広域幅(短辺) 12.5 狭域幅(短辺) 2.3	布目織、調 子織、ヘラ 切り織	縦切糸織(縦 織)・ナ ザリ	布目織、調 子織、ヘラ 切り織	ナ ザリ	ナ ザリ	縦土織一枚 作り	[03] 600/灰白 [Δ] 6.600/灰白	黄、3mm以下の石 灰・長石を含む	良好	
103	315	83	0402 第1層	0402 第2層	長辺 34.1 広域幅(短辺) 25.5 狭域幅(短辺) 2.6	布目織、ナ ザリ	縦切糸織(縦 織)	布目織、ナ ザリ	ナ ザリ	ナ ザリ	縦土織一枚 作り	[04] 600/灰白 [Δ] 6.600/灰白	黄、1.5mm以下の石 灰・長石を含む	良好	
104	316	83	0403 第1層	0403 第2層	長辺 36.0 広域幅(短辺) 24.8 狭域幅(短辺) 2.7	布目織、糸切 り織	縦切糸織(縦 織)	布目織、ナ ザリ	ナ ザリ	ナ ザリ	縦土織一枚 作り	[04] 517/灰白 [Δ] 5.17/灰白	黄、4mm以下の石 灰・長石を含む	良好	
104	317	83	0401 第1層	0401 第2層	長辺 30.7 広域幅(短辺) 21.6 狭域幅(短辺) 1.7	布目織、調 子織	縦切糸織(縦 織)・文字 1~2	布目織、ナ ザリ	ナ ザリ	ナ ザリ	縦土織一枚 作り	[04] 600/灰 [Δ] 6.600/灰	黄、3mm以下の石 灰・長石・赤色粒 を含む	良好	成層面の確認
105	318	83	0708 第1層	0708 第2層	長辺 14.4 広域幅(短辺) 13.4 狭域幅(短辺) 2.5	布目織	縦切糸織(縦 織)	布目織、糸 切り止し、糸 調子	ナ ザリ	ナ ザリ	縦土織一枚 作り	[07] 517/灰白 [Δ] 5.17/灰白	黄、4mm以下の石 灰・長石を含む	良好	
105	319	不明	不明	不明	長辺 17.5 広域幅(短辺) 13.4 狭域幅(短辺) 2.5	布目織	縦切糸織(縦 織)	布目織、糸 切り止し、糸 調子	ナ ザリ	ナ ザリ	縦土織一枚 作り	[07] 517/灰白 [Δ] 5.17/灰白	黄、4mm以下の石 灰・長石を含む	良好	
105	320	不明	不明	不明	長辺 25.4 広域幅(短辺) 24.5 狭域幅(短辺) 2.1	布目織	縦切糸織(縦 織)	布目織、糸 切り止し、糸 調子	ナ ザリ	ナ ザリ	縦土織一枚 作り	[05] 600/2にふい き調子 [Δ] 6.000/2にふい き調子	黄、3mm以下の石 灰・長石を含む	良好	
106	321	83	0414 第1層	0414 第2層	長辺 14.4 広域幅(短辺) 14.4 狭域幅(短辺) 1.9	布目織、糸切 り織、調子 織	縦切糸織(縦 織)	布目織、ナ ザリ	ナ ザリ	ナ ザリ	縦土織一枚 作り	[04] 518/灰白 [Δ] 5.18/灰白	黄、3mm以下の石 灰・長石を含む	良好	
106	322	不明	不明	不明	長辺 19.9 広域幅(短辺) 19.9 狭域幅(短辺) 2.6	布目織、ナ ザリ	縦切糸織(縦 織)	布目織、ナ ザリ	ナ ザリ	ナ ザリ	縦土織一枚 作り	[06] 7.518/灰白 [Δ] 7.518/灰白	黄、3mm以下の石 灰・長石を含む	良好	
106	323	83	0701 第1層	0701 第2層	長辺 21.2 広域幅(短辺) 19.41 狭域幅(短辺) 2.9	布目織	縦切糸織(縦 織)	布目織、ナ ザリ	ナ ザリ	ナ ザリ	縦土織一枚 作り	[07] 518/灰白 [Δ] 5.18/灰白	黄、3mm以下の石 灰・長石を含む	良好	
106	324	不明	不明	不明	長辺 20.4 広域幅(短辺) 15.9 狭域幅(短辺) 2.5	布目織	縦切糸織(縦 織)	布目織、ナ ザリ	ナ ザリ	ナ ザリ	縦土織一枚 作り	[06] 600/灰 [Δ] 6.600/灰	黄、5mm以下の石 灰・長石を含む	良好	
107	325	83	0803 第1層	0803 第2層	長辺 14.4 広域幅(短辺) 11.3 狭域幅(短辺) 1.6	布目織	縦切糸織(縦 織)	布目織、ナ ザリ	ナ ザリ	ナ ザリ	縦土織一枚 作り	[08] 600/灰 [Δ] 6.600/灰	黄、3mm以下の石 灰・長石を含む	良好	
107	326	83	0804 第1層	0804 第2層	長辺 10.5 広域幅(短辺) 8.3 狭域幅(短辺) 2.3	布目織	縦切糸織(縦 織)	布目織、ナ ザリ	ナ ザリ	ナ ザリ	縦土織一枚 作り	[08] 517/灰白 [Δ] 5.17/灰白	黄、3mm以下の石 灰・長石・赤色粒 を含む	良好	
107	327	83	0807 第1層	0807 第2層	長辺 12.1 広域幅(短辺) 11.6 狭域幅(短辺) 2.1	布目織、ヘラ 切り織	縦切糸織(縦 織)	布目織、ナ ザリ	ナ ザリ	ナ ザリ	縦土織一枚 作り	[08] 517/灰白 [Δ] 5.17/灰白	黄、0.5~4mmの石 灰・長石を含む	良好	
107	328	83	0807 第1層	0807 第2層	長辺 18.2 広域幅(短辺) 17.5 狭域幅(短辺) 1.7	ナザ、調子 織、糸切 り織	縦切糸織(縦 織)	布目織、ナ ザリ	ナ ザリ	ナ ザリ	縦土織一枚 作り	[08] 600/灰白 [Δ] 6.600/灰白	黄、3mm以下の石 灰・長石・赤色粒 を含む	良好	
107	329	83	0202 第1層	0202 第2層	長辺 15.9 広域幅(短辺) 23.0 狭域幅(短辺) 2.1	布目織、糸切 り織、横巻 織、横巻止 め織	縦切糸織(縦 織)	布目織、ナ ザリ	ナ ザリ	ナ ザリ	縦土織一枚 作り	[02] 518/2にふい き調子 [Δ] 5.18/2にふい き調子	黄、0.5~1mmの石 灰・長石を含む	良好	
107	330	83	0214 第1層	0214 第2層	長辺 22.2 広域幅(短辺) 17.9 狭域幅(短辺) 2.2	布目織、糸切 り織、調子 織	縦切糸織(縦 織)	布目織、ナ ザリ	ナ ザリ	ナ ザリ	縦土織一枚 作り	[02] 518/灰白 [Δ] 5.18/灰白	黄、3mm以下の石 灰・長石・赤色粒 を含む	良好	
108	331	83	0801 第1層	0801 第2層	長辺 29.5 広域幅(短辺) 24.0 狭域幅(短辺) 1.7	布目織、調 子織、ナ ザリ	縦切糸織(縦 織)	布目織、ナ ザリ	ナ ザリ	ナ ザリ	縦土織一枚 作り	[08] 518/2にふい き調子 [Δ] 5.18/2にふい き調子	黄、4mm以下の石 灰・長石・赤色粒 を含む	良好	白磁種子 研出

道具瓦 1) 鬼瓦

緑田 番号	報告 番号	次	(整理前) 取り上げ位置	(整理後) 取り上げ位置	寸法(mm)	平法の特徴			技法・装地	色調	胎土	構成	気づいたこと
						外面/断面	内面/凸面	側面					
109	332	84	CE47 第3層	H407 第3層	長幅 [21.8] 短幅 [21.9] 厚さ 7.1	-	ナデ	-	2枚の粘土板装 用か?	[D] 灰白色 [△] -	軽黄、石灰・長石を少 量含む	良好	平城式
109	333	86	OR44 SD03 第2層基色粘質土	OR44 SD03 第2層基色粘質土	長幅 [29.2] 短幅 [17.5] 厚さ 7.8	-	ナデ	縦方向のナ デ (ケズリ)	-	[D] - [△] -	やや暗、長石・黒褐色 砂粒を多量に含む	良好	平城式
109	334	80	-	不明	長幅 [27.3] 短幅 [18.0] 厚さ 8.0	-	ナデ	縦方向のナ デ	3枚の粘土板装 用か?	[D] 灰褐色 [△] -	やや暗、石灰・長石を 多量に含む	良好	平城式 外縁 張り付け
109	335	88	OG14 DP25 第2層黒色粘質土	OG14 DP25 第2層黒色粘質土	長幅 [19.4] 短幅 [12.4] 厚さ 7.4	ナデ、ハク リ	-	-	-	[D] 10YR6/2灰白 [△] 10YR6/2灰白	黄、0.5～2mmの石灰・ 長石を含む	良好	平城式 層孔あり
109	336	84	CE48 第3層	HE08 第3層	長幅 [14.4] 短幅 [10.3] 厚さ 7.4	ナデ	-	ナデ	-	[D] 2.5Y7/1灰白 [△] 2.5Y7/1灰白	黄、0.3～2mmの石灰・ 長石を含む	良好	平城式 接合部あり
109	337	91	WA10 赤黒大溝 第2層基色粘質土	WA10 SD0010 第2層基色粘質土	長幅 [25.1] 短幅 [11.5] 厚さ 7.2	-	-	ナデ、ハラ ケズリ	-	[D] 2.5Y6/1黄灰 [△] 2.5Y6/1黄灰	黄、0.5～2mmの石灰・ 長石を含む	良好	平城式 接合部あり
109	338	86	OR44 第3層	OR44 第3層	長幅 [22.5] 短幅 [14.2] 厚さ 8.0	ケズリ1度、 ナデ	ナデ、工具 痕あり	ナデ	-	[D] 10YR6/2黄褐色 [△] 10YR6/2黄褐色	黄、3mm以下の砂粒を 含む	良好	平城式 接合部あり
109	339	不明	-	不明	長幅 [12.6] 短幅 [10.4] 厚さ 4.1	ナデ	ナデ	ナデ	-	[D] 5Y6/1 [△] 5Y6/1	黄、4mm以下の砂粒を 含む	良好	接合部あり
110	340	86	DM09 基色粘質土	DM09 黒褐色土	長幅 [10.5] 短幅 [10.0] 厚さ 3.7	ナデ	-	-	-	[H] 5Y6/1 [△] 5Y6/1	黄、2mm以下の白色砂 粒を含む	良好	本貫通の円孔1ヶ
110	341	85	IC00 第2層	IC00 第2層	長幅 [16.4] 短幅 [14.5] 厚さ 6.8	ハケ、ケズ リ	ハケ、ナデ	-	-	[H] 7.5Y6/1 [△] 7.5Y6/1	黄、1mm程度の白色砂 粒・赤色を含む	良好	本貫通の円孔1ヶ
110	342	85	IB02 第2層	IB02 第2層	長幅 [16.2] 短幅 [15.4] 厚さ 5.7	ナデ、工具 痕、摩滅	ハクリ	ケズリ	-	[D] 5Y6/1灰白 [△] 5Y6/1灰白	黄、1mm以下の長石・ 赤色を含む	良好	
110	343	不明	-	不明	長幅 - 短幅 - 厚さ [4.0]	ナデ	ハラケズリ ナデ	-	-	[H] 5Y6/1 [△] -	黄、3mm以下の白色砂 粒・赤色を含む。3mm以 下の層を含む	良好	
110	344	85	IB06 第2層	IB06 第2層	長幅 [17.5] 短幅 [12.1] 厚さ 4.3	ケズリ	ナデ、ナ デ	-	-	[H] 5Y6/1 [△] -	やや暗、1～5mm程度の 白色砂粒を含む	良好	
110	345	85	DT09 第2層	DT09 第2層	長幅 [22.5] 短幅 [18.8] 厚さ 5.4	糸切り痕	-	-	-	[H] 5Y6/1 [△] -	やや暗、1～2mm程度の 白色砂粒を含む	良好	
110	346	85	IB03 第2層	IB03 第2層	長幅 [18.9] 短幅 [16.5] 厚さ 2.65	ナデ	-	-	-	[H] 5Y6/1 [△] -	黄、1mm程度の白色砂 粒・赤色を含む	良好	
111	347	85	HE13 DE 灰色粘土	HE13 DE0011 灰色粘土	長幅 [16.2] 短幅 [14.0] 厚さ 5.2	-	縦いナデ	-	-	[H] 5Y6/1 [△] -	黄	良好	
111	348	不明	-	不明	長幅 [17.5] 短幅 - 厚さ [14.8]	-	-	-	-	[H] 5Y6/1 [△] -	黄、1mm以下の白色砂 粒を含む	良好	
111	349	85	DT09 第2層	DT09 第2層	長幅 [14.0] 短幅 - 厚さ [7.4]	ナデ	ナデ	-	-	[H] 5Y6/1 [△] -	黄、1mm以下の白色砂 粒・黒色砂粒を含む	良好	
111	350	85	IB06 第2層	IB06 第2層	長幅 [17.7] 短幅 - 厚さ -	ナデ	ナデ	-	-	[H] 5Y6/1 [△] -	黄、1～2mm程度の白色 砂粒・赤色を含む	良好	
111	351	85	IB03 第2層	IB03 第2層	長幅 8.5 短幅 [11.9] 厚さ 4.5	ナデ	ナデ	-	-	[H] 5Y6/1 [△] -	黄、3mm以下の白色砂 粒を含む	良好	
111	352	不明	-	不明	長幅 [12.8] 短幅 [9.8] 厚さ -	ケズリ、穴	ケズリ	-	-	[H] 7Y7/1灰白 [△] 7Y7/1灰白	やや暗、0.5～1mm以下 の白色砂粒を含む	良好	
111	353	85	CR18 第2層	CR18 第2層	長幅 [13.45] 短幅 [11.1] 厚さ [5.2]	ナデ、ケズ リ	ナデ	-	-	[H] 5Y6/1 [△] 5Y6/1	黄、3mm以下の白色砂 粒を含む	良好	
111	354	84	CE52 第2層	HE12 第2層	長幅 [19.3] 短幅 [10.8] 厚さ [4.5]	ハクリ	ナデ	ナデ	-	[D] 5Y6/1灰白 [△] 5Y6/1灰白	黄、5mm以下の長石・ 赤色を含む	良好	

2) 熨斗瓦

緑田 番号	報告 番号	次	(整理前) 取り上げ位置	(整理後) 取り上げ位置	寸法(mm)	平法の特徴					技法・装地	色調	胎土	構成	気づいたこと
						外面	凸面	側面	底面	側面					
112	355	84	CE33 第2層	HE13 第2層	長辺 [9.2] 広幅幅 [10.5] 厚さ [2.5]	布目織	縦切糸織	ケズリ1度	-	-	-	[D] 5Y6/1 [△] 5Y6/1	黄、3mm以下の 砂粒を含む	良好	
112	356	85	DT09 第2層	DT09 第2層	長辺 [15.6] 二幅幅 [10.4] 厚さ 1.7	布目織、横糸織	縦切糸織、ナ デ	ケズリ	ケズリ1度	-	横糸織	[D] 5Y6/1 [△] 5Y6/1	黄、0.5～2mmの 石灰を含む	良好	
112	357	85	HE13 SE中	HE13 SE0019	長辺 [18.0] 二幅幅 [14.5] 厚幅 [2.5] 厚さ 2.5	布目織、糸切り 痕、縦糸織、 粘土板装用	縦切糸織、縦 切糸織	ケズリ1度	ケズリ1度	-	粘土板装 用	[D] 5Y6/1 [△] 5Y6/1	黄、3mm以下の 石灰を含む	良好	
112	358	84	WA11 第2層	WA11 第2層	長辺 [24.2] 広幅幅 [11.5] 厚さ 1.8	布目織、糸切り 痕	布目織、糸切り 痕	ケズリ1度	-	-	粘土板装 用	[D] 5Y6/1 [△] 5Y6/1	黄、5mm以下の 石灰・赤・赤 色を含む	良好	

3) 隅木蓋瓦

棟号 番号	種別 番号	次	(型確認)	(型確認)	流量(cm)	手法の特徴					技法・素材	色調	胎土	構成	気づいたこと
			取り上げ位置	取り上げ位置		凹面	凸面	側面	広端面	狭端面					
112	359	84	CG48 第3層	HG95 第3層	NJ18 SD6132 長辺 [17.0] 広端幅 [9.0] - 狭端幅 [7.0] 瓦厚 4.7	縦方向のナ ズ、横方向 の短いナ ズ	縦方向のナ ズ、横方向 の短いナ ズ	ケズリ1 度	-	-	成形式	[B]M6/灰 [△]M5/灰	層、2mm以下の石 灰・長石・赤色 粘・白色粘を 含む	良好	
112	360	85	HO5 横断南側海溝	HO5 SD6052? 第3層	NJ18 SD6132 長辺 [18.5] 広端幅 [9.0] - 狭端幅 [7.0] 瓦厚 3.1	布目儀	ナズ、斜格 子切手儀	ケズリ 1度、調整1 度	-	-	-	[B]M6/灰 [△]M4/灰	層、0.5~4mmの 長石を含む	良好	

4) 面戸瓦

棟号 番号	種別 番号	次	(型確認)	(型確認)	流量(cm)	手法の特徴					技法・素材	色調	胎土	構成	気づいたこと
			取り上げ位置	取り上げ位置		凹面	凸面	側面	広端面	狭端面					
113	361	86	NJ18 縦断北側海溝	NJ18 SD6132 第3層	長辺 [14.9] 広端幅 [9.0] [9.5] 狭端幅 [7.0] 瓦厚 1.1	布目儀、反 折、反折り 儀	縦横糸織叩 き	ケズリ 1度	ケズリ1度、 調整1度	-	-	[B]M6/灰 [△]M5/灰	層、1~6mmの石 灰・長石を含む	良好	
113	362	86	JK01 黒褐色土	JK03 黒褐色土	長辺 [16.0] 広端幅 [9.0] [11.0] 狭端幅 [7.0] 瓦厚 1.4	布目儀、布が かり儀	ナズ、調整1 度	ケズリ1 度	ケズリ1度	-	-	[B]M6/灰 [△]M5/灰	層、2mm以下の白 色粘を含む	良好	
113	363	86	NJ18 縦断北側海溝	NJ18 SD6132 第3層	長辺 [20.0] 広端幅 [9.0] [11.0] 狭端幅 [7.0] 瓦厚 1.2	布目儀、調整 1度	ナズ、調整1 度	ケズリ1 度	ケズリ1度	ケズリ1度	-	[B]2 577/1灰白 [△]2 577/1灰白	層、6mm以下の長 石を含む	良好	

5) 雁振瓦

棟号 番号	種別 番号	次	(型確認)	(型確認)	流量(cm)	手法の特徴					技法・素材	色調	胎土	構成	気づいたこと
			取り上げ位置	取り上げ位置		凹面	凸面	側面	広端面	狭端面					
113	364	85	JA07 第2層	JA07 第2層	長辺 [13.5] 広端幅 [9.0] [22.1] 狭端幅 [6.0] 瓦厚 2.3	布目儀、ナ ズ	ナズ、縦叩 き儀	ケズリ 1度	ケズリ1度、 調整1度	ケズリ 1度	-	[B]2 577/1灰白 [△]2 577/1灰白	層、0.4~4mmの長 石・赤色粘を含む	良好	
113	365	84	CH53 第2層	H913 第2層	長辺 [17.7] 広端幅 [9.0] [14.8] 狭端幅 [7.0] 瓦厚 2.6	糸切り儀、 調整2度	縦叩き儀の ち縦方向の ナズ	ケズリ1 度	-	-	-	[B]M6/灰 [△]M5/灰	層、6mm以下の石 灰・長石・赤色粘 を含む	良好	

6) 鳥食瓦

棟号 番号	種別 番号	次	(型確認)	(型確認)	流量(cm)	手法の特徴					技法・素材	色調	胎土	構成	気づいたこと
			取り上げ位置	取り上げ位置		凹面	凸面	側面	広端面	狭端面					
114	366	83	BO13 第2層	AG13 第2層	長辺 [7.0] 広端幅 [9.0] [9.5] 狭端幅 [7.0] 瓦厚 6.7 第1層 -	ナズ	多方向の ケズリ?	-	-	-	-	[B]2 576/1灰 [△]2 -	層、4mm以下の白 色砂粘を含む	瓦当文様、蓮 葉文様、蓮花 葉、蓮子18	
114	367	86	OR00 [200] 最下層	OR00 SD6136 最下層	長辺 [13.5] 広端幅 [9.0] - 狭端幅 [7.0] 瓦当径 23.8 瓦当厚 5.1 第1層 -	-	-	-	-	-	一本作り	[B]2 - [△]2 -	やや硬、石灰・ 長石を多量に含 む	良好	
114	368	83	HA15 SF 最上	AH15 SA5801 最上	長辺 [18.0] 広端幅 [9.0] - 狭端幅 [7.0] 瓦当径 23.0 瓦当厚 5.5 第1層 -	-	瓦当蓋 ナ ズ	-	-	-	捺合式	[B]1 灰黄 [△]1 灰黄	層、2mm以下の 白色粘を含む	良好	

7) 隅切瓦

棟号 番号	種別 番号	次	(型確認)	(型確認)	流量(cm)	手法の特徴					技法・素材	色調	胎土	構成	気づいたこと
			取り上げ位置	取り上げ位置		凹面	凸面	側面	広端面	狭端面					
115	369	86	DO14 第2層	DO14 第2層	SAKHIC 長辺 [16.8] 広端幅 [9.0] [17.2] 狭端幅 [7.0] 瓦当径 [5.8] 瓦当厚 [4.2]	ナズ、ケズリ 1度	縦いナズ	ケズリ2 度	ケズリ1度	-	-	[B]M6/灰 [△]M6/灰	層、2mm以下の石 灰・長石を含む	良好	
115	370	85	DQ08 SK 暗褐色土	DQ08 SKD009 暗褐色土	SAKHIA 長辺 [12.1] 広端幅 [9.0] [13.3] 狭端幅 [7.0] 瓦当径 [5.3] 瓦当厚 [5.0]	糸切り儀	ナズ	-	-	-	-	[B]M6/灰 [△]M6/灰	層、1~3mmの石 灰・長石を含む	良好	
115	371	86	NJ18 縦断北側海溝	NJ18 SD6132 第3層	長辺 [18.0] 広端幅 [9.0] [17.8] 狭端幅 [7.0] 瓦当径 23.2 瓦当厚 3.2	布目儀、布か かり儀、斜 格子切手儀	縦叩き儀、縦 叩き儀、ナ ズ、反折り 儀	ケズリ1度、 調整1度	-	-	調整1度、ケ ズリ1度	粗土縦横叩 き	層、4mm以下の 石灰・長石・黒 色粘を含む	良好	
115	372	85	HC18 第2層	HC18 第3層	SAKH3 長辺 [18.5] 広端幅 [9.0] [26.0] 狭端幅 [7.0] 瓦当径 [25.0] 瓦当厚 6.0 瓦当厚 3.6	布目儀、ナズ	ナズ	ケズリ1 度	-	-	-	[B]M6/灰 [△]M6/灰	層、2mm以下の 白色粘・黒色粘 を含む	良好	

埴

調査 番号	調査 時期	次	(発掘期)	(埋没期)	タイプ	位置[m]	平面的特徴				技法・地味	色調	胎土	構成	気味のこと	
							上層	下層	側面	断面						
116	373	5-10	-	-	-	惣形	長径 38.8 短径 17.2-22.8 厚さ 13.5	丁寧なナズ調整	粗い肌成面	丁寧なナズ調整 縦方向の粗い肌成 「ハナ」痕	4.5-5cm程度の 粘土地を合わせ て製作	[赤] 7 5000 青黒	黄、1-2mm程度の白 色粉粒・赤褐色粉粒を 含む	中口調整 厚さ 1.5 (赤黒)	やや 軟	
116	374	5-10	22	22	-	惣形	長径 10.0 短径 12.4 厚さ 15.2	縦方向のナズ	横断面 糸切リ面	縦方向のナズ	-	[赤] 黒、灰 緑 3000 灰	黄、3mm以下の白色砂 粒を多量に含む	良好	糸切リ面	
117	375	5-10	-	-	-	方形	長径 21.3 短径 21.2 厚さ 13.8	縦方向のナズ	本調整	ナズ	ナズ	-	[赤] 黒 灰白	黄、3mm以下の白色砂 粒・赤褐色粉粒を含む	やや 軟	調整
117	376	5-10	-	-	-	方形	長径 18.7 短径 14.4 厚さ 12.0	縦方向のナズ	本調整+	ナズ	へう掻き	-	[赤] 7 5000 灰白	黄、白色粉粒・赤褐色 粉粒を含む	良	表面黄褐色 胎土文字「1」5 目ノ心?」
118	377	84	EF13 SD01	KF13 SD0001	方形	長径 41.5 短径 26.0 厚さ 13.9	丁寧なナズ調整	本調整	ナズ	ナズ、へう掻き	-	[赤] 黒、灰 緑 3000 灰 白 5000	黄、3mm以下の白色砂 粒を含む	良好		
118	378	5-10	-	-	-	方形	長径 27.0 短径 26.0 厚さ 12.7	縦方向のナズ	本調整	ナズ	ナズ、へう掻き	-	[赤] 5000 白 5000	黄、3mm以下の白色砂 粒を含む	良	胎土文字「山 ノ心」?
118	379	5-10	-	-	-	方形	長径 20.0 短径 25.2 厚さ 11.5	縦方向のナズ	本調整	ナズ	へう掻き	-	[赤] 5000 白 5000	黄、3mm以下の白色砂 粒を含む	胎土文字「へ ナ、灰緑 粒含む」	
118	380	5-10	-	-	-	方形	長径 19.5 短径 25.5 厚さ 12.0	ナズ	本調整、工具痕	本調整	へう掻き	-	[赤] 2 5000 灰白	黄、5mm以下の白色砂 粒・赤褐色粉粒・黒色 粉粒を含む	良	胎土文字「赤」?
118	381	85	DT07 第2層	DT07 第2層	-	惣形	長径 19.0 短径 12.4 厚さ 15.8	粗い肌成面	-	-	ナズ	-	[赤] 7 5000 明焼灰	黄、4mm以下の白色砂 粒・赤褐色粉粒を含む	良	表面黄 褐色?
118	382	5-10	-	-	-	方形	長径 19.0 短径 18.0 厚さ 13.6	ナズ	粗い肌成面	本調整	へう掻き	-	[赤] 黒、灰	黄、5mm以下の白色砂 粒・赤褐色粉粒を含む	胎土文字「赤」	
118	383	5-10	-	-	-	方形	長径 18.5 短径 22.0 厚さ 12.5	ナズ、へう掻き	本調整	ナズ	本調整	-	[赤] 2 5000 灰白	黄、3mm以下の白色砂 粒・赤褐色粉粒を含む	上層黄褐色 へう掻き	
118	384	5-10	遺物調査	遺物調査	-	惣形	長径 16.5 短径 12.0 厚さ 14.5	縦方向のナズ	-	本調整	ナズ	-	[赤] 5000 灰白	黄、3mm以下の白色砂 粒・赤褐色粉粒・黒色 粉粒を含む	やや 軟	表面黄褐色
118	385	85	DR03 第2層	DR03 第2層	方形	長径 18.5 短径 13.0 厚さ 15.0	縦方向のナズ	本調整	-	へう掻き	-	[赤] 2 5000 灰白	黄、3mm以下の白色砂 粒・赤褐色粉粒を含む	やや 軟	胎土文字「へ ナ」?	
118	386	85	DS04 第2層	DS04 第2層	惣形	長径 16.0 短径 13.0 厚さ 12.4	丁寧なナズ調整	-	ナズ	粗い「ハナ」状痕ナズ	-	[赤] 5000 白 5000	黄、5mm以下の白色砂 粒・赤褐色粉粒・黒色 粉粒を含む	やや 軟	調整	
118	387	5-10	-	-	-	方形	長径 14.5 短径 12.0 厚さ 13.2	縦方向のナズ	ナズ	粗ナズ	粗ナズ	-	[赤] 5000 灰白	黄、3mm以下の白色砂 粒・赤褐色粉粒を含む	良	調整
118	388	85	DR17 第2層	DR17 第2層	惣形	長径 10.5 短径 10.5 厚さ 15.5	ナズ、粗調整	-	ナズ	へう掻き	-	[赤] 黒、灰	黄、3mm以下の白色砂 粒を含む	良好	調整+	
118	389	5-10	-	22	-	惣形	長径 14.0 短径 10.5 厚さ 13.0	縦方向のナズ	横断面 糸切リ面	丁寧なナズ調整	粗い「ハナ」状痕ナズ	-	[赤] 5000 灰白	黄、3mm以下の白色砂 粒を含む	良好	
119	390	84	EF13 SD01	KF13 SD0001	方形	長径 41.3 短径 27.9 厚さ 12.5	ナズ	本調整	丁寧なナズ調整	粗い「ハナ」状痕ナズ は調整がほとんど なされた、胎土文字による調整 痕	-	[赤] 7 5000 灰白	黄、1-2mm程度の白 色粉粒・赤褐色粉粒を 多量に含む	やや 軟	胎土文字「へ ナ」?	
平島 の心	84-85	5-10	-	-	-	惣形	長径 22.5 短径 17.5-18.4 厚さ 18.2	縦方向の粗ナズ	-	ナズ/-	ナズ	-	[赤] 黒、灰	黄、3mm以下の白色砂 粒を含む	製作技法観察の み	
平島 の心	85	85	DR05 遺物調査	DR05 遺物調査	方形	長径 26.2 短径 18.0 厚さ 17.0	縦方向のナズ	-	丁寧なナズ調整	ナズ	-	[赤] 黒、灰	黄、3mm以下の白色砂 粒・赤褐色粉粒を含む	良好	製作技法観察の み	
平島 の心	84-85	5-10	-	-	-	方形	長径 22.0 短径 18.5 厚さ 13.0	ナズ	本調整	本調整	本調整	-	[赤] 7 5000 灰白	黄、3mm以下の白色砂 粒を含む	製作技法観察の み	
平島 の心	84-85	5-10	-	-	-	惣形	長径 22.0 短径 12.0 厚さ 18.2	縦方向のナズ	-	丁寧なナズ調整	粗い「ハナ」状痕ナズ	-	[赤] 黒、灰	黄、3mm以下の白色砂 粒・赤褐色粉粒を含む	良好	製作技法観察の み
平島 の心	84-85	5-10	-	-	-	惣形	長径 20.0 短径 17.3-22.0 厚さ 10.5	ナズ	-	-/本調整	ナズ	-	[赤] 7 5000 明焼灰	黄、5mm以下の白色砂 粒・赤褐色粉粒を含む	良	製作技法観察の み
平島 の心	84-85	5-10	-	-	-	惣形	長径 37.0 短径 17.0-22.0 厚さ 13.3	丁寧なナズ調整	ナズ	丁寧なナズ調整 本調整、へう掻き	ナズ	-	[赤] 5000 灰白	黄、3mm以下の白色砂 粒・赤褐色粉粒を含む	製作技法観察の み	
平島 の心	84-85	85	DS03 第2層	DS03 第2層	-	長径 14.5 短径 14.5 厚さ 5.2	糸目痕、縦方向の ナズ	本調整	ナズ	-	-	[赤] 5000 灰白	黄、3mm以下の白色砂 粒・赤褐色粉粒・赤色 粉粒を含む	良好		

文字瓦

調査 番号	報告 番号	次	(整理前)	(整理後)	形式	法量(cm)	手法の特徴					色調	胎土	備考	気づいたこと	
			取り上げ位置	取り上げ位置			凹面	凸面	側面	広面	狭面					
120	391	96	CR01 瓦葺り溝	CR01 瓦葺り溝	SK05A	長辺 [17.2] 広幅幅 [短辺] [16.2] 狭幅幅 [長辺] 瓦高 [14.1] 瓦厚 [5.4] 瓦厚 [3.0]	布目張、文字 「大瓦」	ナデ	ケズリ	-	-	[05]2.5Y6/2灰白 [Δ]2.5Y6/2灰白	やや粗、2mm以下 の白色粒・赤色 粒を含む	良	文字は裏側に 付、胎土に 付	
120	392	94	EJ13 土下層	KJ13 土下層		長辺 [8.6] 広幅幅 [短辺] [9.6] 狭幅幅 [長辺] 瓦高 [1.6] 瓦厚 [1.5]	布目張、ナデ	布目張、文字 「大瓦」	未調整	-	-	[05]6/灰 [Δ]6/灰	滑、0.5~2mmの 長石・赤色粒を 含む	良		
120	393	93	DS08 第2層	DS08 第2層		長辺 [8.0] 広幅幅 [短辺] - 狭幅幅 - 瓦高 - 瓦厚 1.5	ナデ	ナデ、文字 「メ」	ケズリ	-	-	[05]7.5Y6/4黄緑 [Δ]7.5Y6/4黄緑	滑、2mm以下の粉 粒を含む	良		
120	394	95	BS04 南北溝 第2層下層	BS04 南北溝 第2層下層		長辺 [7.0] 広幅幅 [短辺] [8.8] 狭幅幅 [長辺] 瓦高 [2.4] 瓦厚 [2.1]	ナデ	布目張、横条	ナデ	ケズリ	-	-	[05]6/灰 [Δ]6/灰	滑、1~2mmの長 石を含む	良好	
120	395	95	JA06 第2層	JA06 第2層		長辺 [18.0] 広幅幅 [短辺] [10.4] 狭幅幅 - 瓦高 2.1	布目張、横条	ナデ、縦線系 縦切手張、文字 「一」	ケズリ	ケズリ	-	-	[05]8Y7/1灰白 [Δ]8Y7/1灰白	滑、0.5~8mmの 石・長石・赤 色粒を含む	良	
120	396	95	K002 第2層	K002 第2層		長辺 [14.2] 広幅幅 [短辺] [11.1] 狭幅幅 - 瓦高 1.6	ナデ	粗いナデ、垂 意文字「メ」	ケズリ	ケズリ	ケズリ	度、狭 面1度	[05]6/灰 [Δ]6/灰	滑、1~3mmの長 石を含む	良	凸面に垂意 文字
120	397	98	DO12 瓦葺り溝	DO12 瓦葺り溝		長辺 [11.6] 広幅幅 [短辺] [12.0] 狭幅幅 - 瓦高 2.1	布目張、ナデ	縦切手張、ナ デ、縦線系 A)「十」 B)「ナ」	-	-	-	-	[05]2.5Y7/1灰白 [Δ]2.5Y7/1灰白	滑、4mm以下の長 石・赤色粒・黒 色粒を含む	良好	数字「十」
120	398	95	CR10 第2層	CR10 第2層		長辺 [16.0] 広幅幅 [短辺] [9.7] 狭幅幅 - 瓦高 [2.4] 瓦厚 [2.4]	布目張	ナデ、ケズ リ、「大」 【大】	-	-	-	-	[05]6/灰 [Δ]6/灰	滑、0.5~5mmの 長石を含む	良	数字「大」

その他の瓦磚類

調査 番号	報告 番号	次	(整理前)	(整理後)	法量(cm)	手法の特徴			色調	胎土	備考	気づいたこと
			取り上げ位置	取り上げ位置		外面/凹面	内面/凸面	側面				
121	399	95	DT01 第2層	DT01 第2層	長辺 [10.9] 広幅幅 [短辺] [11.3] 狭幅幅 - 瓦高 [5.5] 瓦厚 4.0	ナデ	ナデ	ナデ	[05]2.5Y7/1灰白 [Δ]2.5Y7/1灰白	滑、3mm以下の長石・赤色粒を含む	良好	
121	400	95	DT07 第2層	DT07 第2層	長辺 [18.8] 広幅幅 [短辺] [12.0] 狭幅幅 - 瓦高 [5.5] 瓦厚 5.0	指ナデ、へう 記号	ケズリ、指ナデ	-	[05]6/灰 [Δ]6/灰	滑、3mm以下の石・赤色粒を含む	良好	
121	401	95	CR16 第2層	CR16 第2層	長辺 [9.9] 広幅幅 [短辺] 9.6 狭幅幅 - 瓦高 [2.4] 瓦厚 [2.4]	キラコ	ナデ	ナデ	[05]6/灰 [Δ]6/灰	滑、1mm以下の石・赤色粒を含む	良好	横断瓦

石製品

調査 番号	報告 番号	次	(整理前)	(整理後)	器種	法量(cm)	手法の特徴	石材	気づいたこと
			取り上げ位置	取り上げ位置					
121	402	不明	-	-	磨面数座?	長幅 [21.4] 短幅 [16.1] 厚さ 12.5		凝灰岩 角閃石・白色砂粒・黒色砂粒を多量に含む	爆付着
121	403	不明	-	-	埴	長幅 [29.1] 短幅 [21.5] 厚さ 16.0	恐らく全面加工	凝灰岩	製作技法観察のみ、本来の形状が不明

写真図版



1 特別史跡讃岐国分寺跡出土軒瓦

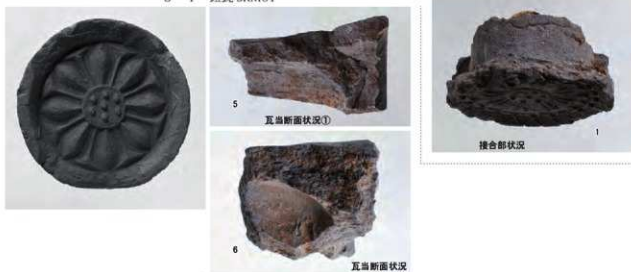


2 特別史跡讃岐国分寺跡出土埴





3-1 鉋瓦 SKM01



3-2 鉋瓦 SKM02A



3-3 鉋瓦 SKM03A



14



釉型

16

4-1 鎧瓦 SKM04



17

4-2 鎧瓦 SKM05



19



20

4-3 鎧瓦 SKM06



24

4-5 鎧瓦 SKM08



4-4 鎧瓦 SKM07



23



25

4-6 鎧瓦 SKM09



26



釉型の痕跡

28

4-7 鎧瓦 SKM10A



28

4-8 鎧瓦 SKM11



29

5-1 鎧瓦 SKM12



30

5-2 鎧瓦 SKM13



31

5-3 鎧瓦 SKM14



32

5-4 鎧瓦 SKM15



33

5-5 鎧瓦 SKM16



瓦当裏面の高り

34



5-6 鎧瓦 SKM17



36

5-7 鎧瓦 SKM18



37

5-8 鎧瓦 SKM19



40

5-10 鎧瓦 SKM21A



41

5-11 鎧瓦 SKM21R



39

5-9 鎧瓦 SKM20



38



6-1 鎧瓦 SKM22



6-2 鎧瓦 SKM23



6-3 鎧瓦 SKM24A



6-4 鎧瓦 SKM24B



6-5 鎧瓦 SKM25



6-6 鎧瓦 SKM27



6-7 鎧瓦 SKM28



6-8 鎧瓦 SKM29



6-9 鎧瓦 SKM30



6-10 鎧瓦 SKM31



6-11 鎧瓦 SKM32



6-12 鎧瓦 SKM33



6-13 鎧瓦 SKM34





7-1 鎧瓦 SKM35



7-2 鎧瓦 SKM36

7-3 鎧瓦 SKM37

7-4 鎧瓦 SKM38

7-5 鎧瓦 SKM39



7-6 鎧瓦 SKM40

7-7 鎧瓦 SKM41

7-8 鎧瓦 SKM48

7-9 鎧瓦 SKM49



7-10 鎧瓦 凹面



7-11 鎧瓦 凸面



男瓦凹面



男瓦凸面



KB103B



SKM07





81



77

ハケ



粘土結?

78

9-1 宇瓦 SKH01A



81 彫り直し前



82 彫り直し後



96



92

朱付着

93

9-3 宇瓦 SKH01C



86



布織痕

89

9-2 宇瓦 SKH01B



99 正格子叩き



95 平行叩き



90



横骨痕

98



96

粘土板合わせ目

10-1 宇瓦 SKH01C



100

10-2 宇瓦 SKH01D



101

10-3 宇瓦 SKH02



104

10-4 宇瓦 SKH03



106

10-5 宇瓦 SKH04



107

10-6 宇瓦 SKH05A



10-7 宇瓦 SKH05B



110



111

11-2 宇瓦 SKH07



109

瓦当断面

11-1 宇瓦 SKH06



112



113

11-3 宇瓦 SKH08



114

11-4 宇瓦 SKH09



115

11-5 宇瓦 SKH10



116

11-6 宇瓦 SKH11A



118

11-7 宇瓦 SKH12



119

11-8 宇瓦 SKH13



121

11-9 宇瓦 SKH15



12-1 宇瓦 SKH16



12-2 宇瓦 SKH17



12-3 宇瓦 SKH18



12-4 宇瓦 SKH19



12-5 宇瓦 SKH20



12-6 宇瓦 SKH21



12-7 宇瓦 SKH22



12-8 宇瓦 SKH23



12-9 宇瓦 SKH24



12-10 宇瓦 SKH25



12-11 宇瓦 SKH26



12-12 宇瓦 SKH27



12-13 宇瓦 SKH30



13-1 字瓦 SKH33



13-2 字瓦 SKH35



13-3 字瓦 SKH38



13-4 字瓦 SKH39



147



13-6 字瓦 SKH41



148



149

13-5 字瓦 SKH40



151

13-7 字瓦 SKH42



152

13-8 字瓦 SKH43



153

13-9 字瓦 SKH44



154



155

13-10 字瓦 SKH45



157

13-11 字瓦 SKH47



158

13-12 字瓦 SKH48



165

13-13 字瓦 SKH55



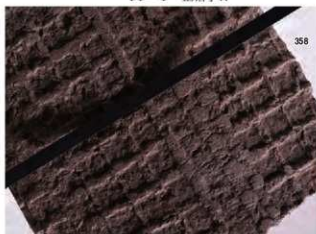
225

14-1 正格子A



231

14-2 正格子B



358

14-3 正格子B



233

14-4 正格子C



235

14-5 正格子D



238

14-6 正格子E



239

14-7 正格子F



240

14-8 正格子G



15-1 正格子H



15-2 正格子I



15-3 正格子J



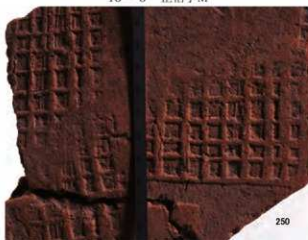
15-4 正格子K



15-5 正格子M



15-6 正格子N



15-7 正格子O



15-8 斜格子A



16-1 斜格子B



16-2 斜格子B 傷あり



16-3 斜格子C



16-4 斜格子D



16-5 斜格子E



16-6 斜格子F



16-7 斜格子G



16-8 長格子A



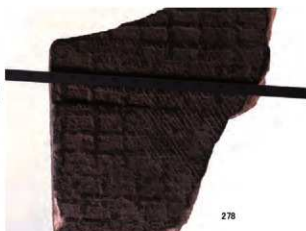
17-1 長格子B



17-2 長格子D



17-3 長格子E



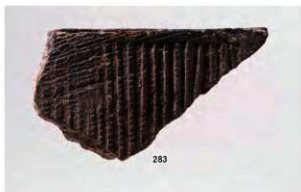
17-4 長格子F



17-5 長格子G



17-6 長格子H



18-1 平行A



18-3 平行E



18-2 平行C



18-4 平行F



18-5 平行G



18-6 平行H



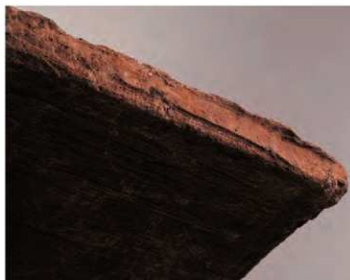
18-7 平行I



18-8 平行J



18-9 平行K



19-1 女瓦側面 布目痕とバリ状の痕跡



19-2 女瓦凹面 布目痕・糸切り痕・模骨痕・模骨止め痕



19-3 女瓦凸面 種子付着



20 鬼瓦 A



21-1 鬼瓦 B



21-2 鬼瓦 B



356 凹面



356 凸面

22-1 熨斗瓦



359



360

22-2 隅木蓋瓦



366



SKM02L

367



SKM03L

368

22-3 鳥衾瓦



370



369

22-4 隅切り瓦



372



参考 6

373

23-1 埴 台形



375

378

377

23-2 埴 長方形



参考 2

参考 1

23-3 埴 凹面側



参考 5

23-4 埴 凸面側

377



24-1 埴「キ」

376



24-2 埴「[ろ石ノ心]？」

379



24-3 埴「一千」



378

24-4 埴「山■」？



380

24-5 埴「水」？

参考 7



24-6 埴 布目压痕



391

25-1 文字瓦「大瓦」



397

25-2 文字瓦「十歳」



398

25-3 文字瓦「大■」



392

25-4 文字瓦「■ ■」



395

25-5 文字瓦「一」



83007

25-6 文字瓦「國分金光明」



399

26-1 瓦製品



400

26-2 瓦製品



402

26-3 唐居敷座に加工した石製品



27-1 僧房跡東二房南側唐屋敷座（台形埦）と切石（南から）



27-2 僧房内排水溝 SD6005 瓦使用状況①（北から）



28-1 僧房基壇外装瓦使用状況（北から）



28-2 僧房内排水溝 SD6005 瓦使用状況②（南から）

報 告 書 抄 録

ふりがな	とくべつしせき さぬきこくぶんじあと いち							
書名	特別史跡讃岐国分寺跡 I							
副書名	保存整備事業に伴う発掘調査報告書 遺物編②							
巻次								
シリーズ名	高松市埋蔵文化財調査報告							
シリーズ番号	第210集							
編著者名	香川 将慶・渡邊 誠							
編集機関	高松市教育委員会							
所在地	〒760-8571 香川県高松市番町一丁目8番15号 TEL087-839-2660							
発行年月日	西暦2020年3月31日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村 遺跡番号		北緯 ° ' "	東経 ° ' "	発掘及び 整理期間	整備 面積	発掘 原因
とくべつしせき 特別史跡 さぬきこくぶんじあと 讃岐国分寺跡	かほけいわけん 香川県 たかまつし 高松市 こくぶんじちやう 国分寺町 こくぶん 国分	37201		34° 18' 10"	133° 56' 41"	1983. 4. 1 ～ 2020. 3. 31	6, 000㎡	史跡整備
所収遺跡名	種別	おもな時代	おもな遺構		おもな遺物		特記事項	
特別史跡 讃岐国分寺跡	寺院	奈良時代 ～ 江戸時代	僧房跡 回廊跡 築地塀跡 礎石建物跡		土師器 須恵器 緑釉陶器 白磁 陶磁器 石製品 瓦埴			
要約	昭和58年度から平成3年度にかけて特別史跡讃岐国分寺跡の史跡整備事業に伴う発掘調査で出土した遺物に関する成果報告書の2冊目である。							

令和2年3月31日 印刷

令和2年3月31日 発行

高松市埋蔵文化財調査報告第210集

特別史跡讃岐国分寺跡Ⅰ
— 保存整備事業に伴う発掘調査報告書 —
遺物編②

発行者 高松市番町一丁目8番15号
高松市教育委員会

印刷者 高松市北浜町4番5号
藤田印刷株式会社